

岩手県立大学 滝沢キャンパス

体育棟天井等 改修工事

平成30年3月

ト ス リ 面 図

全体共通				共通講義棟				屋根塗装（総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟・バス待合）			
通し番号	図 番	図面名称	縮 尺	通し番号	図 番	図面名称	縮 尺	通し番号	図 番	図面名称	縮 尺
1	全共－1	概要書、設計条件、見積区分表、附近見取図	1/12000	32	共講－1	1階平面図	1/200	67	屋根－1	矩計図（1）（全棟共通）	1/50, 20
2	全共－2	配置図	1/1500	33	共講－2	2階平面図	1/200	68	屋根－2	矩計図（2）（全棟共通）	1/50
3	全共－3	改修工事 特記仕様書（1）	－	34	共講－3	3階平面図	1/200	69	屋根－3	トップライト・屋根詳細図（全棟共通）	1/20, 10
4	全共－4	改修工事 特記仕様書（2）	－	35	共講－4	塔屋・屋根平面図	1/200	70	総政－1	屋根伏図（総合政策学部棟）	1/200
5	全共－5	改修工事 特記仕様書（3）	－	36	共講－5	立面図（1）	1/200	71	総政－2	立面図（総合政策学部棟）	1/200
6	全共－6	改修工事 特記仕様書（4）	－	37	共講－6	立面図（2）	1/200	72	ソ情－1	1階平面図（ソフトウェア情報学部A棟・B棟）	1/200
7	全共－7	改修工事 特記仕様書（5）	－	38	共講－7	断面図	1/200	73	ソ情－2	屋根伏図（ソフトウェア情報学部A棟・B棟）	1/200
8	全共－8	改修概要	－	39	共講－8	2階天井伏図	1/200	74	ソ情－3	立面図（1）（ソフトウェア情報学部A棟・B棟）	1/200
9	全共－9	仕上表	－	40	共講－9	3階天井伏図	1/200	75	ソ情－4	立面図（2）（ソフトウェア情報学部A棟・B棟）	1/200
10	全共－10	1階全体平面図	1/600	41	共講－10	ホール詳細図（1）	1/100, 50	76	バス－1	バス待合詳細図・足場計画図（参考図）	1/100, 50, 20
11	全共－11	2階全体平面図	1/600	42	共講－11	ホール詳細図（2）	1/50	77	仮設－1	工事動線計画図（参考図）	1/1500
12	全共－12	3階全体平面図	1/600	43	共講－12	ホール詳細図（3）	1/50				
13	全共－13	4階全体平面図	1/600	44	共講－13	エントランスゲート・ブリッジ廻り詳細図	1/50, 20				
14	全共－14	塔屋屋根全体平面図	1/600	45	共講－14	エントランスゲート・ブリッジ軒天下地鉄骨図（1）	1/100				
15	全共－15	全体立断面図（1）	1/600	46	共講－15	エントランスゲート・ブリッジ軒天下地鉄骨図（2）	1/100				
16	全共－16	全体立断面図（2）	1/600	47	共講－16	エントランスゲート・ブリッジ軒天下地鉄骨図（3）	1/50, 20, 10				
17	全共－17	溶接基準・鉄骨仕口基準図	－	48	共講－17	エントランスゲート・ブリッジ軒天下地鉄骨図（4）	1/20				
				49	共講－18	講堂天井面梁伏図	1/100				
				50	共講－19	1階足場計画平面図（参考図）	1/200				
				51	共講－20	2階足場計画平面図（参考図）	1/200				
				52	共講－21	3階足場計画平面図（参考図）	1/200				
				53	共講－22	屋上足場計画平面図（参考図）	1/200				
				54	共講－23	足場計画立面図（1）（参考図）	1/200				
				55	共講－24	足場計画立面図（2）（参考図）	1/200				
				56	共講－25	足場計画断面図（参考図）	1/200				
				57	共講－26	電灯設備 2階平面図	1/200				
				58	共講－27	弱電設備 3階平面図	1/200				
				59	共講－28	弱電設備 機器配管配線図	1/200				
体育棟（アリーナ）				学部棟間渡り廊下							
通し番号	図 番	図面名称	縮 尺	通し番号	図 番	図面名称	縮 尺	通し番号	図 番	図面名称	縮 尺
18	体育－1	2・3階平面図	1/200	60	渡廊－1	3階平面図・2階天井伏図	1/200				
19	体育－2	断面図	1/200	61	渡廊－2	立面図・断面図	1/200				
20	体育－3	2・3階天井伏図	1/200	62	渡廊－3	学部棟間渡り廊下詳細図	1/20				
21	体育－4	矩計図（1）	1/20, 50	63	渡廊－4	軒天下地鉄骨図（1）	1/100				
22	体育－5	矩計図（2）	1/5, 20	64	渡廊－5	軒天下地鉄骨図（2）	1/30, 20				
23	体育－6	アリーナ展開、詳細図	1/5, 20, 100	65	渡廊－6	1・2階足場計画平面図（参考図）	1/200				
24	体育－7	屋根梁伏図	1/200	66	渡廊－7	足場計画立面図・断面図（参考図）	1/200				
25	体育－8	1工区 2・3階足場計画平面図（参考図）	1/200								
26	体育－9	1工区 足場計画断面図（参考図）	1/200								
27	体育－10	2工区 2・3階足場計画平面図（参考図）	1/200								
28	体育－11	2工区 足場計画断面図（参考図）	1/200								
29	体育－12	電灯設備 3階平面図	1/200								
30	体育－13	弱電設備 3階平面図	1/200								
31	体育－14	自動火災報知設備 3階平面図	1/200								

1

概要書

1.工事名

岩手県立大学滝沢キャンパス体育棟天井等改修工事

2.発注者名

公立大学法人 岩手県立大学

3.工事場所

岩手県滝沢市黒子152-52

4.敷地面積

350,787.44㎡

5.地域・地区指定

市街化調整区域
防火指定なし
容積率 200%・建ぺい率 70%

6.建物概要

用途

大学

建築面積

34,320,542㎡

建ぺい率

9.78%

延床面積

80,845.73㎡

容積率

23.04%

延床面積内訳

(単位:㎡)

	延床面積
塔屋	399,459
4階	9,725,170
3階	26,476,696
2階	28,097,890
1階	16,146,515
合計	80,845,730

工区別面積表

第1工区

棟名	1階	2階	3階	4階	塔屋	計
1-1 本部棟	1,059,496	1,017,607	1,092,090	—	48,220	3,217,412
1-2 共通講義棟	3,426,592	2,234,043	2,720,031	129,951	166,337	8,676,954
1-3 総合政策学部棟	2,589,800	2,511,906	2,449,814	—	—	7,551,520
1-4 ソフトウェア情報学部棟 (X11～X35a室)	315,744	2,314,702	2,173,684	2,089,904	—	6,894,034
1-5 ソフトウェア情報学部棟	—	1,924,194	1,864,051	1,761,531	—	5,549,776
合計	7,391,631	10,002,452	10,299,670	3,981,386	214,557	31,889,696

第2工区

棟名	1階	2階	3階	4階	塔屋	計
2-1 短期大学部棟	1,906,197	1,833,694	1,786,725	—	—	5,526,616
2-2 看護学部棟, GK-1	3,033,821	2,833,579	2,753,894	21,765	—	8,643,059
2-3 社会福祉学部棟, GK-3	—	3,085,477	3,069,887	2,818,322	21,765	8,995,451
2-4 ソフトウェア情報学部棟 (X0～X11室), GK-5	—	857,215	842,352	856,530	21,765	2,577,862
2-5 共通棟 A	680,544	713,240	790,640	188,690	54,324	2,427,438
2-6 エネルギーセンター	3,134,322	—	—	—	—	3,134,322
合計	8,754,884	9,323,205	9,243,498	3,885,307	97,854	31,304,748

第3工区

棟名	1階	2階	3階	4階	塔屋	計
3-1 メディアセンターA棟	—	2,316,373	2,368,211	1,763,269	—	6,447,853
3-2 メディアセンターB棟	—	1,124,001	1,091,424	—	87,048	2,302,473
3-3 学生ホール棟	—	1,895,790	1,807,750	95,208	—	3,798,748
3-4 体育棟	—	3,436,069	1,666,143	—	—	5,102,212
合計	—	8,772,233	6,933,528	1,858,477	87,048	17,651,286

2

設計条件 (改修部に適用)

2-1 立地条件等

a.設計降雨量

1)一般降雨条件
・とい設計用 (35)mm/時
2)雨水流出抑制
・要 ○不要 ()m³

b.浸水対策
・要 ○不要

c.寒冷地対策
○要 ・不要
1)凍結深さ 地表仕上面 (0.5)m
2)その他の凍害等対策と範囲は、設計図による。

2-2 構造設計条件

a.改修範囲の設計荷重

1)主要部分積載荷重

棟	階	室名	積載荷重(N/㎡)	備考
体育棟	2	アリーナ	床用 3,528 架橋用 3,234 地震力用 2,058	

2)積雪荷重
イ.垂直積雪量 (1.0)m
ロ.積雪荷重(水平面に対して) (3000)N/㎡
ハ.積雪の単位重量 (30)N/cm/㎡
ニ.多雪地域指定の有無 ○あり ・なし
ホ.勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組合せによる応力計算の扱いは、建築基準法施行令第3章第8節による。
3)風圧力(特記仕様書各章に別の記載があるものを除く)
イ.設計用風圧力算定基準は、建築基準法・同施行令第82条の4及び同告示(平12建告第1454号・同第1458号)により、算定条件は次による。
V₀ (30) m/s (告示第1454号)
非構造部材・設備機器設計用風速の割増し
・なし ※再現期間100年相当 ・再現期間200年相当
V (30) m/s
注) V₀を再現期間50年相当として、日本建築学会「建築物荷重指針・同解説 1993年版」第6章による再現期間換算係数を乗じたものをVとする。
告示第1458号による速度圧算定式において、V₀をこれに替える。
地表面粗度区分 ・Ⅰ ○Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ(*) (告示第1454号)

3

見積区分表

項目	建築	電気	空調	衛生	外構	その他	別途	備考
共通	工事用電力・上水道・引込工事	○						改修
	工事用電力・上水道料金 (含、引込負担金・基本料金)	○						
	工事上の各種申請届出費用	○						
	伐採伐根・撤去工・防災工・同手続							
既存躯体貫通	S・SRC・RC造梁の孔あけ (100mmφ以下のもの)	○						
	既存コンクリート床・壁孔あけ部の鉄筋・埋設配管などのX線検査調査	○						
	既存コンクリート床・壁孔あけ (長辺150mm角以下のもの)	○						
既存躯体以外の開口・貫通	天井付き各種器具の開口・取付枠・補強	○						
点検口・ガラリ	点検口(軒天)	○						エントランスゲート
撤去	鉄骨天井下地及びLGS天井下地の撤去	○						設計図による
	天井仕上材の撤去、一時保管	○						設計図による
	既存天井に設置の設備機器類の取外し及び保管	○						アリーナ サブアリーナ アスレチックジム 廊下(2)

4

附近見取図

1/12000

岩手県立大学 滝沢キャンパス
体育棟天井等 改修工事

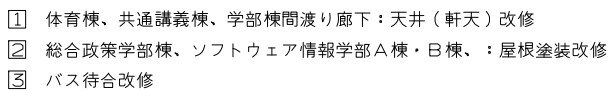
概要書、設計条件、見積区分表、附近見取図

意 (通し番号 1)

全共 - 1

No. T-150287-E

780x970



780 × 570

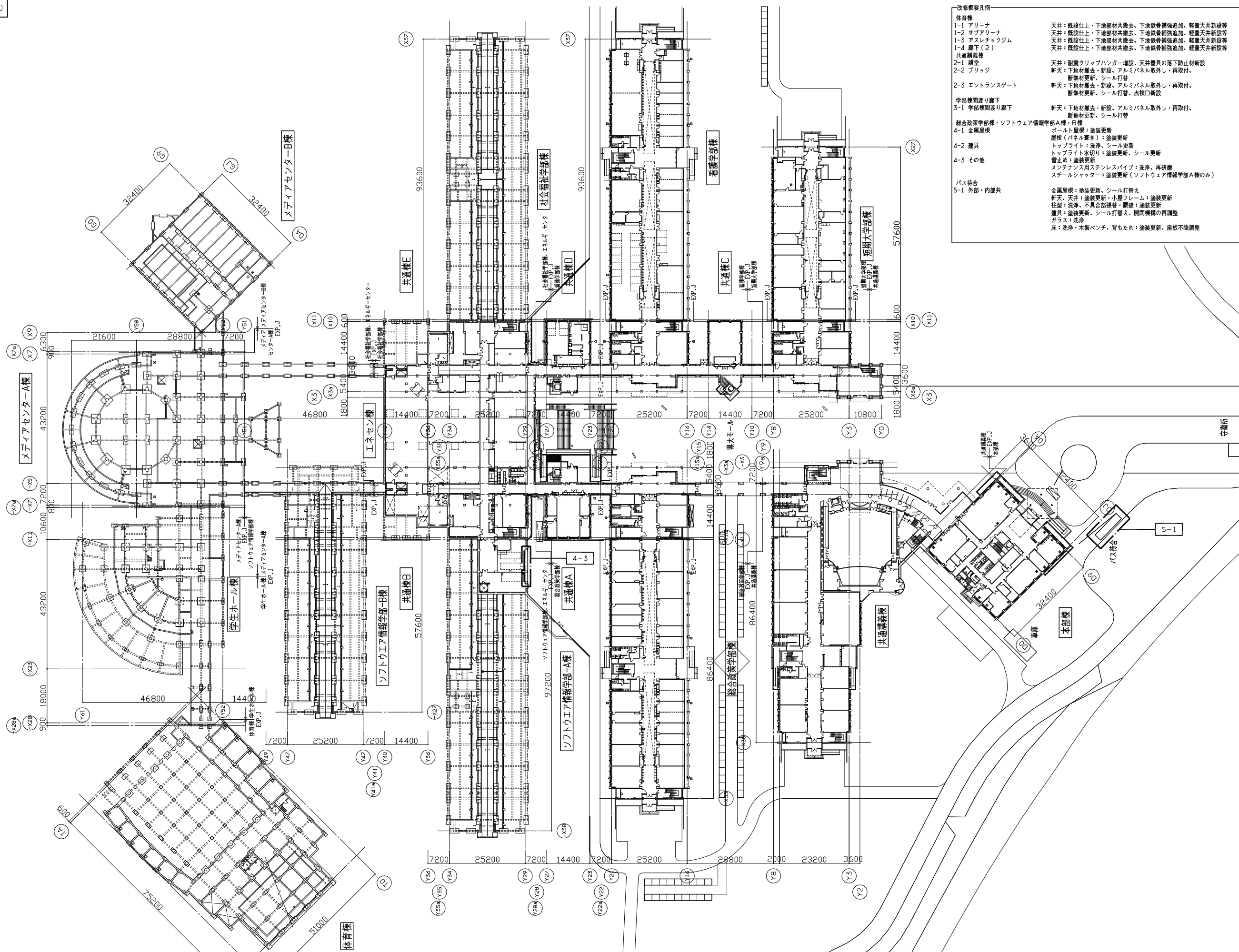
工 事 名 岩手県立大学滝沢キャンパス体育棟天井等 改修工事 特記仕様書			⑨ 電気保安技術者			⑩ 施 工 条 件			⑪ 施 工 条 件			⑫ 施 工 条 件			⑬ 施 工 条 件			⑭ 施 工 条 件			⑮ 施 工 条 件			⑯ 施 工 条 件			⑰ 施 工 条 件			⑱ 施 工 条 件			⑲ 施 工 条 件			⑳ 施 工 条 件			㉑ 施 工 条 件			㉒ 施 工 条 件			㉓ 施 工 条 件			㉔ 施 工 条 件			㉕ 施 工 条 件			㉖ 施 工 条 件			㉗ 施 工 条 件			㉘ 施 工 条 件			㉙ 施 工 条 件			㉚ 施 工 条 件			㉛ 施 工 条 件			㉜ 施 工 条 件			㉝ 施 工 条 件			㉞ 施 工 条 件			㉟ 施 工 条 件			㊱ 施 工 条 件			㊲ 施 工 条 件			㊳ 施 工 条 件			㊴ 施 工 条 件			㊵ 施 工 条 件			㊶ 施 工 条 件			㊷ 施 工 条 件			㊸ 施 工 条 件			㊹ 施 工 条 件			㊺ 施 工 条 件			㊻ 施 工 条 件			㊼ 施 工 条 件			㊽ 施 工 条 件			㊾ 施 工 条 件			㊿ 施 工 条 件			㋀ 施 工 条 件			㋁ 施 工 条 件			㋂ 施 工 条 件			㋃ 施 工 条 件			㋄ 施 工 条 件			㋅ 施 工 条 件			㋆ 施 工 条 件			㋇ 施 工 条 件			㋈ 施 工 条 件			㋉ 施 工 条 件			㋊ 施 工 条 件			㋋ 施 工 条 件			㋌ 施 工 条 件			㋍ 施 工 条 件			㋎ 施 工 条 件			㋏ 施 工 条 件			㋐ 施 工 条 件			㋑ 施 工 条 件			㋒ 施 工 条 件			㋓ 施 工 条 件			㋔ 施 工 条 件			㋕ 施 工 条 件			㋖ 施 工 条 件			㋗ 施 工 条 件			㋘ 施 工 条 件			㋙ 施 工 条 件			㋚ 施 工 条 件			㋛ 施 工 条 件			㋜ 施 工 条 件			㋝ 施 工 条 件			㋞ 施 工 条 件			㋟ 施 工 条 件			㋠ 施 工 条 件			㋡ 施 工 条 件			㋢ 施 工 条 件			㋣ 施 工 条 件			㋤ 施 工 条 件			㋥ 施 工 条 件			㋦ 施 工 条 件			㋧ 施 工 条 件			㋨ 施 工 条 件			㋩ 施 工 条 件			㋪ 施 工 条 件			㋫ 施 工 条 件			㋬ 施 工 条 件			㋭ 施 工 条 件			㋮ 施 工 条 件			㋯ 施 工 条 件			㋰ 施 工 条 件			㋱ 施 工 条 件			㋲ 施 工 条 件			㋳ 施 工 条 件			㋴ 施 工 条 件			㋵ 施 工 条 件	
--------------------------------------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--

[illegible]

耐震改修工事	8	2)上記1)で定めた管理ランクに応じて、受注者は次の管理を行う。 イ.管理ランクA 中間検査及び製品検査時に、抜き取りにて溶接部近傍に書かれた積層図等を確認し、実際の施工状況と比較し、溶接条件が適切に守られていることを確認し、監理者に報告する。 ロ.管理ランクB 中間検査及び製品検査時に、実際の施工状況を確認し、溶接条件が適切に守られていることを確認し、監理者に報告する。	9	1. アスベスト含有建材の処理工事	9	環境配慮改修工事	10	改修用アンカー金物取付け工事	10	⑤ アンカー金物の埋込み ⑥ 先付け方式のアンカーボルト ⑦ あと施工方式のアンカーボルト	8. 検査	a.アンカー金物の間隔及びひしき寸法が十分でない場合は、コンクリートのコーン状破壊面を考慮して許容引張力、許容せん断力を定める。 f.引張力とせん断力を同時に受けるときは、その組合せ効果を考慮して算定する。 g.必要に応じて取付け部材から構造躯体までの力の伝達について検討を行い、その安全性を確認する。 h.軽量コンクリートにアンカー金物を設ける場合は、許容引張力、許容せん断力を10%低減させる。 i.施工計画書には、アンカー金物の許容引張力、許容せん断力結果、又はそれらを確認する信頼できる資料、荷重に対する安全率一覧表を添付する。 a.振動を受けるアンカー金物について、あと施工方式による場合は、接着系あと施工アンカーの締付け方式とし、所定のボルト軸力を導入したのち二重ナットを設けるなど、振動による抜出しや緩みを生じないように措置を講ずる。 b.アンカー金物の埋込み長さ及び穿孔径は、製造者の仕様による。 c.アンカーボルトの間隔やひしき寸法、埋込み長さは、ボルトの許容引張力、許容せん断力に影響するので、所要寸法を確認のうえ施工する。 a.金属系あと施工アンカーボルト 1)金属系あと施工アンカーボルトの施工時期は、コンクリートの強度が設計基準強度に達したのちとする。 2)躯体の誘発地等コンクリートにあらかじめひび割れが予想される箇所の付近には、施工しない。 3)既にひび割れを生じている箇所では、ひび割れをコンクリートの端面とみなして必要なのはしきを確認する。 4)穿孔用ドリルは、穿孔深さと直角度を保つことのできる治具を使用する。 5)穿孔中に鉄筋や配管が干渉し所定の穿孔ができない場合、監理者と協議のうえ穿孔位置変更等の措置を講ずる。 6)穿孔後の孔内は、取付け前に十分に清掃する。 ⑧ 接着系あと施工アンカーボルト 1)接着系あと施工アンカーボルトの固着剤は、カプセル型を原則とし、耐薬品性や耐熱性等の施工条件を考慮して選定する。 2)施工前のコンクリートの確認及びコンクリートの穿孔は、前a号1)から6)による。 3)穿孔孔は、十分乾燥したのち施工を行う。 4)横向き施工を行う場合は、専用の固着剤を使用する。 5)固着剤は冷暗所で保管し、使用期限を過ぎたもの及び流動性の变化したものは使用しない。 6)アンカーボルトは、埋込み部までねじを切ったもの又は異形棒鋼を使用する。カプセル型の場合は、先端角度45°内外でカットしたものを使用する。 7)取付け後、製造者の指定する時間内はアンカーボルトに荷重を加えない。 a.あと施工アンカーボルトの止水処理 雨崩りとなるあと施工アンカー部分では、取合い部分にシーリングを行い、止水処理を行う。 d.防水保護コンクリートへのあと施工アンカーは行わない。やむを得ずあと施工アンカーとする場合は、防水層・鉄筋・埋設配管類に対し損傷影響がない旨の資料を作成し、監理者の承認を受ける。 a.先付け方式によるアンカー金物は、形状、寸法、取付け位置及び固定状況を確認する。 b.あと施工方式によるアンカー金物は、その全数について、形状、寸法及び埋込み深さを確認したうえ、テストハンマー等で打撃を与え、正常で緩みのないことを確認する。なお、全ねじ筋の場合は、監理者との協議により確認方法を決定する。 c.あと施工アンカーの引抜き耐力確認試験 ・実施する ・実施しない 1)試験方法 ・非破壊試験(機械式簡易引抜試験機による引張試験) ・破壊試験(試験用アンカーによる引抜試験) 2)あと施工アンカーの非破壊検査による引抜き耐力確認試験要領は、8.11.5及び建築改修工事監理指針による。																																																						
		33. スタッド溶接 【a】(7)置換 【f】置換 スタッド溶接施工 a.梁等にスタッド溶接を行う箇所では、デッキプレートを通しての溶接は原則として認めないものとし、デッキプレートにスタッドの底に当たってスタッド溶接に支障のない孔をあけ、梁等に直接溶接を行う。 b.スタッド溶接施工試験 ・行わない ・行う(試験内容：引張試験、曲げ試験、マクロ試験、その他)		工場塗装の範囲 a.耐火板張り、耐火材巻付け工法等の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用部位：) b.耐火板張り・耐火材巻付け工法等以外の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用部位：) c.錆止め塗料の種類 ・【表18.3.1】A種 ・ 塗料の種類 a.鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面の錆止め塗料の種類 ・【表18.3.1】A種 ・行わない ・ b.耐火被覆材の接着する面の錆止め塗料の種類 ・【表18.3.1】A種 ・ 【付加】c.発泡性耐火塗料を施す部位の錆止め塗料の種類は、事前に製造者の確認を行い、仕様を決定する。		35. 耐火被覆 耐火被覆の種類及び性能 a.耐火被覆工事の工法、材料等 ・次表による。 <table> <tr> <th>工法</th><th>工法</th><th>材料</th><th>使用箇所</th></tr> <tr> <td rowspan="4">・ウェット工法</td><td rowspan="2">・左官工法</td><td>・ラス張りモルタル</td><td></td></tr> <tr> <td>・セラミック系耐火材こて押え</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材吹付け工法</td><td>・半乾式吹付けロックウール</td><td></td></tr> <tr> <td>・せっこう系耐火材吹付け</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">・ドライ工法</td><td rowspan="2">・塗装工法</td><td>・セラミック系耐火材吹付け</td><td></td></tr> <tr> <td>・発泡性耐火塗料</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材張り工法</td><td>けい酸カルシウム板</td><td></td></tr> <tr> <td>コンクリートPC系統、ALCパネル</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・プレハブ工法</td><td rowspan="2">・耐火材巻付け工法</td><td>不織布高耐熱ロックウール巻付け</td><td></td></tr> <tr> <td>・耐火シート工法</td><td>発泡性耐火シート</td></tr> <tr> <td>・複合耐火工法</td><td>各種工法の組合せによる工法</td><td></td></tr> </table> 注)耐火時間等の仕様及び使用範囲は、設計図による。 ・意匠図による。		工法		工法		材料	使用箇所	・ウェット工法	・左官工法	・ラス張りモルタル		・セラミック系耐火材こて押え		・耐火材吹付け工法	・半乾式吹付けロックウール		・せっこう系耐火材吹付け		・ドライ工法	・塗装工法	・セラミック系耐火材吹付け		・発泡性耐火塗料		・耐火材張り工法	けい酸カルシウム板		コンクリートPC系統、ALCパネル		・プレハブ工法	・耐火材巻付け工法	不織布高耐熱ロックウール巻付け		・耐火シート工法	発泡性耐火シート	・複合耐火工法	各種工法の組合せによる工法		【付加】b.エレベーターシャフト内、エレベーター機械室及びエアチャンパー等の風圧、振動を受ける部位の耐火被覆 ・設計図(意匠図)による ・ c.PSやEPS、電気室、機械室等の柱やブレース部で、メンテナンス要員の通行等が多い部位の露出部の耐火被覆 ・設計図(意匠図)による ・ d.厨房・浴室等の湿潤状態にある部位の耐火被覆 ・設計図(意匠図)による ・ e.天井裏をチャンパーとして使用する部位の耐火被覆 ・設計図(意匠図)による ・ 耐火被覆の品質 a.耐火被覆の仕様は、関係法規により次の適用とする。 ・建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。 ・建築基準法施行令第108条の3の規定により大臣認定を受けたものとする。	【付加】a.吹付け工事で大梁フランジ下端面(φ300mm以上の場合)、風圧・振動を受けるところ等、はく離が起きやすい箇所は、プライマー処理等付着性能の確認を行い、監理者の承認を受ける。 b.鉄骨表面で錆止め塗装を施したうえで耐火被覆材を吹き付ける場合は、接着剤との適合性を確認のうえ、プライマー処理等はく離防止策を講ずる。	【付加】a.耐火板張り工事では、補強材や耐火板接合釘等を用いて鉄骨を被覆し、所定の性能を確保する。	【付加】a.耐火材巻付け工事では、目地隙間の有無、材料破損の有無、固定ピンの間隔について、大臣認定内容に基づき所定の性能を確保する。	③9. 鉄骨の工事現場施工 [8, 19, 1～3] 37. 溶融垂鉛めっき高力ボルト接合 a.溶融垂鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理 ・【プラスト処理(適用部位：)】 ・りん酸塩処理(適用部位：) b.りん酸塩処理を施したすべり係数試験体と同様の処理を施した対比試験片を、工場、工事現場用に用意し、これを見本として摩擦面の管理を行う。	2. 断熱・防露改修工事 ③ 断熱材のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・断熱材打込み工法 <table> <tr> <th>種 類</th><th>厚さ(㎜)</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td><td></td></tr> <tr> <td>・保温板(2種b)</td><td>・25</td></tr> <tr> <td>・保温板(3種b)</td><td>・25</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキナシ)</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td><td></td></tr> </table> ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・B種1 厚さ(㎜) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 ・ ・現場発泡断熱材(品質・性能) <table> <tr> <th>項目</th><th>品質・性能</th></tr> <tr> <td>難燃性</td><td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法にしようしている発熱性試験(コロンカロリイ試験)に適合していること。</td></tr> <tr> <td>発熱性</td><td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。</td></tr> </table>	種 類	厚さ(㎜)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		・保温板(2種b)	・25	・保温板(3種b)	・25	・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキナシ)		・	・	・A種硬質ウレタンフォーム保温材			・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)
工法	工法	材料	使用箇所																																																															
・ウェット工法	・左官工法	・ラス張りモルタル																																																																
		・セラミック系耐火材こて押え																																																																
	・耐火材吹付け工法	・半乾式吹付けロックウール																																																																
		・せっこう系耐火材吹付け																																																																
・ドライ工法	・塗装工法	・セラミック系耐火材吹付け																																																																
		・発泡性耐火塗料																																																																
	・耐火材張り工法	けい酸カルシウム板																																																																
		コンクリートPC系統、ALCパネル																																																																
・プレハブ工法	・耐火材巻付け工法	不織布高耐熱ロックウール巻付け																																																																
		・耐火シート工法	発泡性耐火シート																																																															
	・複合耐火工法	各種工法の組合せによる工法																																																																
種 類	厚さ(㎜)																																																																	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																																																		
	・保温板(2種b)	・25																																																																
	・保温板(3種b)	・25																																																																
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキナシ)																																																																		
	・	・																																																																
・A種硬質ウレタンフォーム保温材																																																																		
	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)																																																																	
項目	品質・性能																																																																	
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法にしようしている発熱性試験(コロンカロリイ試験)に適合していること。																																																																	
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。																																																																	
③9. 鉄骨の工事現場施工 [8, 19, 1～3] 37. 溶融垂鉛めっき高力ボルト接合 a.溶融垂鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理 ・【プラスト処理(適用部位：)】 ・りん酸塩処理(適用部位：) b.りん酸塩処理を施したすべり係数試験体と同様の処理を施した対比試験片を、工場、工事現場用に用意し、これを見本として摩擦面の管理を行う。	工場塗装の範囲 a.耐火板張り、耐火材巻付け工法等の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用部位：) b.耐火板張り・耐火材巻付け工法等以外の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用部位：) c.錆止め塗料の種類 ・【表18.3.1】A種 ・ 塗料の種類 a.鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面の錆止め塗料の種類 ・【表18.3.1】A種 ・行わない ・																																																																	

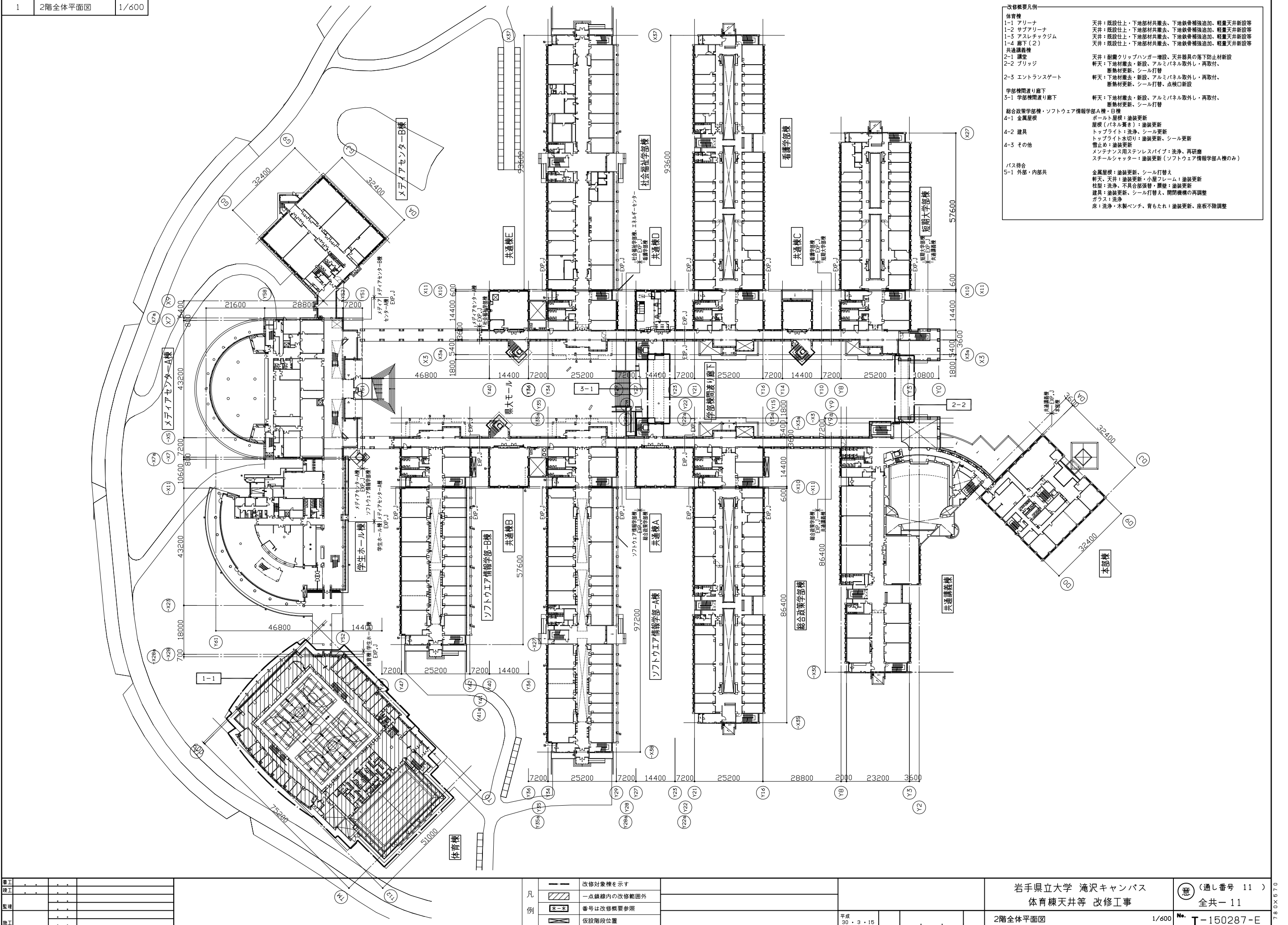
改修概要					屋根塗装共通（総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟）				
1	体育棟				4				
Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容	Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容
1-1	アリーナ	天井 天井下地材 設備	t19 RAT（リブ付）	既設撤去、軽量天井（安心直張工法同等品）新設 既設野縁、クリップ、野縁受け、ハンガー、吊りボルト撤去し 下地鉄骨（C-60x30x10x2, 3φ500）追加、天井下地材新設 照明設備の点検、補強、再取付 スピーカー、煙感知器の更新	4-1	金属屋根 ※軒樋・軒先及びケラバは、 Ⅰ～Ⅲ期工事で塗装改修済	ボールド屋根 屋根（パネル葺き）	t=1.2 フッ素樹脂塗装鋼板 瓦葺葺き（φ400） 瓦葺：半円55φ t=1.2 フッ素樹脂塗装鋼板 t=1.2 フッ素樹脂塗装鋼板（φ600） 妻部、屋根取合部シーリング：変成シリコン系（MS-2）	下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 既設シール撤去・更新（変成シリコン系（以下『MS-2』 サイズ15×20）
1-2	サブアリーナ	天井 天井下地材 設備	t19 RAT（リブ付）	既設撤去、軽量天井（安心直張工法同等品）新設 既設野縁、クリップ、野縁受け、ハンガー、吊りボルト撤去し 下地鉄骨（C-60x30x10x2, 3φ500）追加、天井下地材新設 照明設備の点検、補強、再取付 スピーカー、煙感知器の更新	4-2	建具	トップライト トップライト水切り	突出し付嵌殺しアルミサッシュ サッシュ枠：アルミ押出型材 2次電解着色 ガラス：t=10網入り+A6+t=8 フロート複層ガラス（透明） 飛散防止フィルム張り 水切りパネル：t1.5 ステンレス F E-B 取合部シーリング：変成シリコン系（MS-2）	洗浄（水洗い工法） 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 既設シール撤去・更新（MS-2 サイズ20×10）
1-3	アスレチックジム	天井 天井下地材 設備	t19 RAT（リブ付）	既設撤去、軽量天井（安心直張工法同等品）新設 既設野縁、クリップ、野縁受け、ハンガー、吊りボルト撤去し 下地鉄骨（C-60x30x10x2, 3φ500）追加、天井下地材新設 照明設備の点検、補強、再取付 スピーカー、煙感知器の更新	4-3	その他	雪止め メンテナンス用 ステンレスパイプ ステンレス FB-9 HL φ1200 スチールシャッター （ソフトウェア情報学部A棟のみ）	ステンレス ステンレスパイプ 34φ HL ステンレス FB-9 HL φ1200 スチール PE	下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 洗浄（水洗い工法）の上、再研磨 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F）
1-4	廊下（2）	天井 天井下地材 設備	t19 RAT（リブ付）	既設撤去、軽量天井（安心直張工法同等品）新設 既設野縁、クリップ、野縁受け、ハンガー、吊りボルト撤去し 下地鉄骨（C-60x30x10x2, 3φ500）追加、天井下地材新設 照明設備の点検、補強、再取付 スピーカー、煙感知器の更新					
2 共通講義棟					5	バス待合			
Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容	Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容
2-1	講堂	天井 天井下地材 設備	t5 繊維強化石こうボード寒冷紗 EP-B	現状のまま 既設クリップを補強（Powerクリップ仕様同等） 既設ハンガーをボルト留め、野縁受け補強（ハンガーロック仕様同等品） 耐震ハンガーを増設（倍増） 照明器具、非常放送スピーカー等天井器具の落下防止材を新設	5-1	外部・内部共	金属屋根 軒天・天井 小屋フレーム 柱型 腰壁 建具 建具廻りシーリング ガラス 床 木製ベンチ・背もたれ	t1.2 フッ素樹脂塗装鋼板（パネル葺き） t8.0 けい酸カルシウム板 VE スチール 塗装 磁器質タイル（45二丁）、伸縮目地シーリング 化粧打放しコンクリート 浸透性撥水 吸水防止剤塗 スチール製引き戸、防風スクリーン 変成シリコン系（MS-2） 強化ガラス t=8.0 インターロッキング t80 イベ材	下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 金属材料との周囲取合の既設シール撤去・更新（MS-2 サイズ20×10） 下地調整（RB種）の上、NAD塗装 下地調整（RB種）の上、DP-F塗装 洗浄（水洗い工法）、不具合部（浮き、ひび割れ、剥離、欠落）撤去・張替 洗浄（高圧洗浄工法）、汚損部は既存と色合わせ（500角 5ヶ所） の上、高耐候性塗料塗り（DP-Fクリア） 爆裂部は樹脂モルタル金こて仕上げ（200角 10ヶ所） 鉄筋発錆部は錆止め塗料塗り（200角 10ヶ所） 下地調整（RB種）の上、DP-F塗装 開閉機構（滑車・レール）の再調整、及び清掃 既設シール撤去・更新 （建具：サイズ20×10、その他取合部：サイズ20×10） 洗浄（水洗い工法）、内外共 洗浄（高圧洗浄工法） 下地調整（RB種）の上、キシラデコール塗り 座板不陸調整2ヶ所（根太のガタツキ再固定共）
3 学部棟間渡り廊下					6 駐輪場				
Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容	Nb	項目	部位	現状・仕様	改修内容
3-1	学部棟間渡り廊下	軒天 軒天下地材	t=3アルミパネル切断工法A-BE	既設パネル撤去・一時保管し、断熱材更新後再取付、目地シーリング 既設野縁、野縁受け、吊りボルト撤去し、下地鉄骨新設	6-1	屋根	波型スレート屋根 ポリカーボネート屋根 屋根小屋箱鉄骨	波型スレート t6.3 ポリカーボネート t6 スチールPL-16 SOP スチールCT 75×75×5×7 SOP	撤去・更新 撤去・更新、シーリング共 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F） 下地調整（RB種）の上、耐候性塗料塗り（DP-F）
					6-2	柱・腰壁、床	柱・腰壁 床	化粧打放しコンクリート 浸透性撥水 吸水防止剤塗 インターロッキング t80	洗浄（高圧洗浄工法）、汚損部は既存と色合わせ（500角 1ヶ所／2スパン） の上、高耐候性塗料塗り（DP-Fクリア） 爆裂部は樹脂モルタル金こて仕上げ（200角 1ヶ所／2スパン） 鉄筋発錆部は錆止の塗料塗り（200角 1ヶ所／2スパン） 洗浄（高圧洗浄工法）

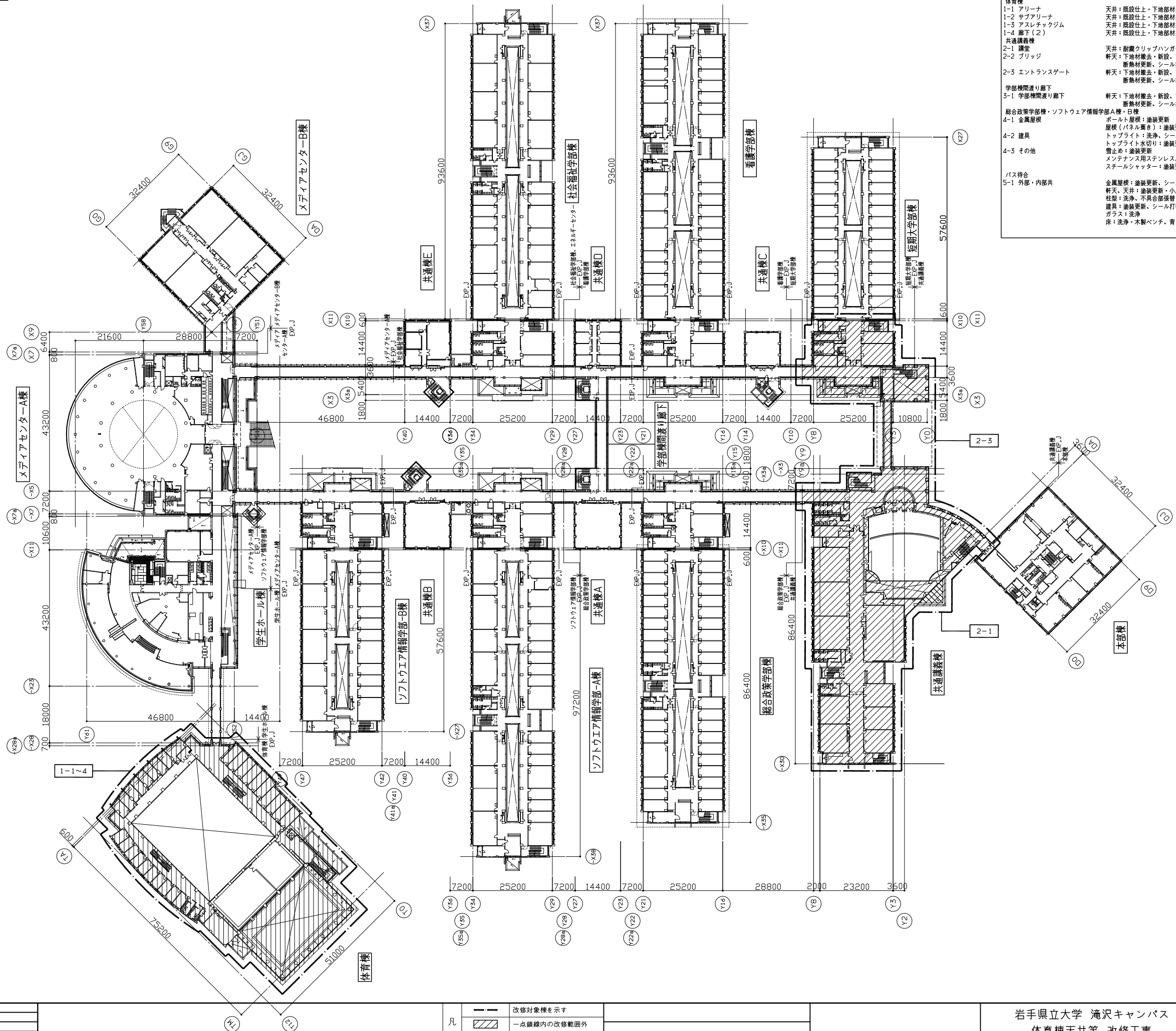
[illegible]

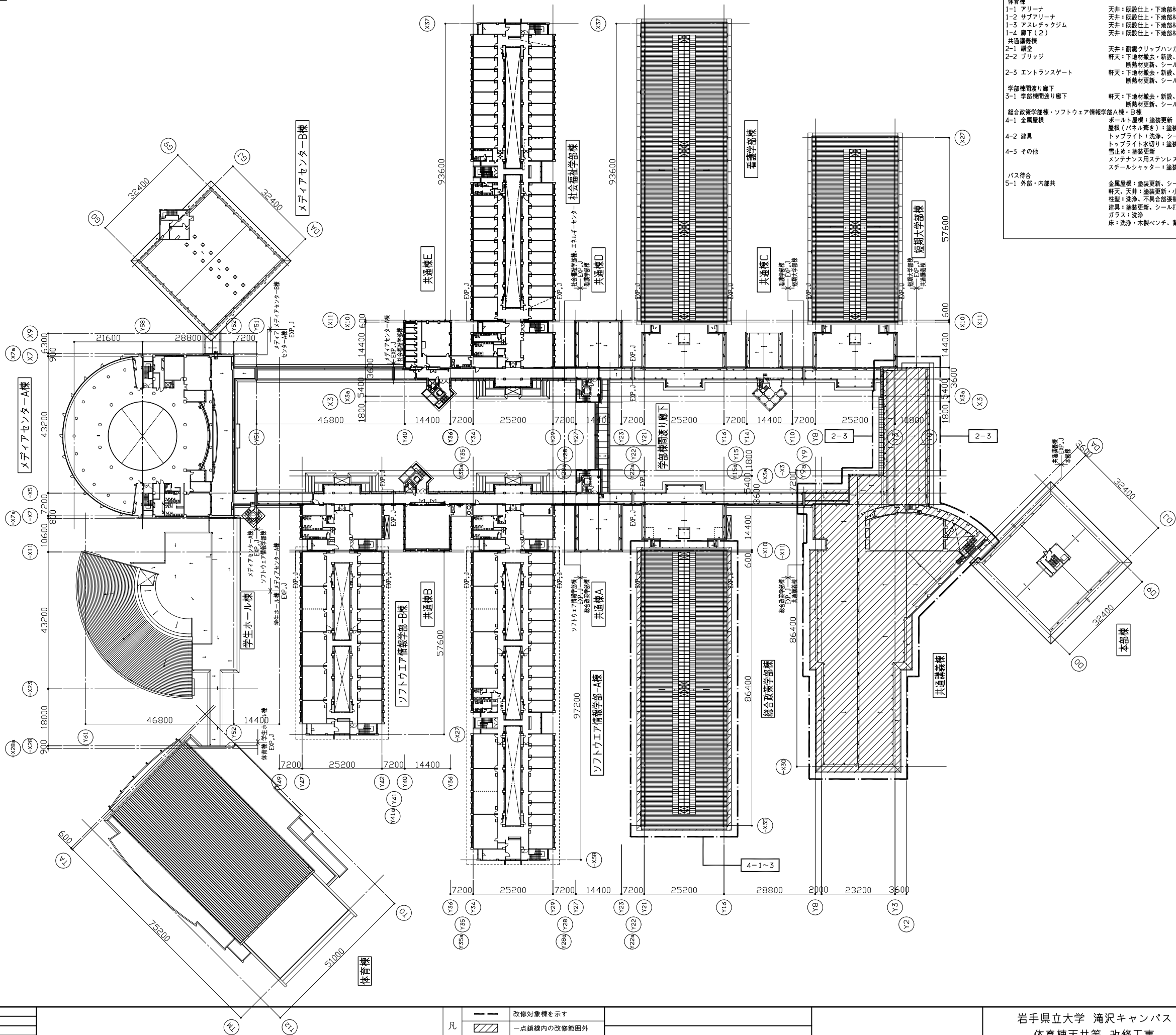


普工	□ □	□ □	
竣工	□ □	□ □	
監理		□ □	
		□ □	
施工		□ □	
		□ □	

凡 例		改修対象棟を示す
		一点鎖線内の改修範囲外
		番号は改修概要参照
		仮設階段位置



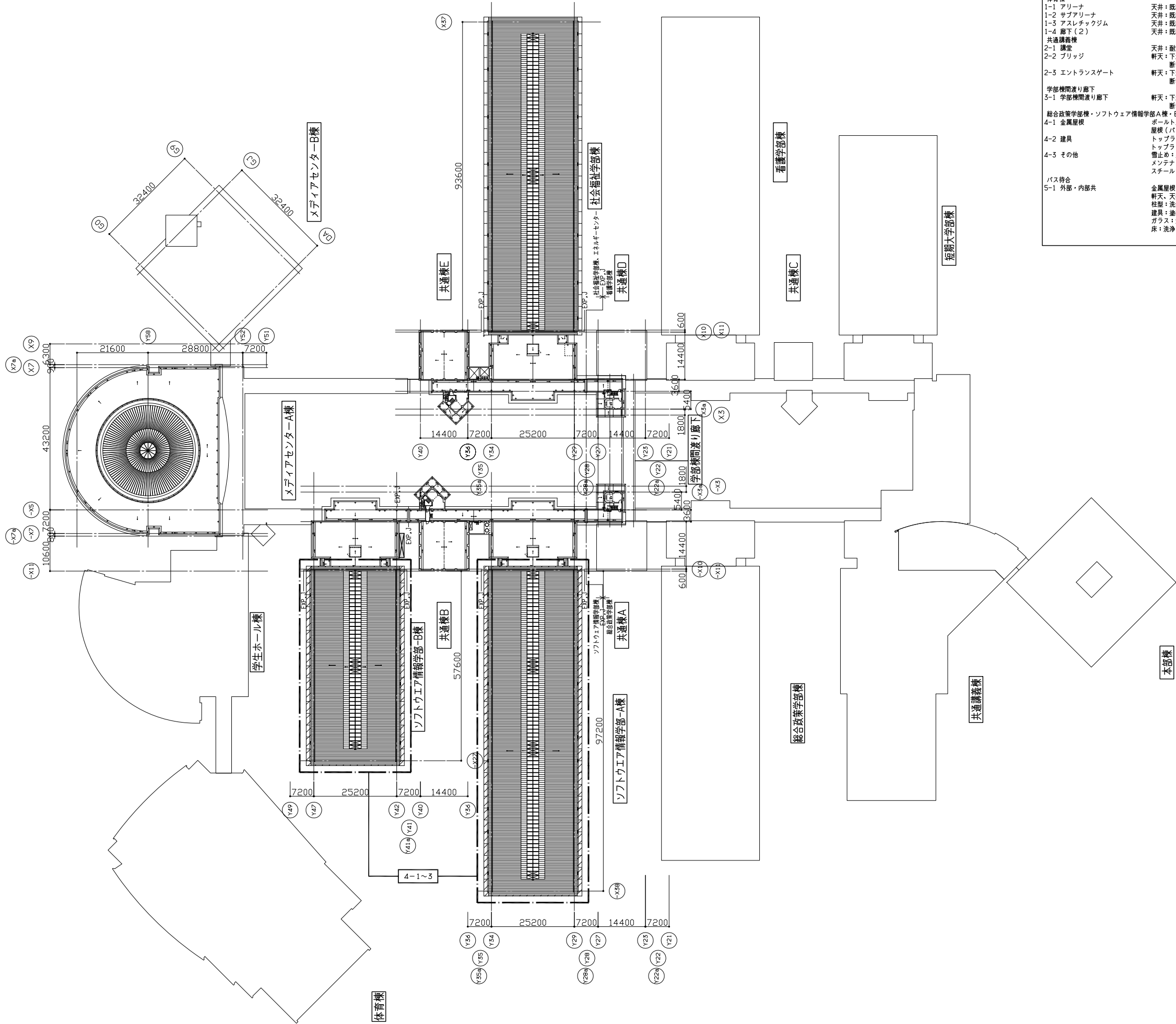




改修概要凡例	
体育棟	
1-1 アリーナ	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-2 サブアリーナ	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-3 アスレチックジム	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-4 廊下(2)	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
共通講義棟	
2-1 講堂	天井：前震クリップハンガー増設、天井器具の落下防止材新設
2-2 ブリッジ	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替
2-3 エントランスゲート	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替、点検口新設
学部棟間渡り廊下	
3-1 学部棟間渡り廊下	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替
総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟	
4-1 金属屋根	ボールド屋根・塗装更新 屋根(パネル基き)：塗装更新
4-2 建具	トップライト：洗浄、シール更新 トップライト水切り：塗装更新、シール更新
4-3 その他	雪止め：塗装更新 メンテナンス用ステンレスパイプ：洗浄、再研磨 スチールシャッター：塗装更新(ソフトウェア情報学部A棟のみ)
バス待合	
5-1 外部・内部共	金属屋根：塗装更新、シール打替え 軒天、天井：塗装更新・小屋フレーム：塗装更新 柱型：洗浄、不具合部張替・腰壁：塗装更新 建具：塗装更新、シール打替え、開閉機構の再調整 ガラス：洗浄 床：洗浄・木製ベンチ、育もたれ：塗装更新、座板不陸調整

審工				
機工				
監理				
施工				

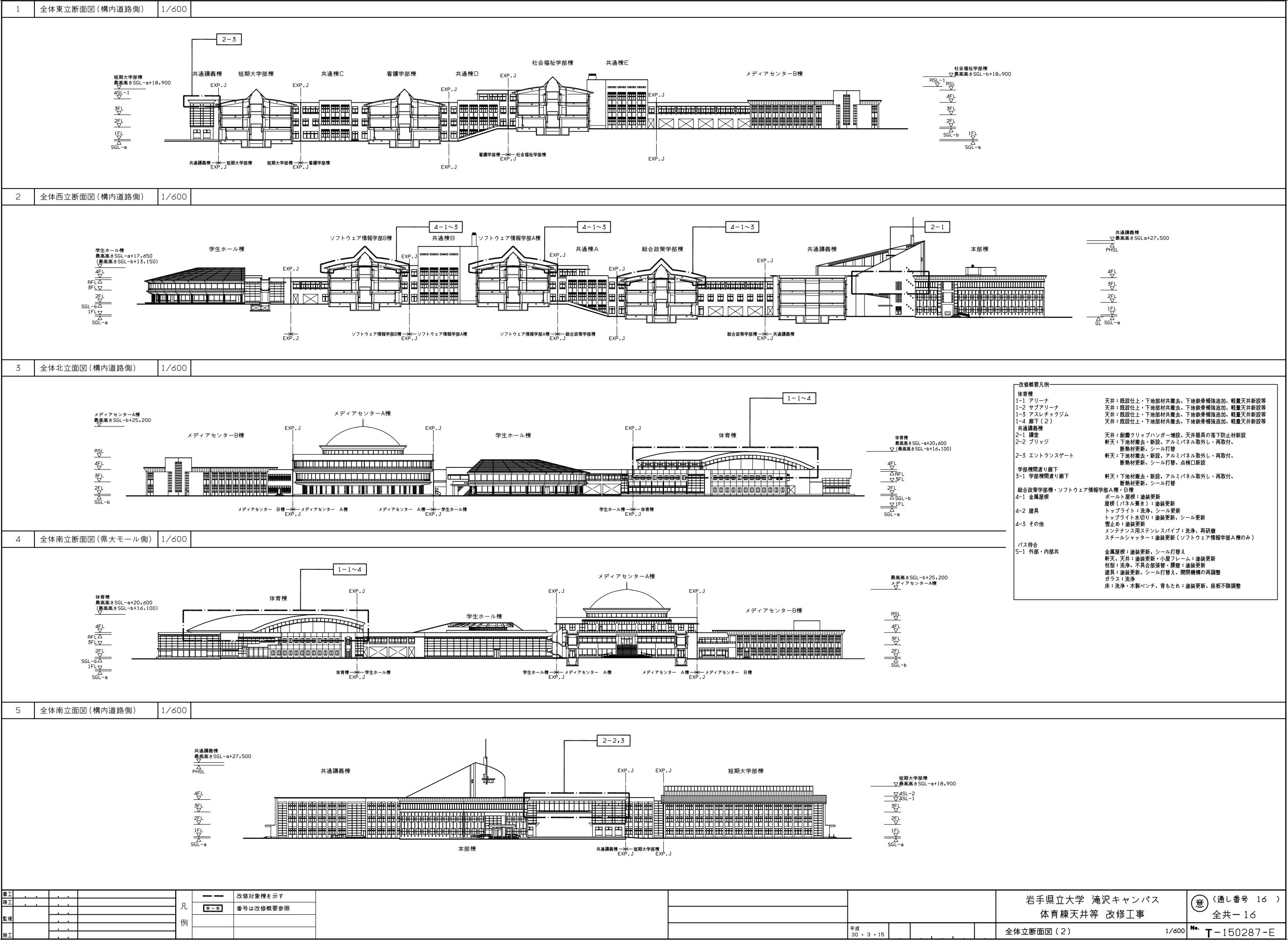
凡例	---	改修対象棟を示す
		一点鎖線内の改修範囲外
		番号は改修概要参照
		仮設階段位置



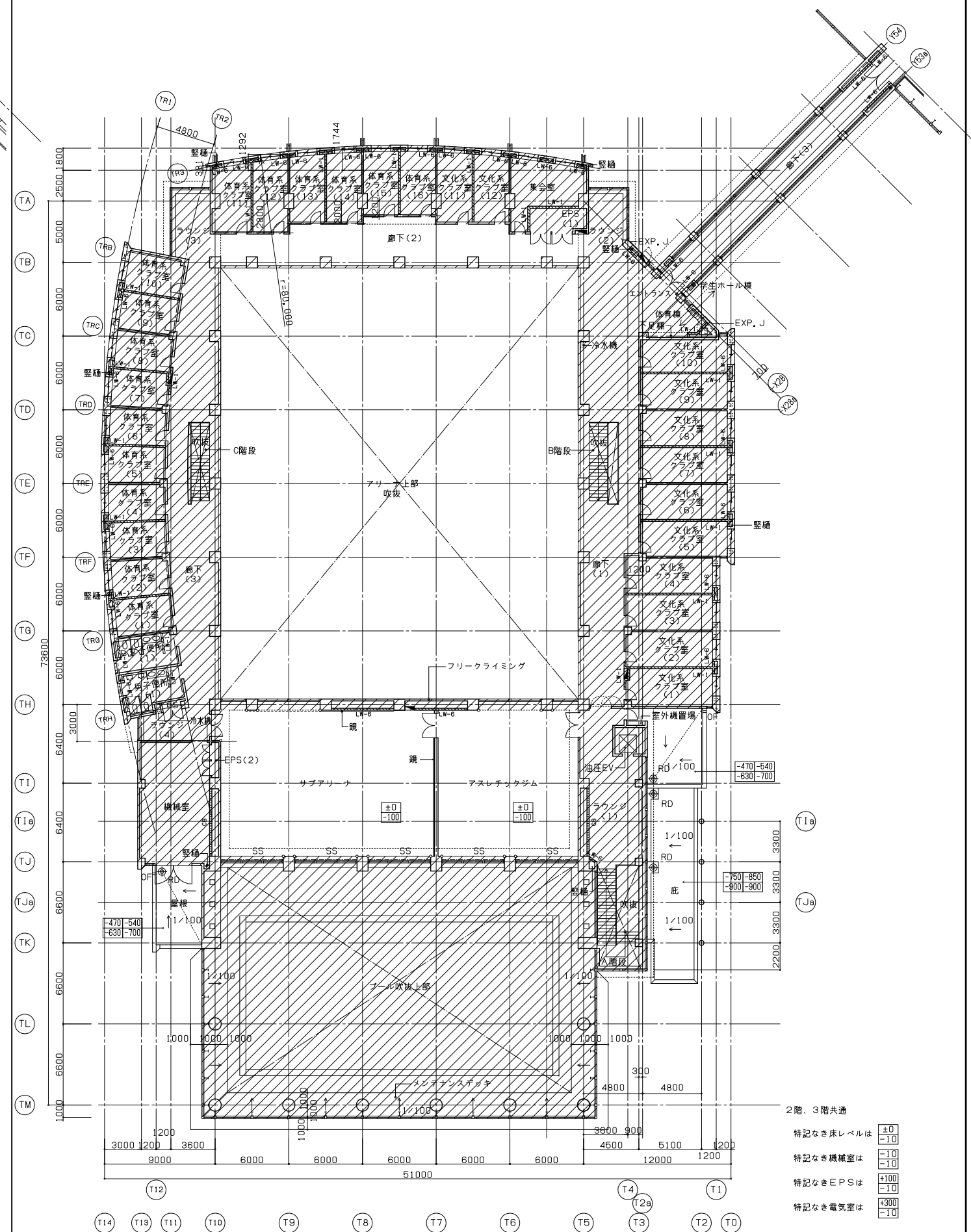
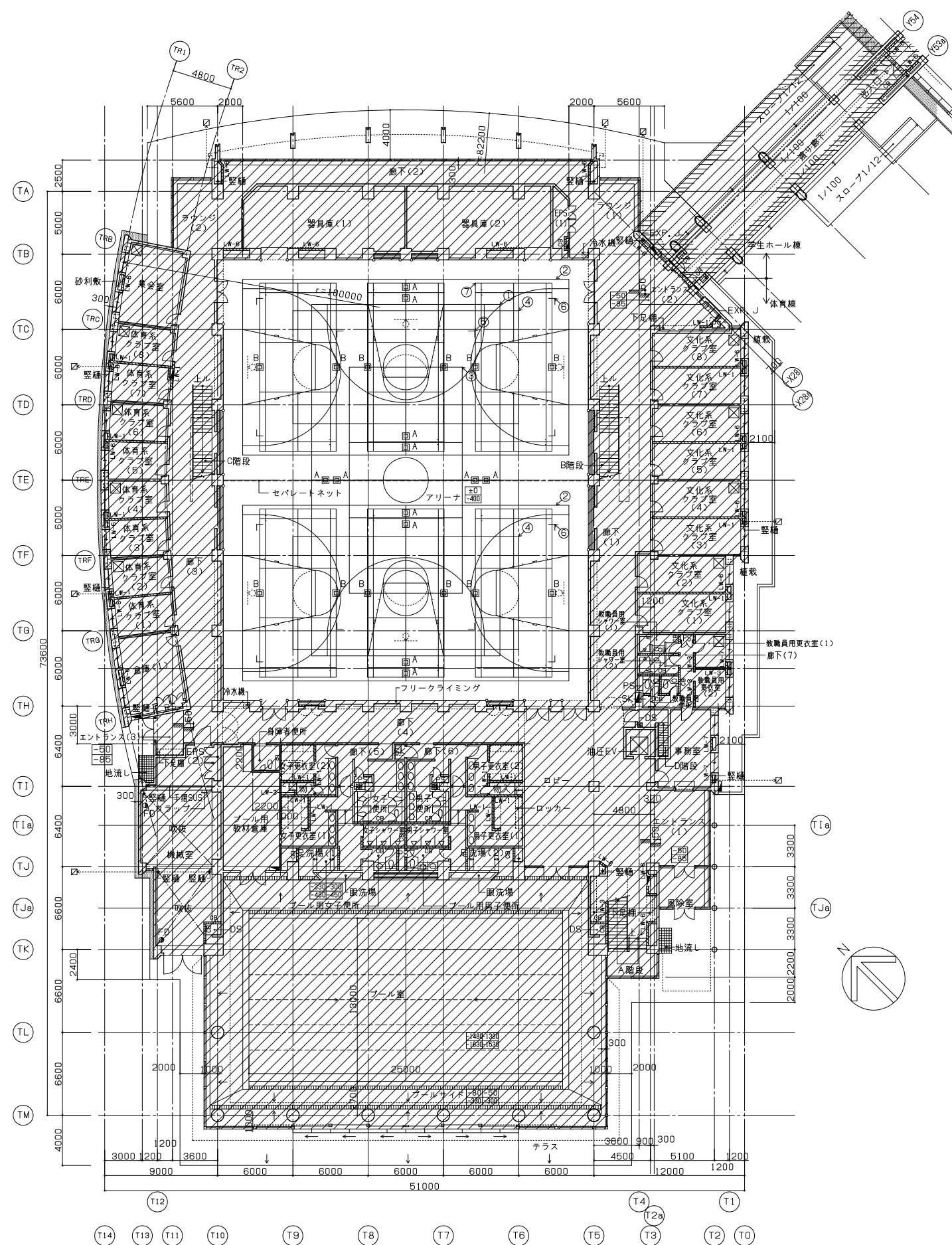
改修概要凡例	
体育棟	
1-1 アリーナ	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-2 サブアリーナ	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-3 アスレチックジム	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
1-4 廊下(2)	天井：既設仕上・下地部材共撤去、下地鉄骨補強追加、軽量天井新設等
共通講義棟	
2-1 講堂	天井：前震クリップハンガー増設、天井器具の落下防止材新設
2-2 ブリッジ	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替
2-3 エントランスゲート	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替、点検口新設
学部棟間渡り廊下	
3-1 学部棟間渡り廊下	軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、 断熱材更新、シール打替
総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟	
4-1 金属屋根	ボールド屋根・塗装更新
4-2 建具	屋根(パネル基き)：塗装更新 トップライト：洗浄、シール更新 トップライト水切り：塗装更新、シール更新
4-3 その他	雪止め：塗装更新 メンテナンス用ステンレスパイプ：洗浄、再研磨 スチールシャッター：塗装更新(ソフトウェア情報学部A棟のみ)
バス待合	
5-1 外部・内部共	金属屋根：塗装更新、シール打替え 軒天、天井：塗装更新・小屋フレーム：塗装更新 柱型：洗浄、不具合部張替・腰壁：塗装更新 建具：塗装更新、シール打替え、開閉機構の再調整 ガラス：洗浄 床：洗浄・木製ベンチ、青もたれ：塗装更新、座板不陸調整

審工				
機工				
監理				
施工				

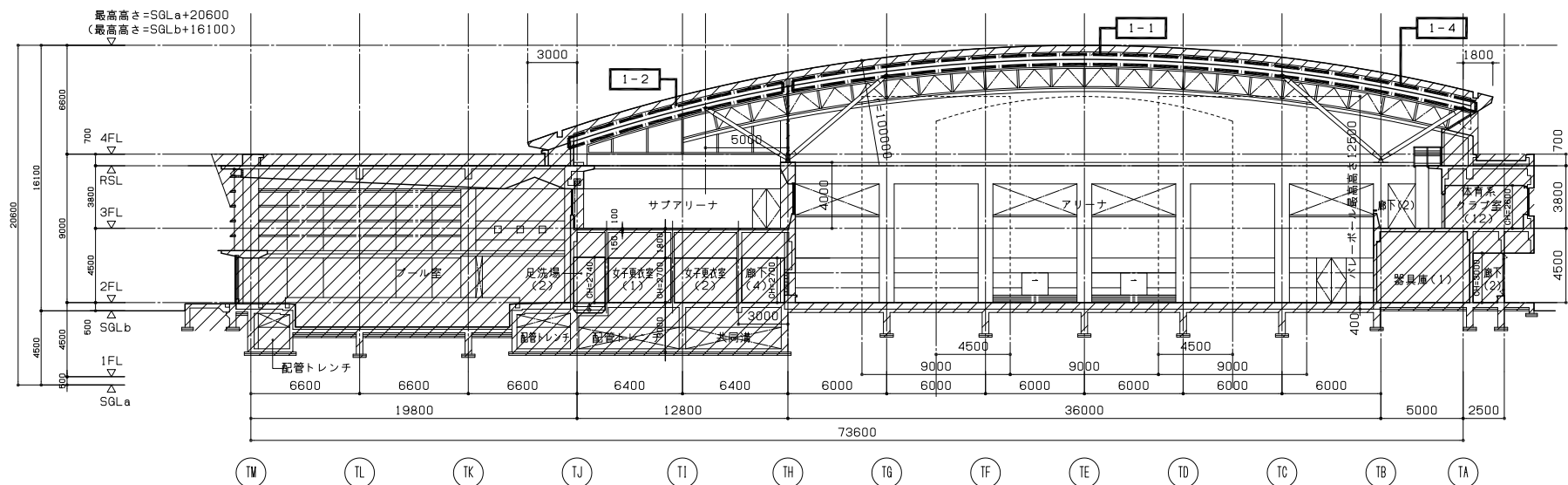
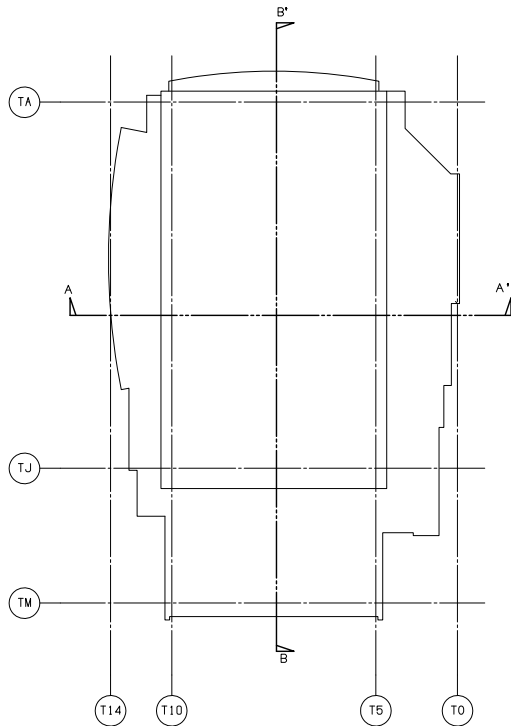
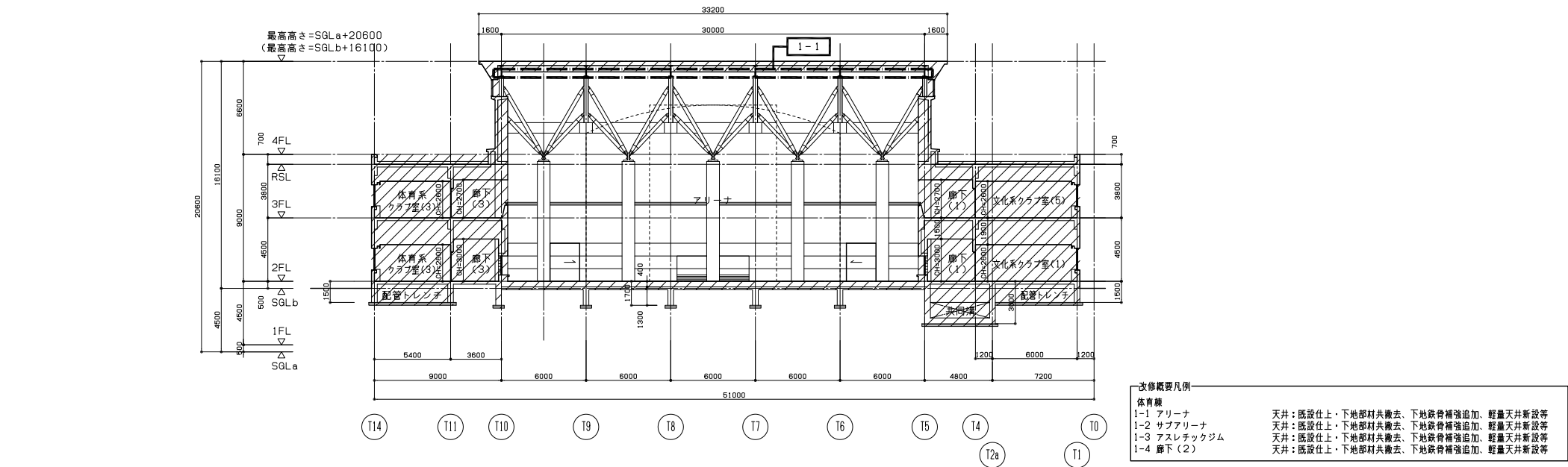
凡例		改修対象棟を示す
		一点鎖線内の改修範囲外
		番号は改修概要参照
		仮設階段位置

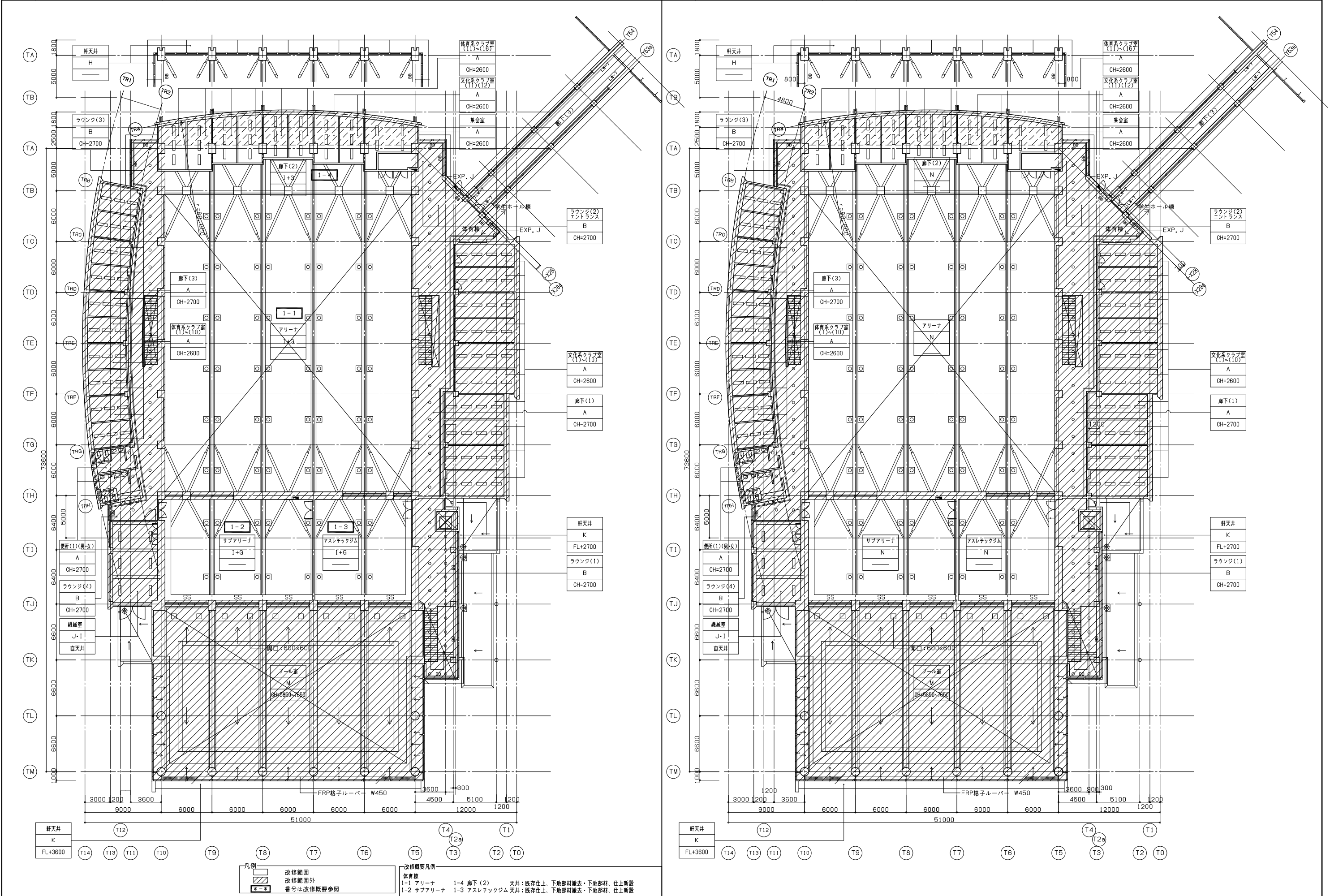


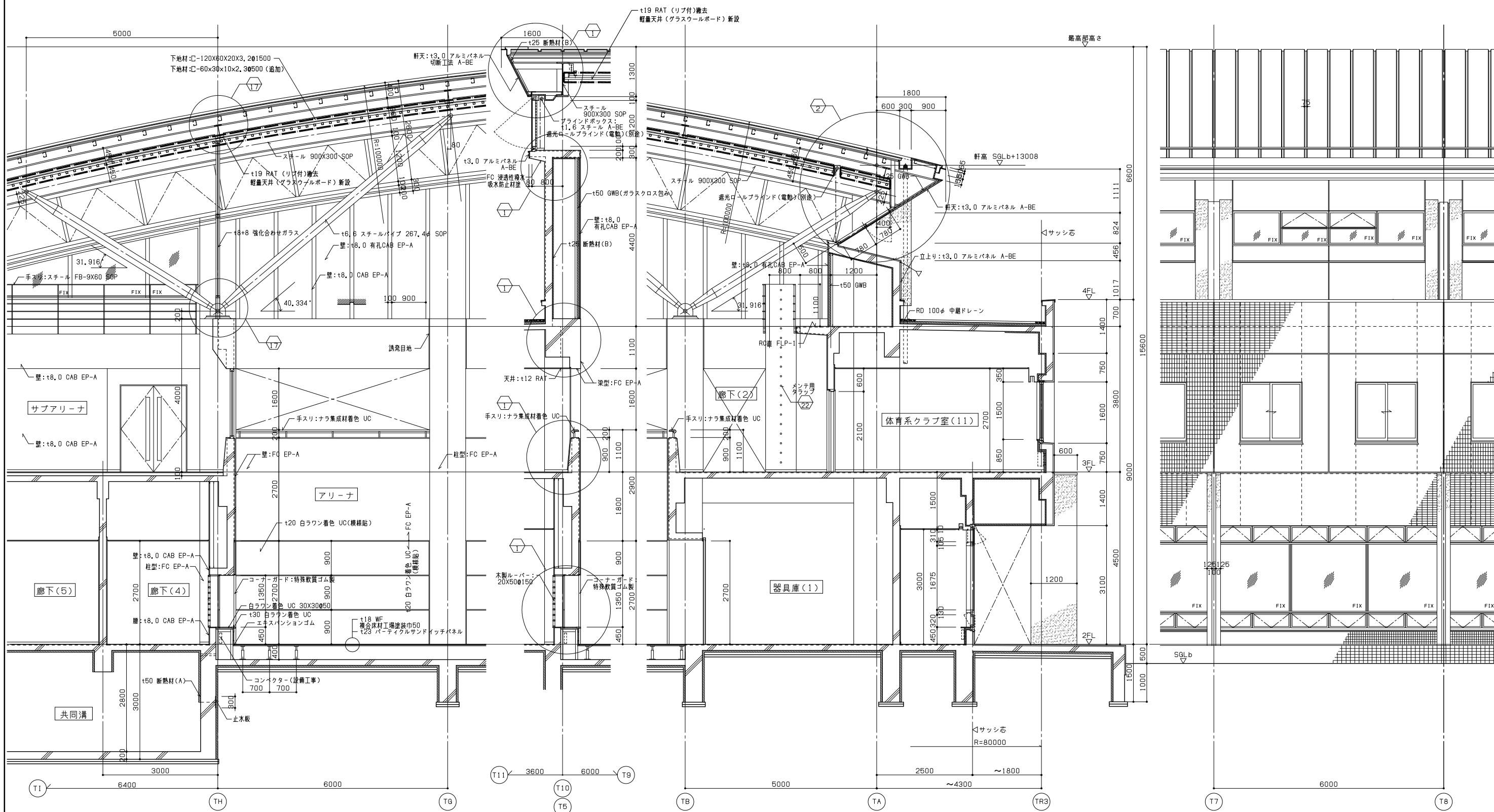
[illegible]




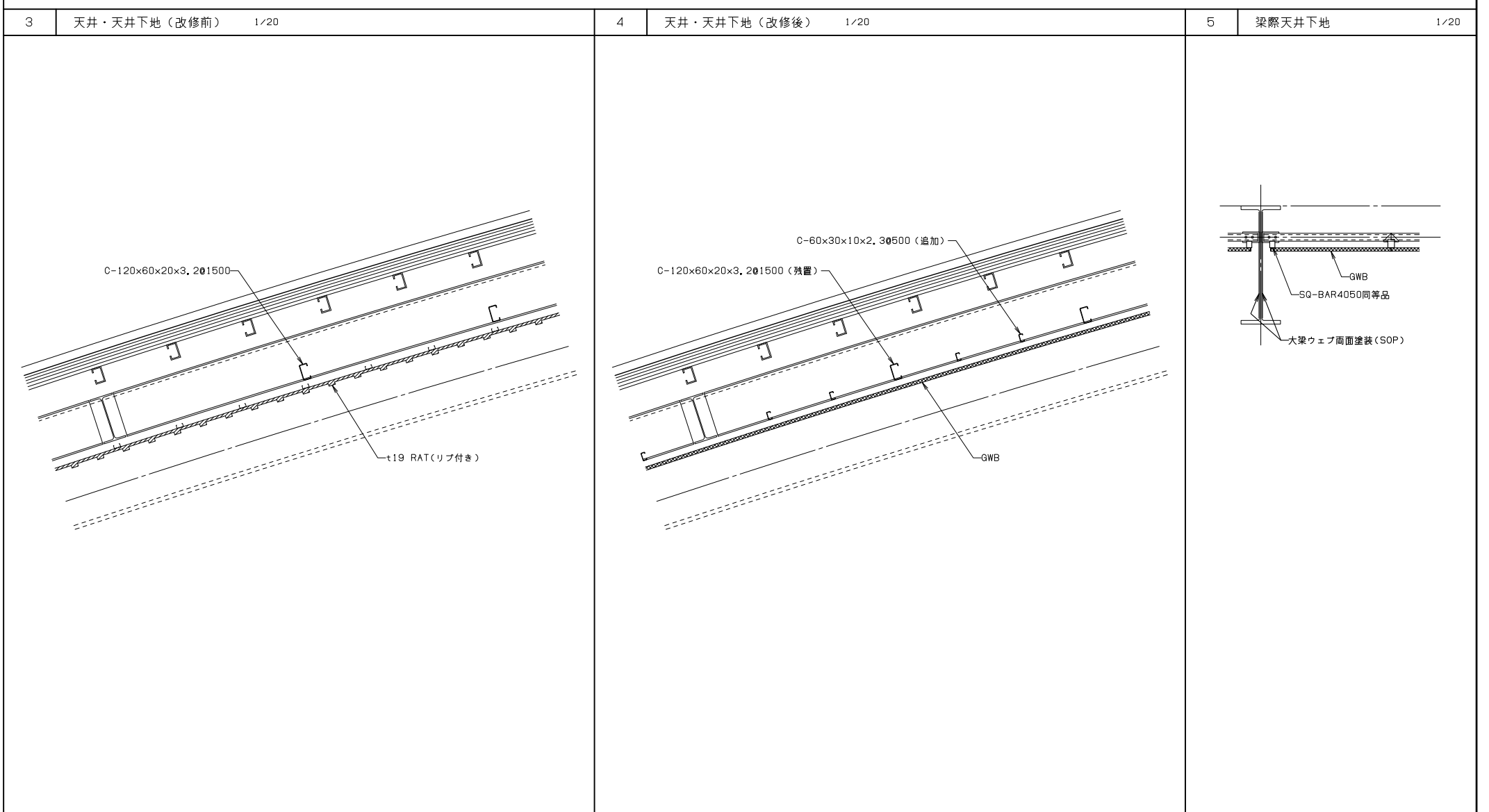
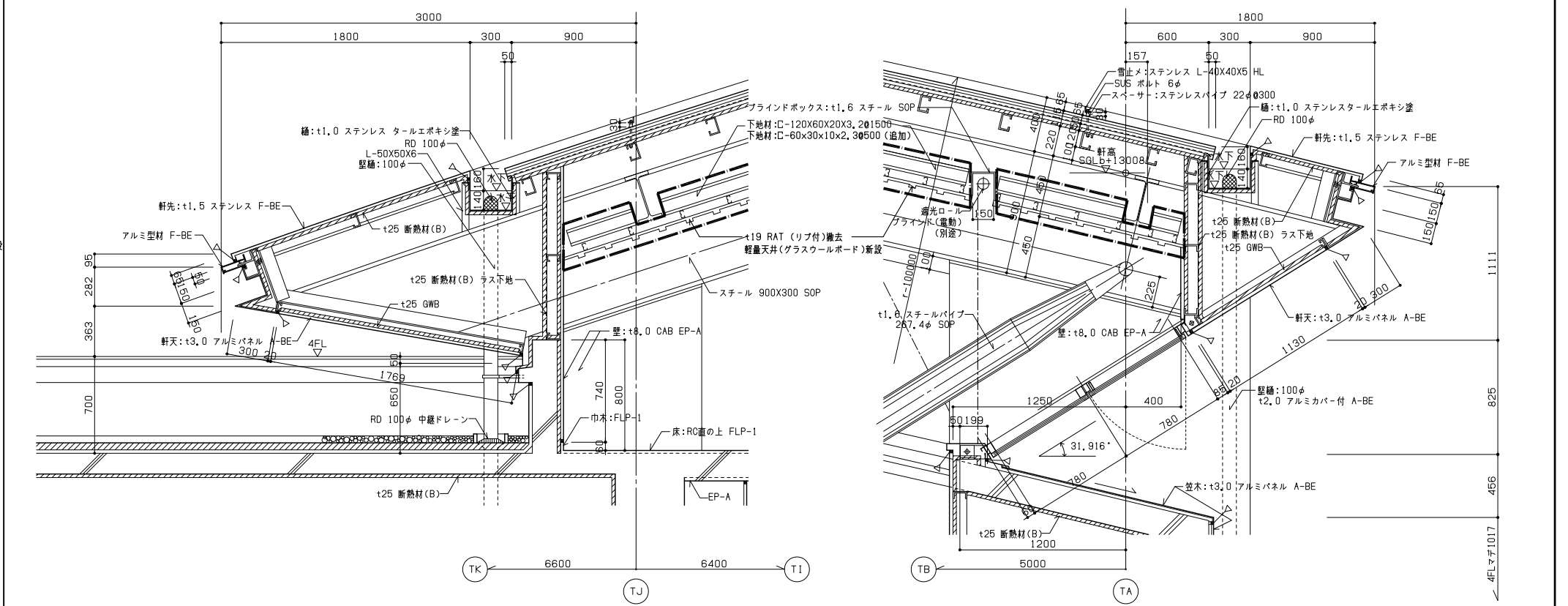
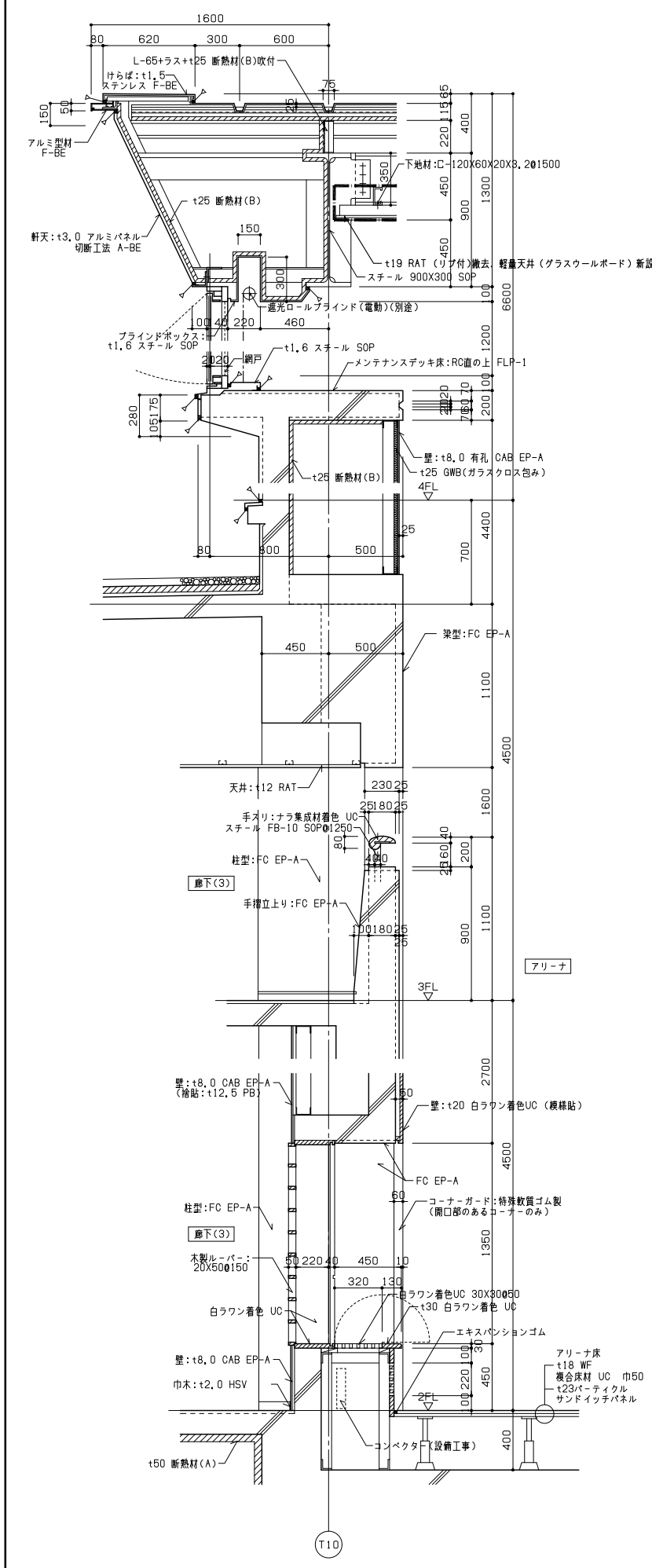
審工	● ●	● ●	凡 例		既存天井撤去新設による工事使用範囲
障工	● ●	● ●			改修範囲外
監理		● ●			
		● ●			
施工		● ●			

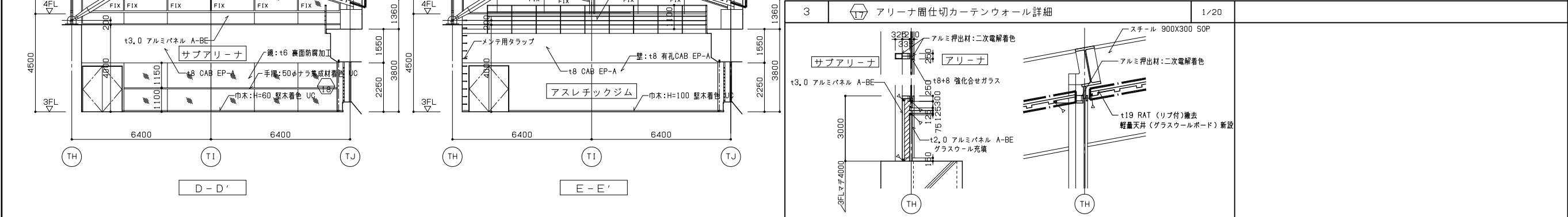
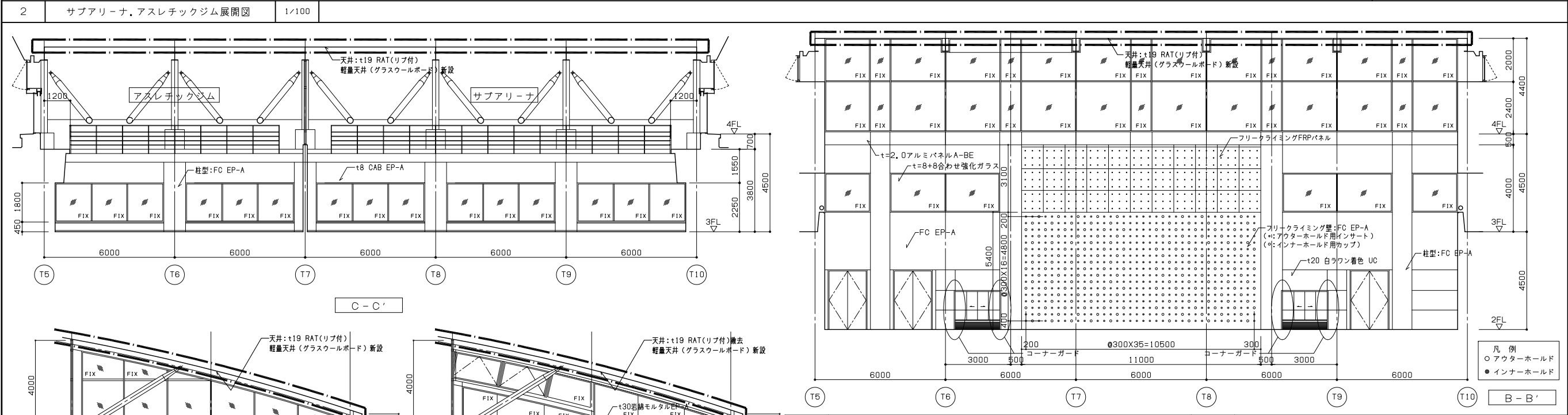
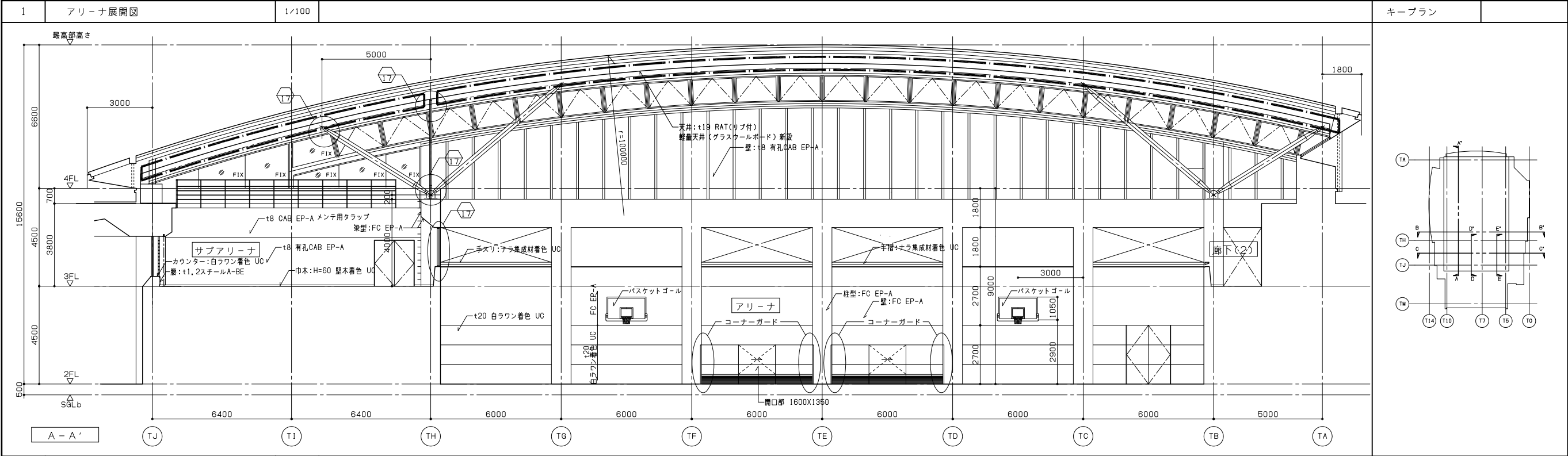




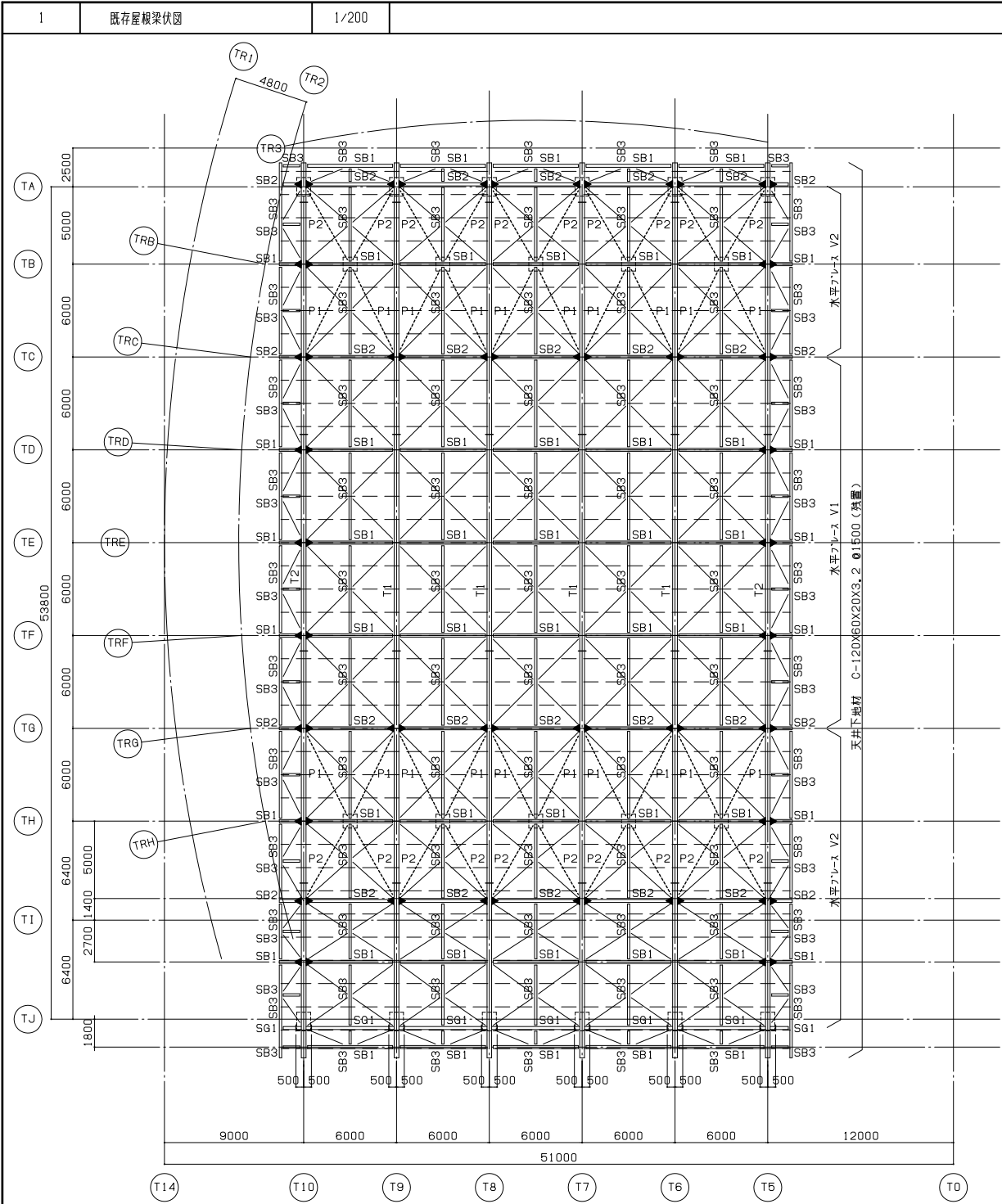


新工		*	凡 例	改修範囲	*太字は改修内容を示す。									岩手県立大学 滝沢キャンパス		 （通し番号 21）	
竣工		*				*図中のFL、階表示は各様の階設定による。									体育棟天井等 改修工事		
		*				*図中①②の詳細図は、『体育－5 矩計図（2）』を参照											
監理		*				*図中③④の詳細図は、『体育－6 アリーナ展開図、詳細図』を参照											
施工		*															
		*					平成							矩計図（1）（体育棟アリーナ）	1/20, 1/50	No. T-150287-E	
		*					30・3・15										

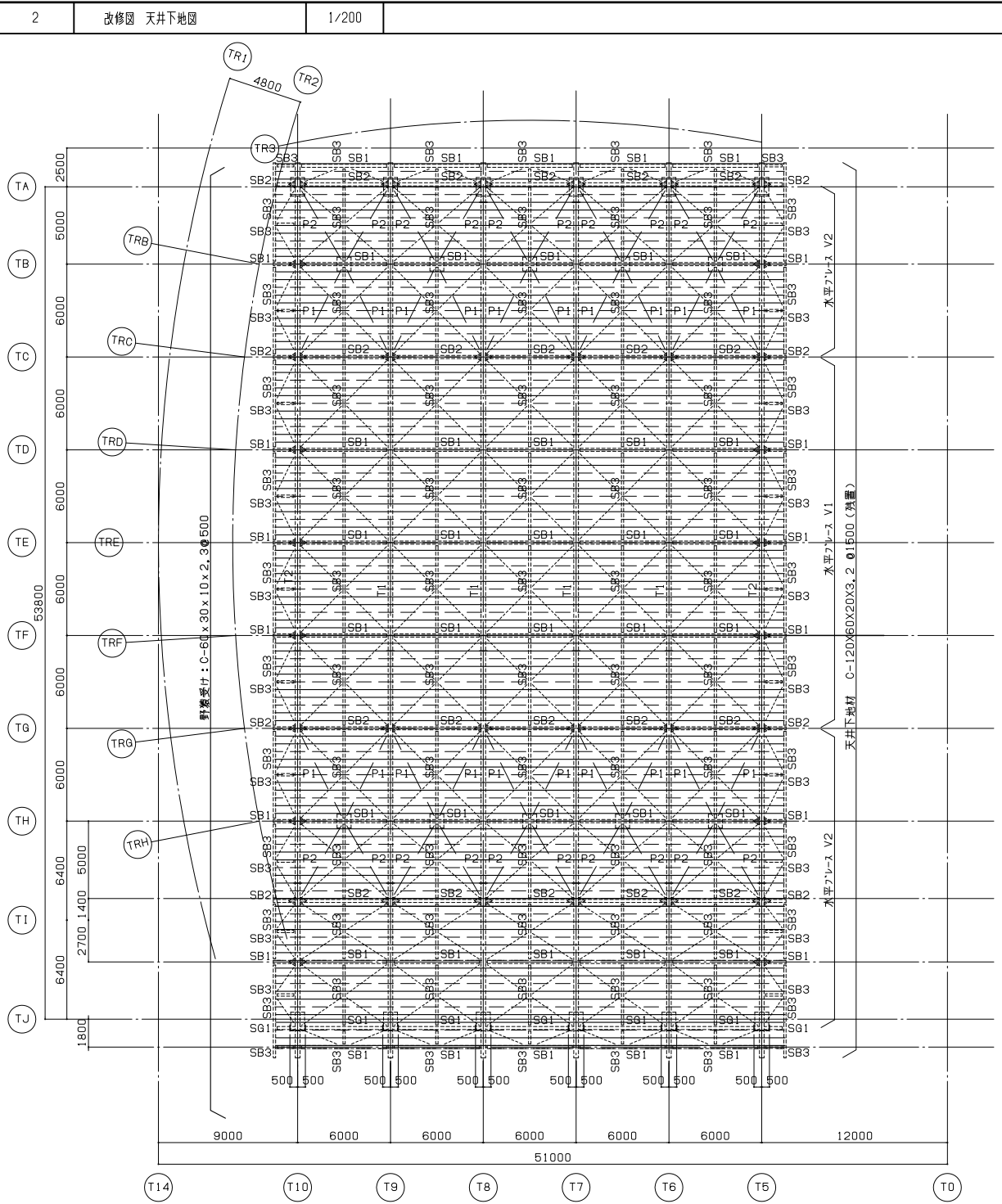
[illegible]



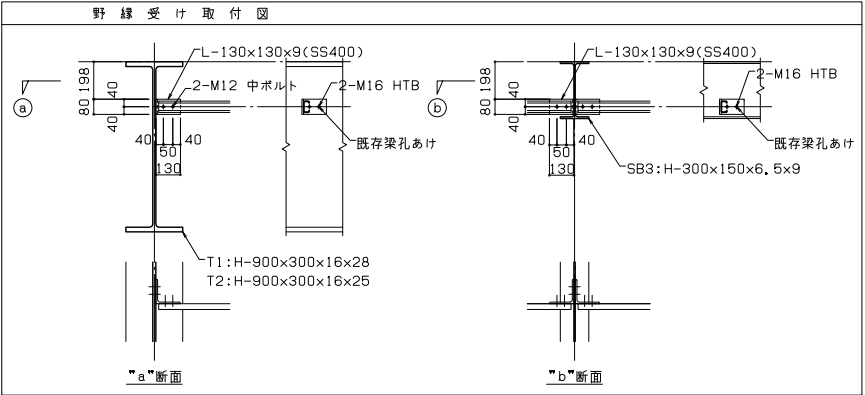
設計	・	・	・	凡	改修範囲	※太字は改修内容を示す。	平面図に対する展開方向	平成 30・3・15	岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事	(通し番号 23) 体育 - 6
竣工	・	・	・	例		※図中のFL、階表示は各棟の階設定による。				
監理	・	・	・							
施工	・	・	・							



既存部材断面表		
符号	断面寸法	備考
T1	WH -900X300X16(36)X28	SN400B
T2	WH -900X300X16(36)X25	SN400B
S01	H -900X250X16X19	SN400B
SB2	H -350X175X 7X11	SN400A
SB3	H -350X175X 7X11	SN400A
P1	P -267, 4φX6, 6	STK400
P2	P -267, 4φX6, 6	STK400
V1	L - 90X 90X 7	SN400A
V2	CT - 97X150X 6X 9	SN400A
V3	L - 65X 65X 6	SN400A



部材断面表		
部材	断面寸法	備考
天井下地材	C -120×60×20×3, 2φ1500	--- (熱重)
野縁受け	C -60×30×10×2, 3φ500	--- (改修)



施工			
竣工			
監理			
施工			

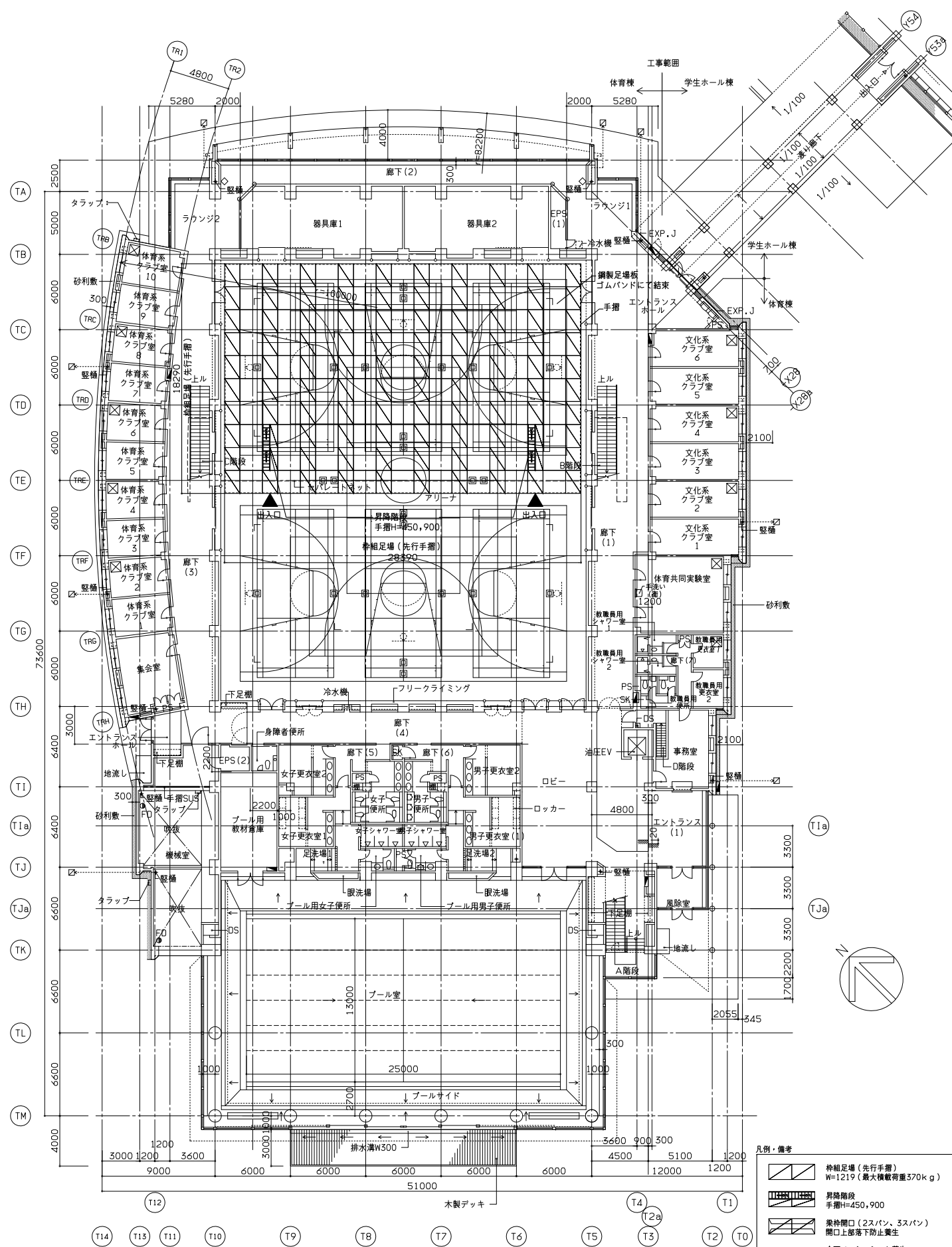
平成
30・3・15

岩手県立大学 滝沢キャンパス
体育棟天井等 改修工事

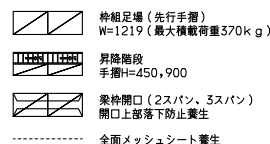
屋根梁伏図 (体育棟アリーナ)

構 (通し番号 24)
体育 - 7

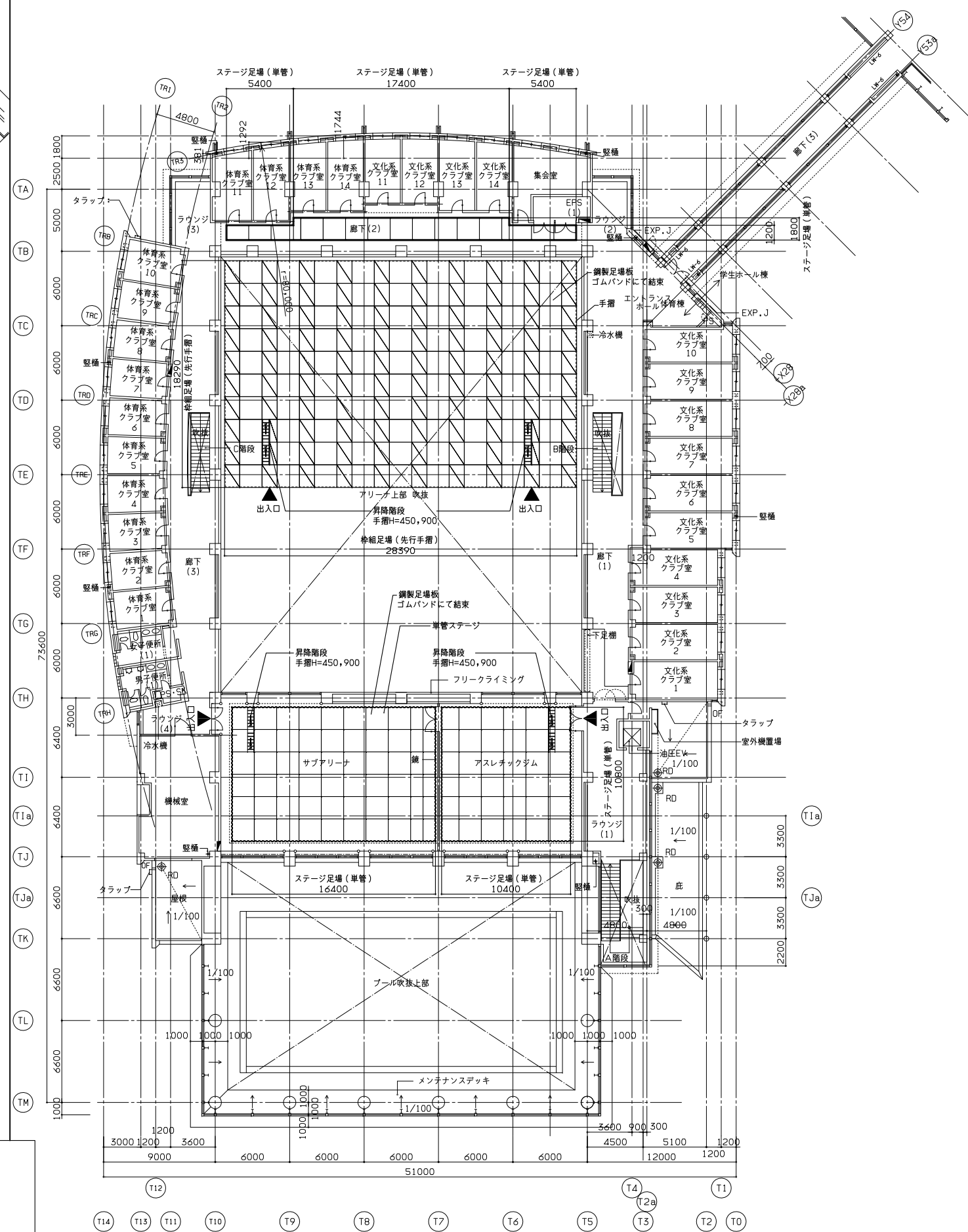
1/200 No. T-150287-E

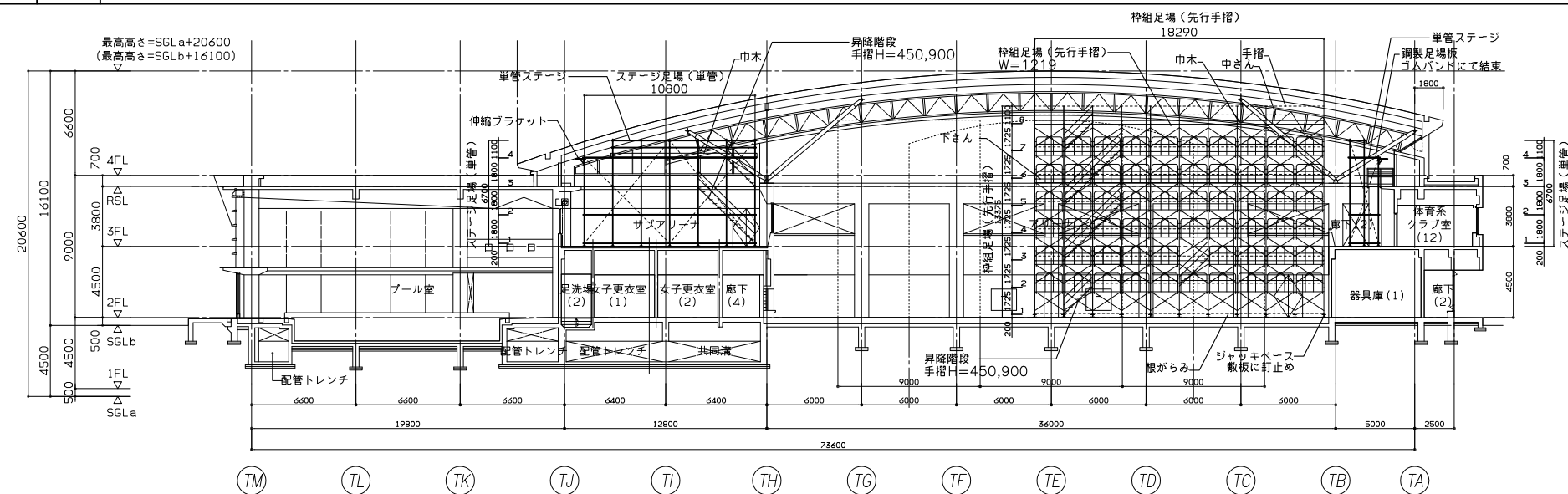
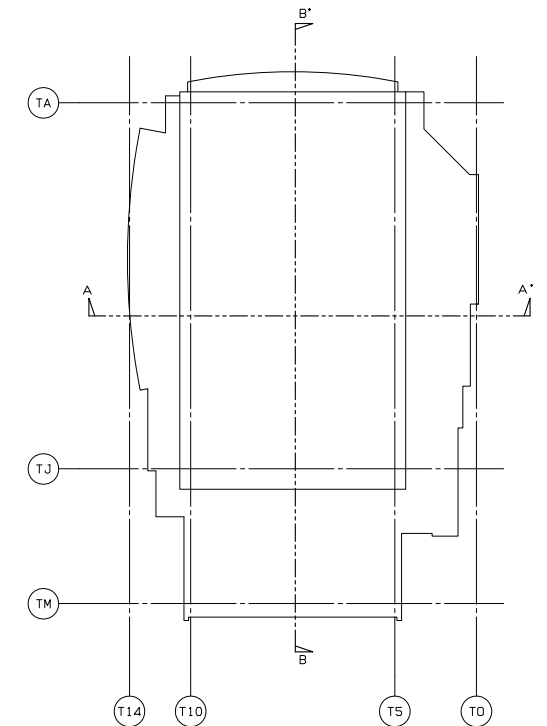
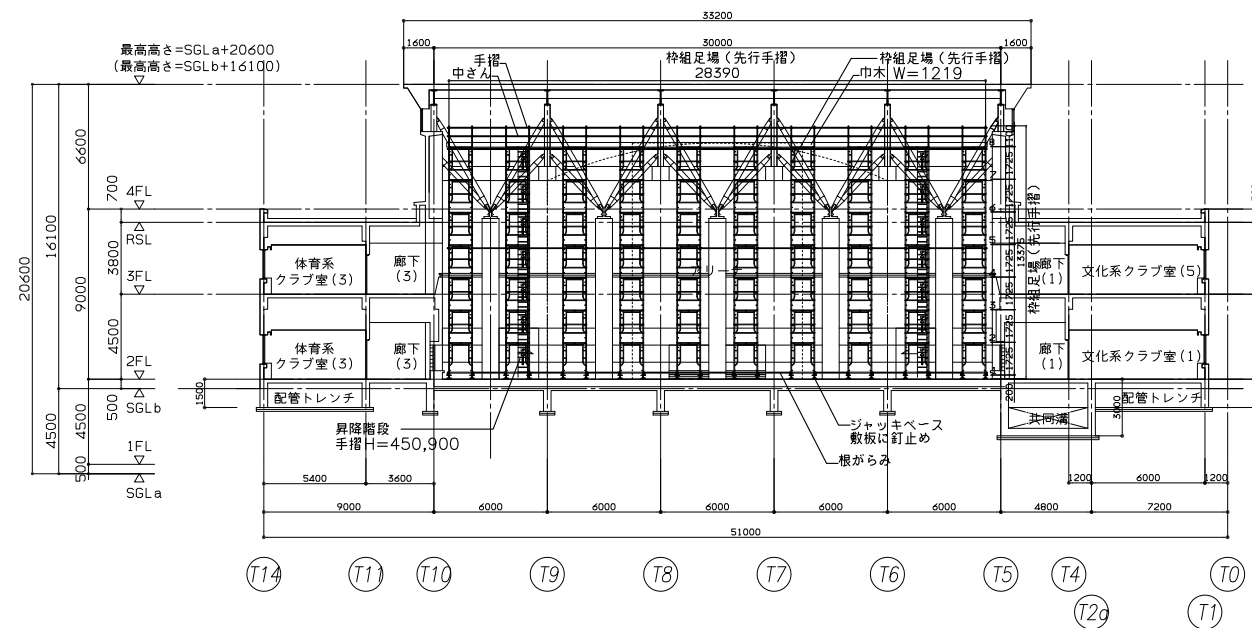


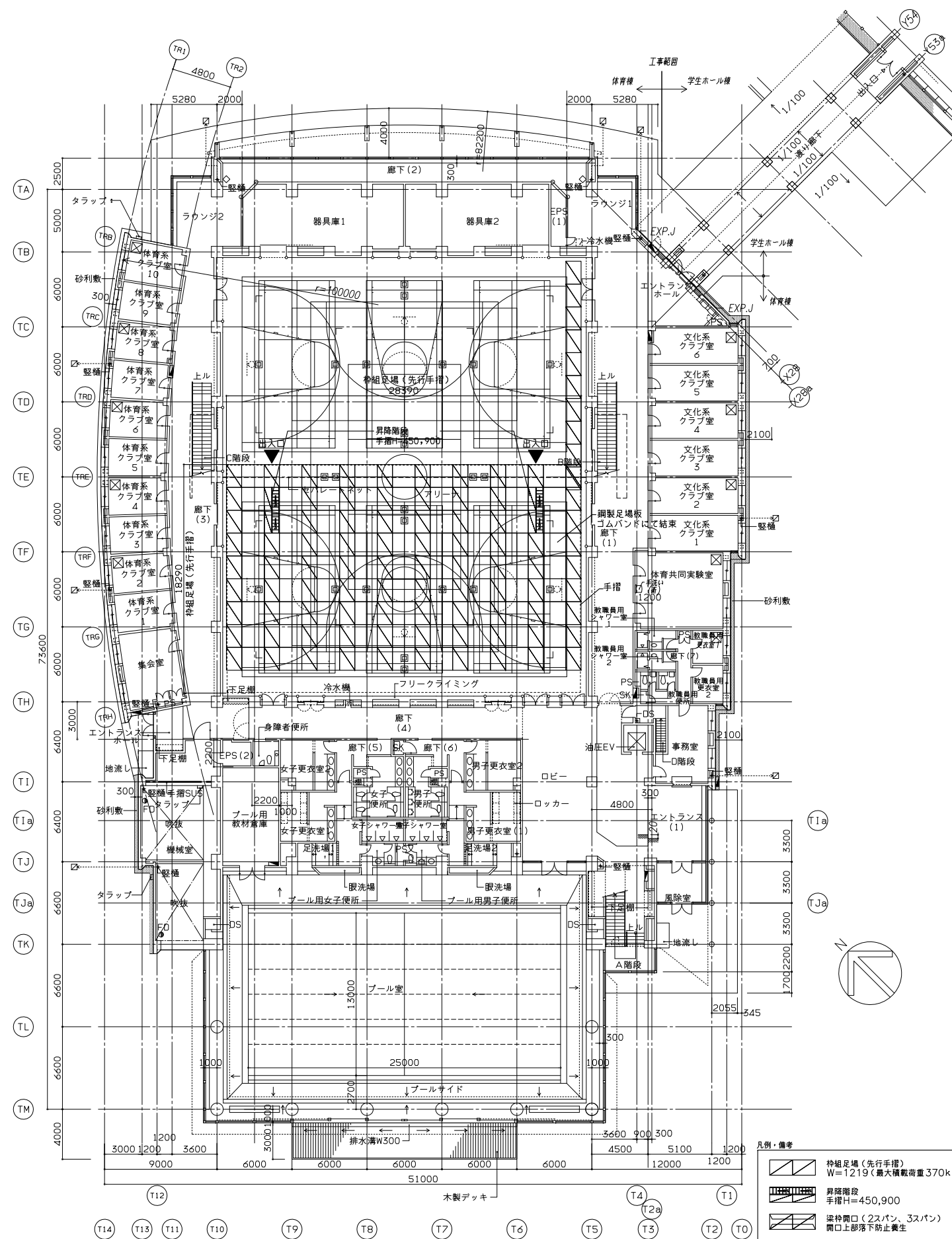
凡例·備考



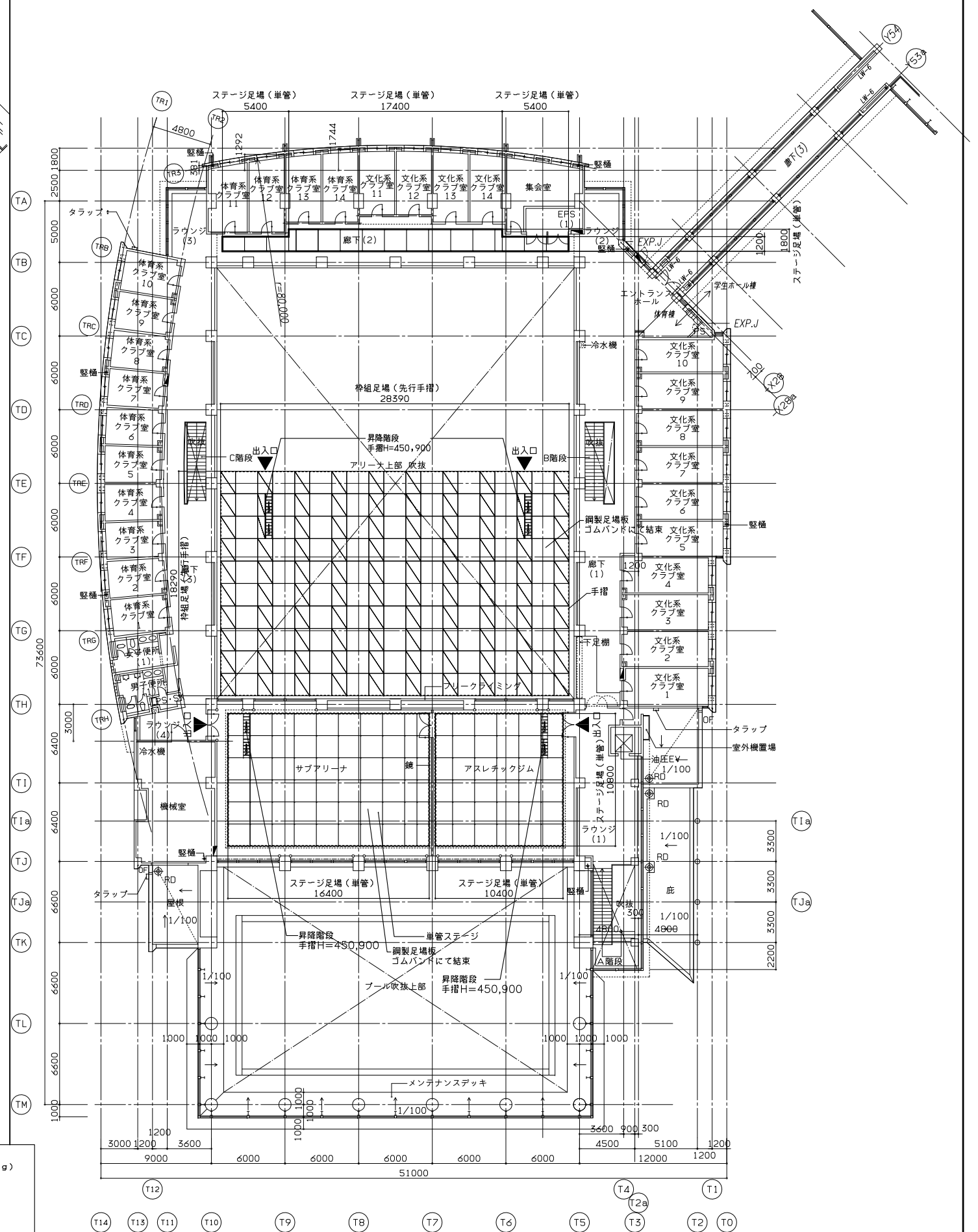
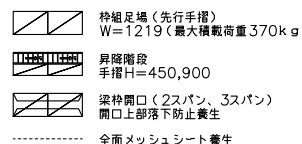
※壁つなぎは各階2スパン毎に設置
※全層層間ネット設置

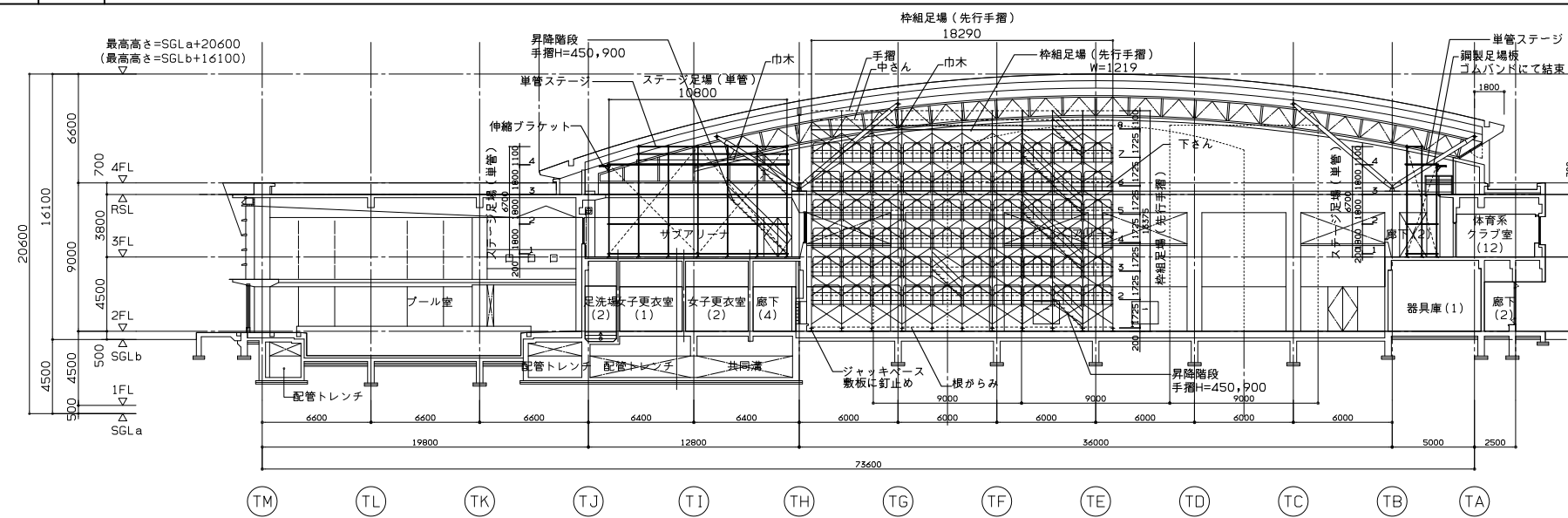
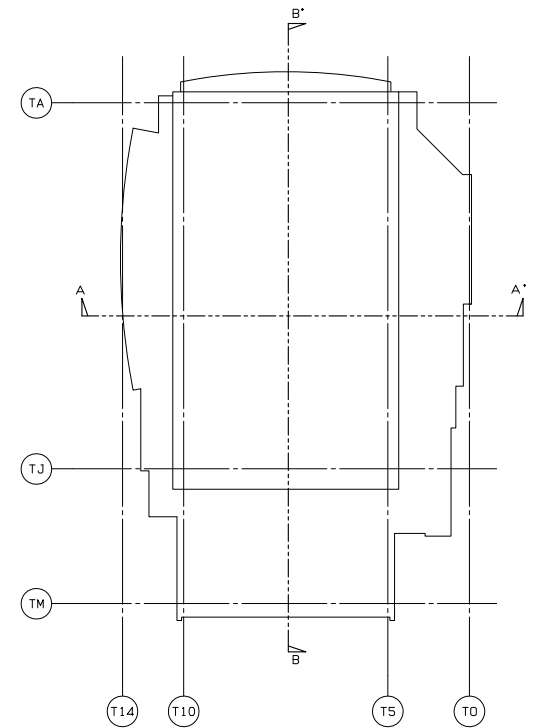
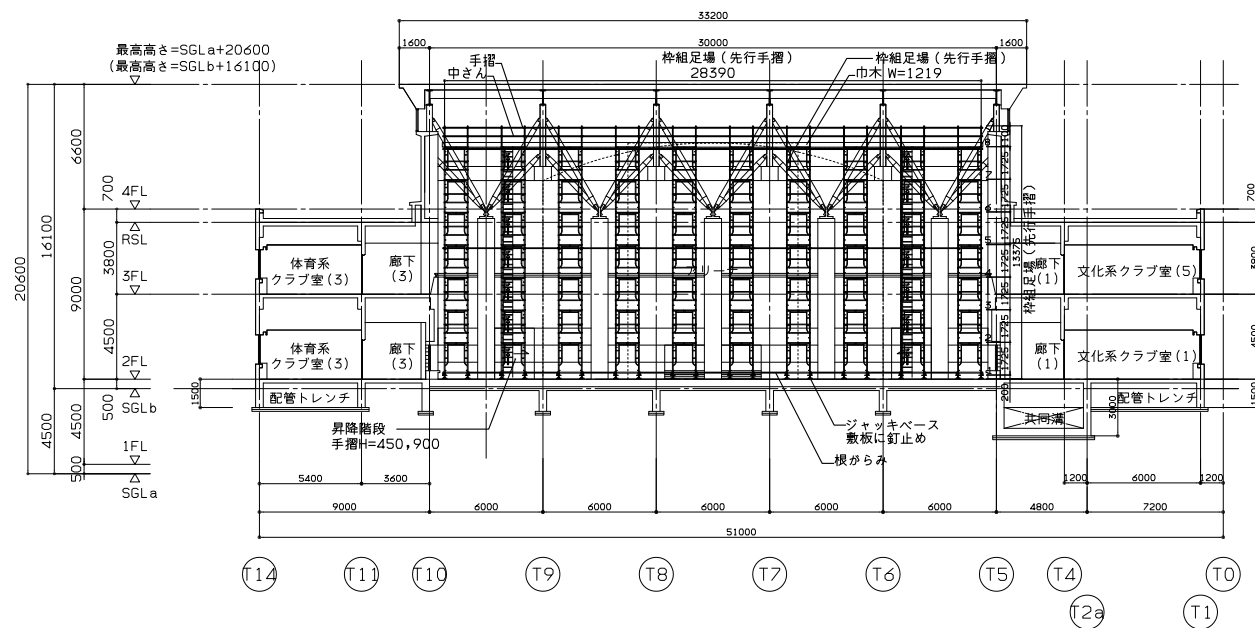


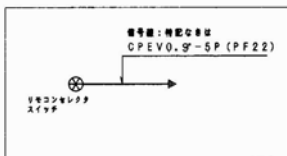
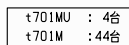




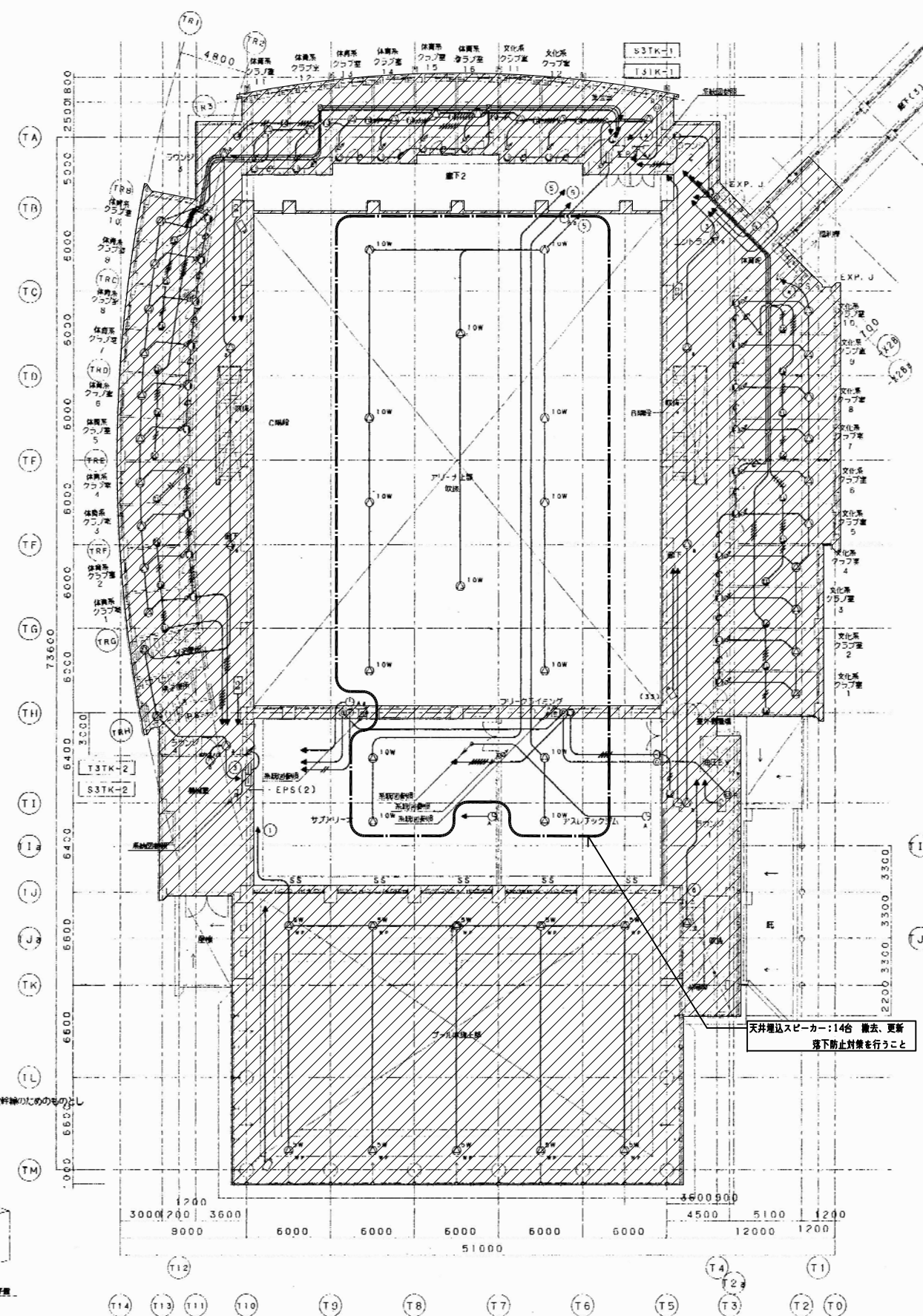
凡例·備考



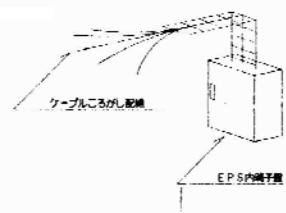


~~MI-150W-1 灯用~~

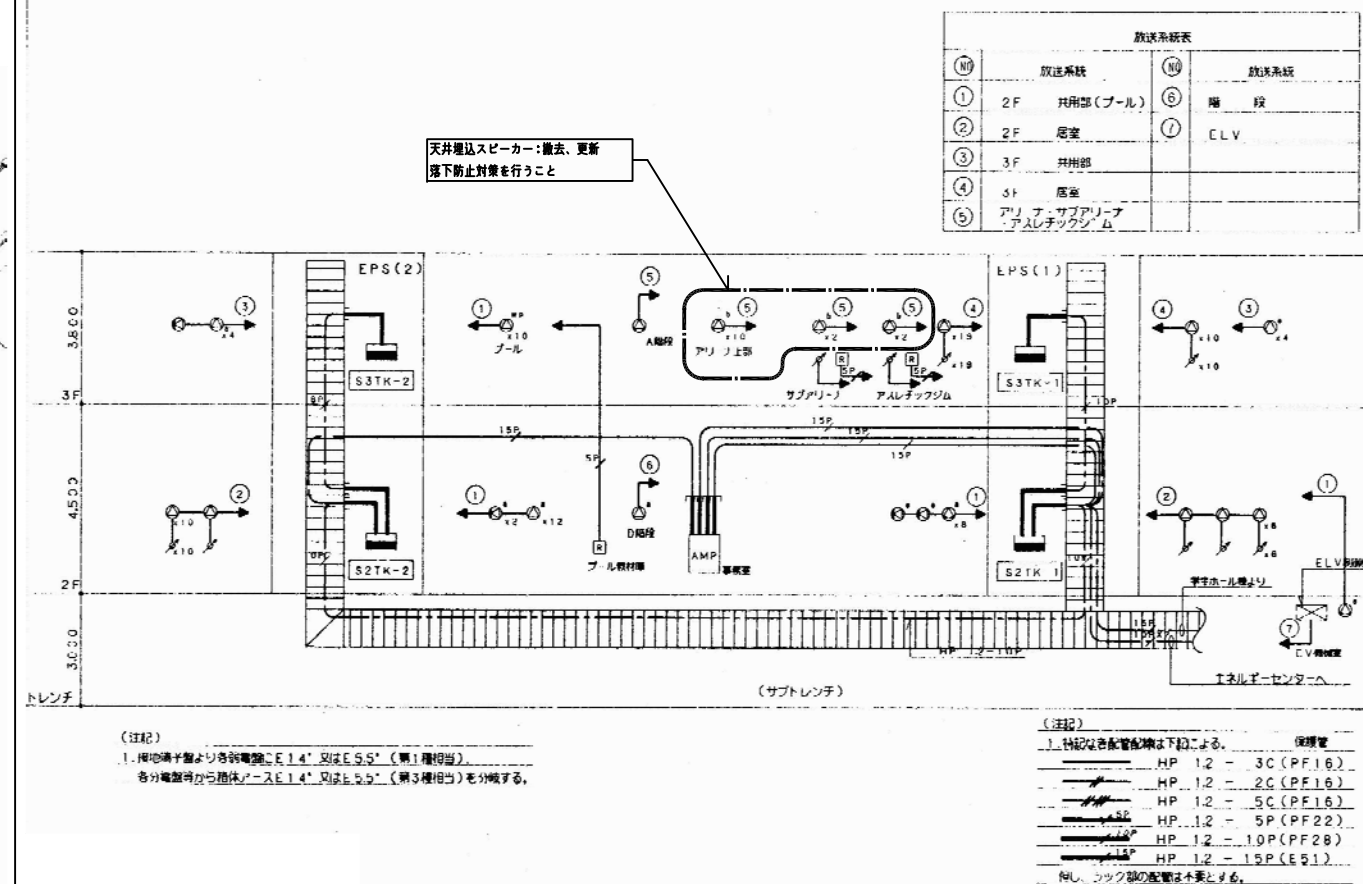
t401MU	: 2台
t401M	: 14台



(注) 各天井内のア ブラックは、情報通信LAN用や二次幹線のためのものとし、
図の弱電配線はケーブルをかし工事と併用とする。
通気盤への配線は、下図のようにする。

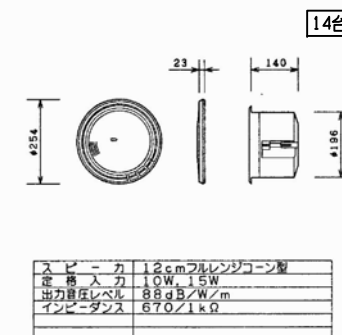


FPSP



3	スピーカー参考仕様図
---	------------

◎	天井埋込型スピーカ
---	-----------



スピーカ	12cmフルレンジコーン型
定格入力	10W, 15W
出力音圧レベル	88dB/W/m
インピーダンス	670/1k Ω

№	放送系統	№	放送系統
①	2F 共用部（プール）	⑥	階 段
②	2F 居室	⑦	CLV
③	3F 共用部		
④	3F 居室		
⑤	ア・マ・レ・ク・シ・ス・ア・リ・ナ マルチメディア		

(注記)
1. 特記なき配管仕様は下記による。 保護管

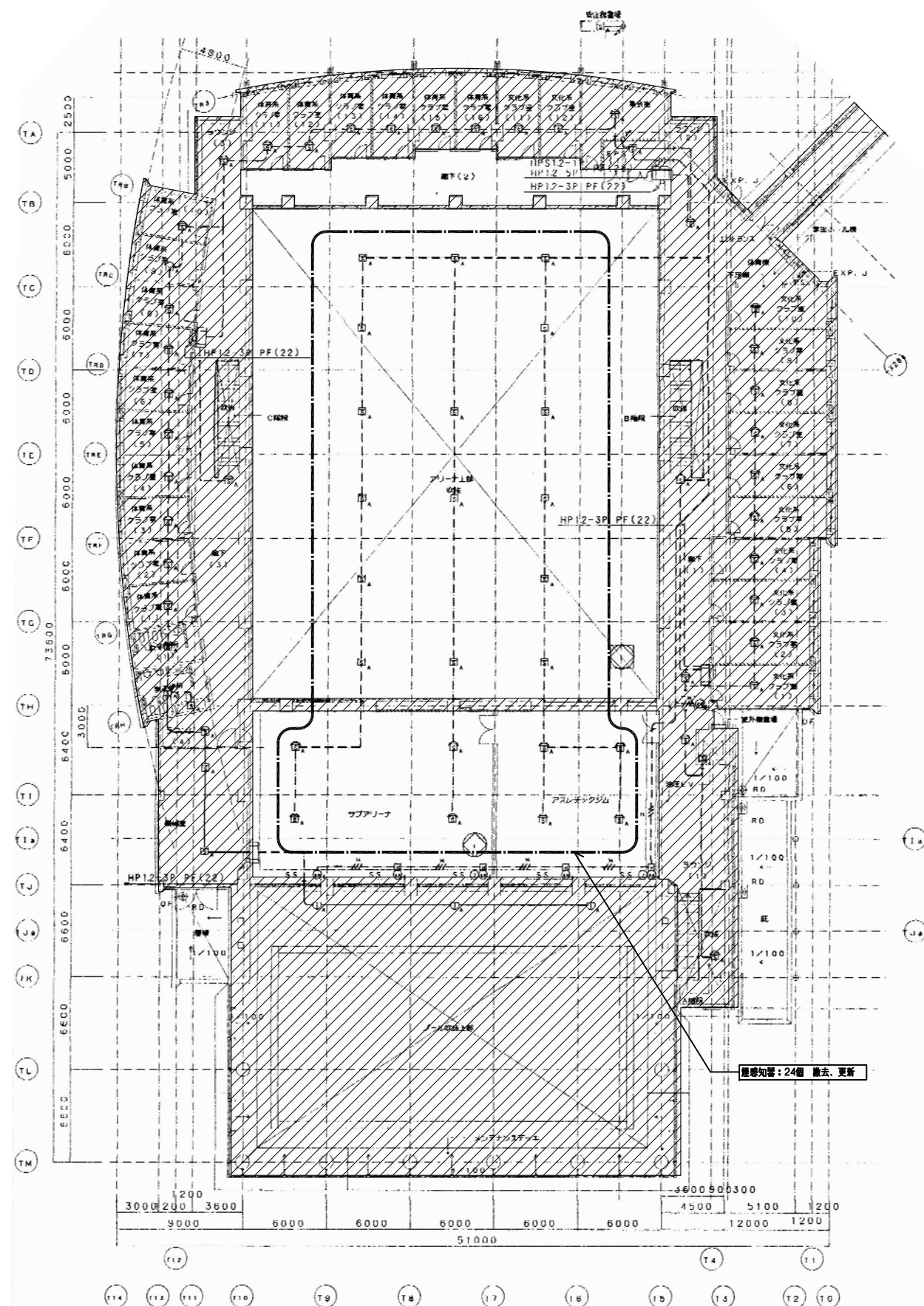
HP 12 - 3C (PF16)	
HP 12 - 2C (PF16)	
HP 12 - 5C (PF16)	
HP 12 - 5P (PF22)	
HP 12 - 10P (PF28)	
HP 12 - 15P (E51)	

但し、フック部の配管は不要とする。

番工	● ●	● ●	
竣工	● ●	● ●	
監理		● ●	
		● ●	
施工		● ●	

凡 例		改修範圍
		改修範圍外

※仕上の表記は現状の仕様を示す



記号	凡	例
名表 中継器 	示 繼器 電磁鐵裝置 吸音箱 吸音箱 吸音箱	備 仕様主記参照 仕様主記参照 防火防煙、減震適用、DC24V、出力nA 消火栓内蔵 消火栓内蔵、防漏型 屋外消火栓内蔵
(S)	光電式煙感知器	2線、多信号式、自動点検機能付
(S)	光電式煙感知器	2線、多信号式、点検型、自動点検機能付
(S)	光電式煙感知器	2線、3線、多信号式、点検型、自動点検機能付
(S)	光電式煙感知器	2線、点検BOX付、自動点検機能付
X(S)	光電式分断型煙感知器	受光型、2信号式、自動点検機能付
(S)→	光電式分断型煙感知器	受光型、2信号式、自動点検機能付
○①○	定温式スボット型熱感知器	特種、65℃、熱暴走、自動点検機能付
P	P型発信機	1線、アドレッシブル型
P	P型発信機	1線、アドレッシブル型、屋外型
○表	表示灯	AC24V、LED、点滅式
○表	表示灯	AC24V、LED、防漏型、点滅式
○	消火栓始動押印	DC24V、始動付、消火栓箱内内蔵
㊦	警戒区域番号	アドレッシブル発信機用
③	光電式煙感知器	3線、多信号式、点検型、自動点検機能付
⑧	自動閉鎖装置	NC14V、防火戸用 (建築工事)
⑨	自動閉鎖装置	NC14V、防火戸用 (建築工事)
⑩	自動閉鎖装置	NC14V、防火戸用 (建築工事)
⑪	自動閉鎖装置	仕様主記参照、防火ダンロ付 (空調工事)
⑫	防炎シャッター降下制御	防火シャッター降下制御用
⑬	連動中継器	タイマー・リレー内蔵
⑭	動作区域番号	自動点検感知器遮断用
⑮	動作区域番号	防火戸、防火シャッター用
⑯	動作区域番号	防火ダンロ付
— — —	ケーブル配線	天井しんべい
— — —	配管配線	しんべい
— — —	配管配線	床しんべい
✂	配置接続立上げ引下げ ジャンクション、プルボックス	
□	キューブラック	

(※建築工事)

煙感知器：16個 撤去、更新

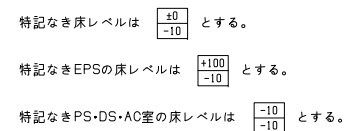
煙感知器：8個 撤去、更新



煙感知器：24個 撤去、更新

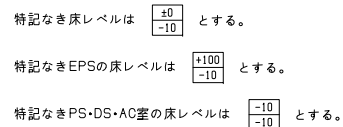
普工	• •	• •	凡 例		改修範圍
牌工	• •	• •			改修範圍外
監理		• •			
		• •			
佛丁		• •			

※ 仕上の表記は現状の仕様を示す

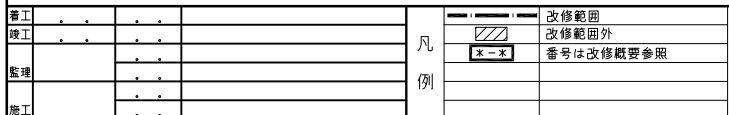
					岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事	意 (通し番号 31) 体育 -14
	平成 30・3・15				自動火災報知設備 3階平面図 (体育棟) 1/200	No. T-150287-E

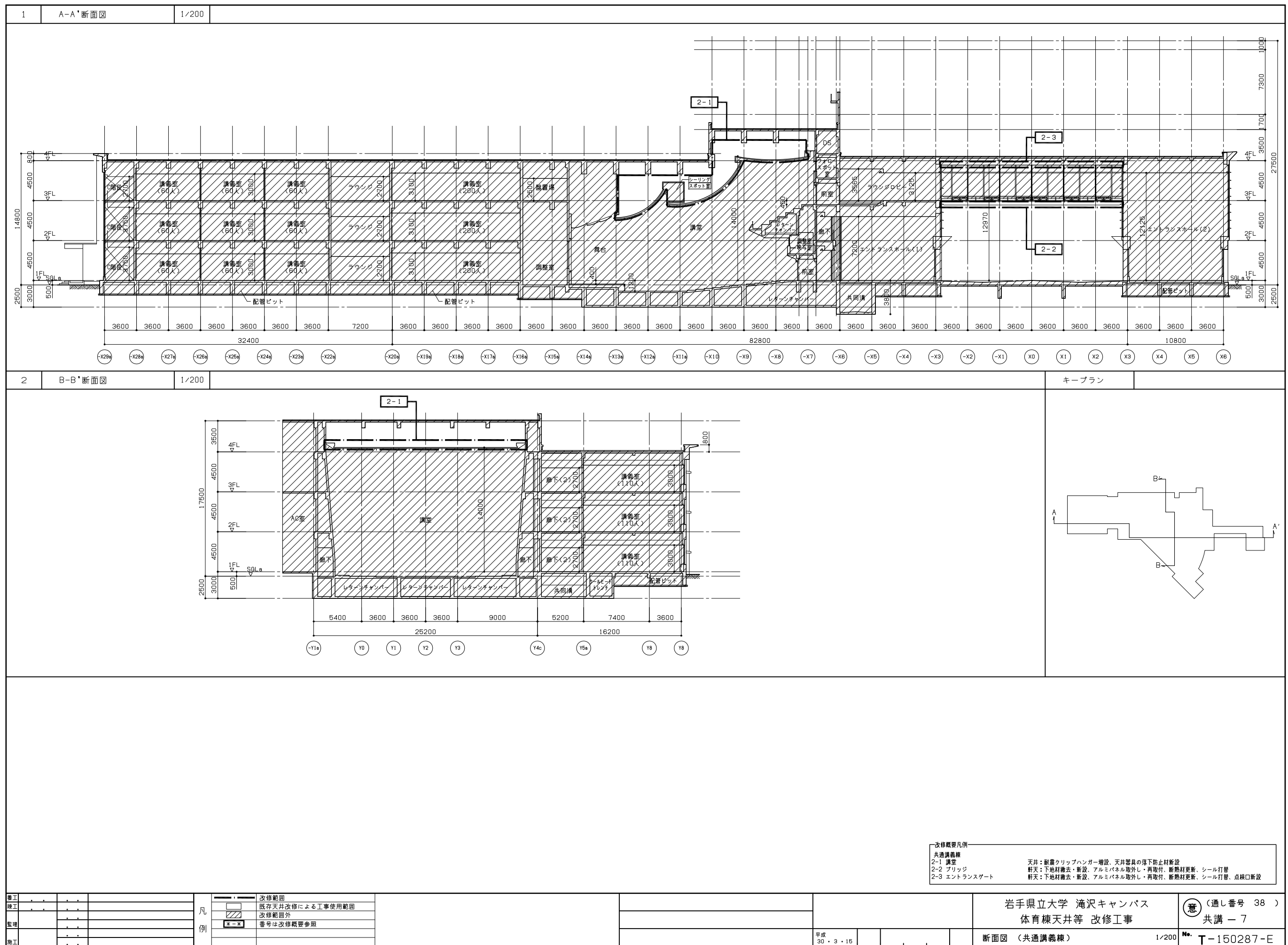


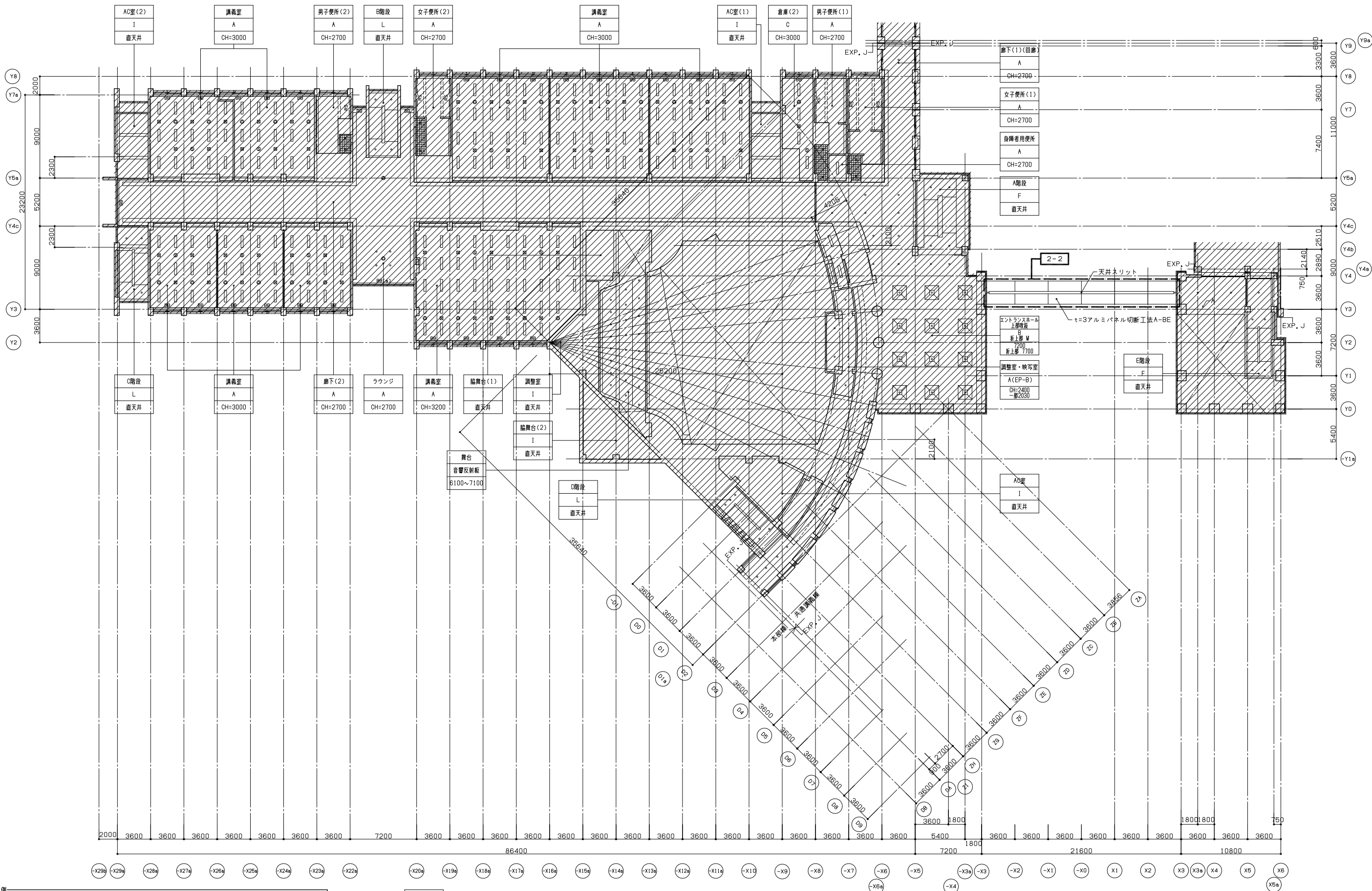
着工	凡 例		改修範囲外	※仕上の表記は現状の仕様を示す							岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事		 (通し番号 32) 共講 - 1
竣工													
監理													
施工													
													
							平成 30・3・15					1階平面図 (共通講義棟)	1/200	No. T-150287-E



※ 仕上の表記は現状の仕様を示す







改修概要凡例

共通講義棟

2-1 講堂

2-2 プリッジ

2-3 エントランスゲート

天井：耐震クリップハンガー増設、天井器具の落下防止材新設

軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、断熱材更新、シール打替

軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、断熱材更新、シール打替、点検口新設

室名
仕上
天井高

凡	例	記号	名称	記号	名称	記号	名称	改修範囲	改修範囲外	番号は改修概要参照
A:t=12 RAT	G:t=2.0 A/P A-BE	M:ガラスクロス EP-B	照明器具(埋込型)	シャッター	ルーバー天井					
B:t=15 リ付RAT	H:アルミスパンドレル A-BE	N:t=3 アルミパネル A-BE	ダウンライト	ブラインドボックス	スクリーンボックス					
C:t=9.5 KPB	I:t=500WB	O:t=8 ケイカル板下地ナシ難燃着色UC	吹出口	リターンズリット						
D:t=12.5 KPB(砂証)	J:RC型	P:t=8 有孔ケイカル板 EP-B+t=500WB	スピーカー	ブリーズライン						
E:t=8 CAB	K:化粧打放しコンクリート補修の上AE	Q:t=5 繊維強化石膏ボード	感知器	簡便照明						
F:t=12.5 PB寒冷紗EP-B	L:樹脂モルタル EP-A	R:t=35 花巻器バーナー仕上								

平成
30・3・15

岩手県立大学 滝沢キャンパス
体育棟天井等 改修工事

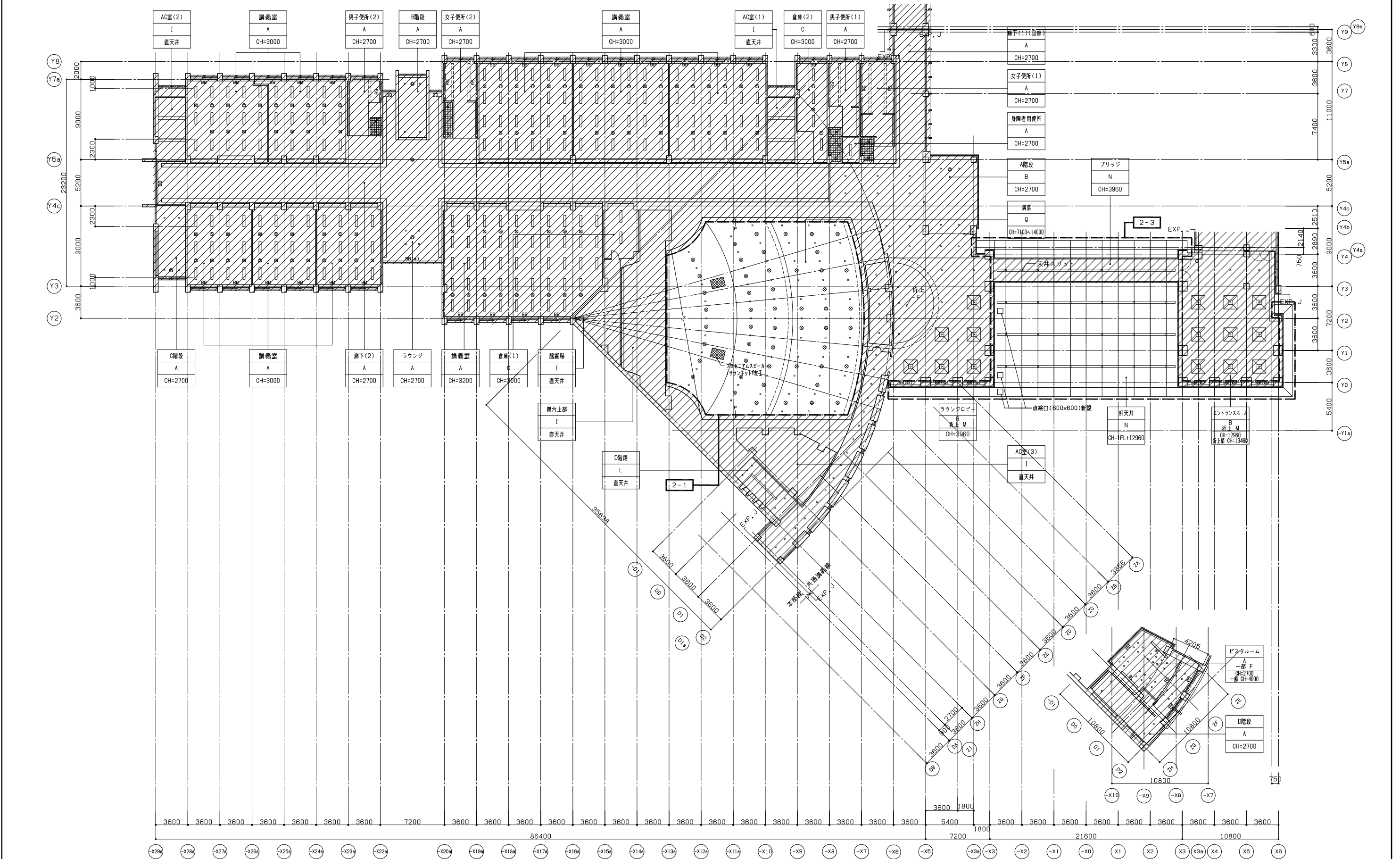
(通し番号 39)
共講 - 8

2階天井伏図 (共通講義棟)

1/200

T-150287-E

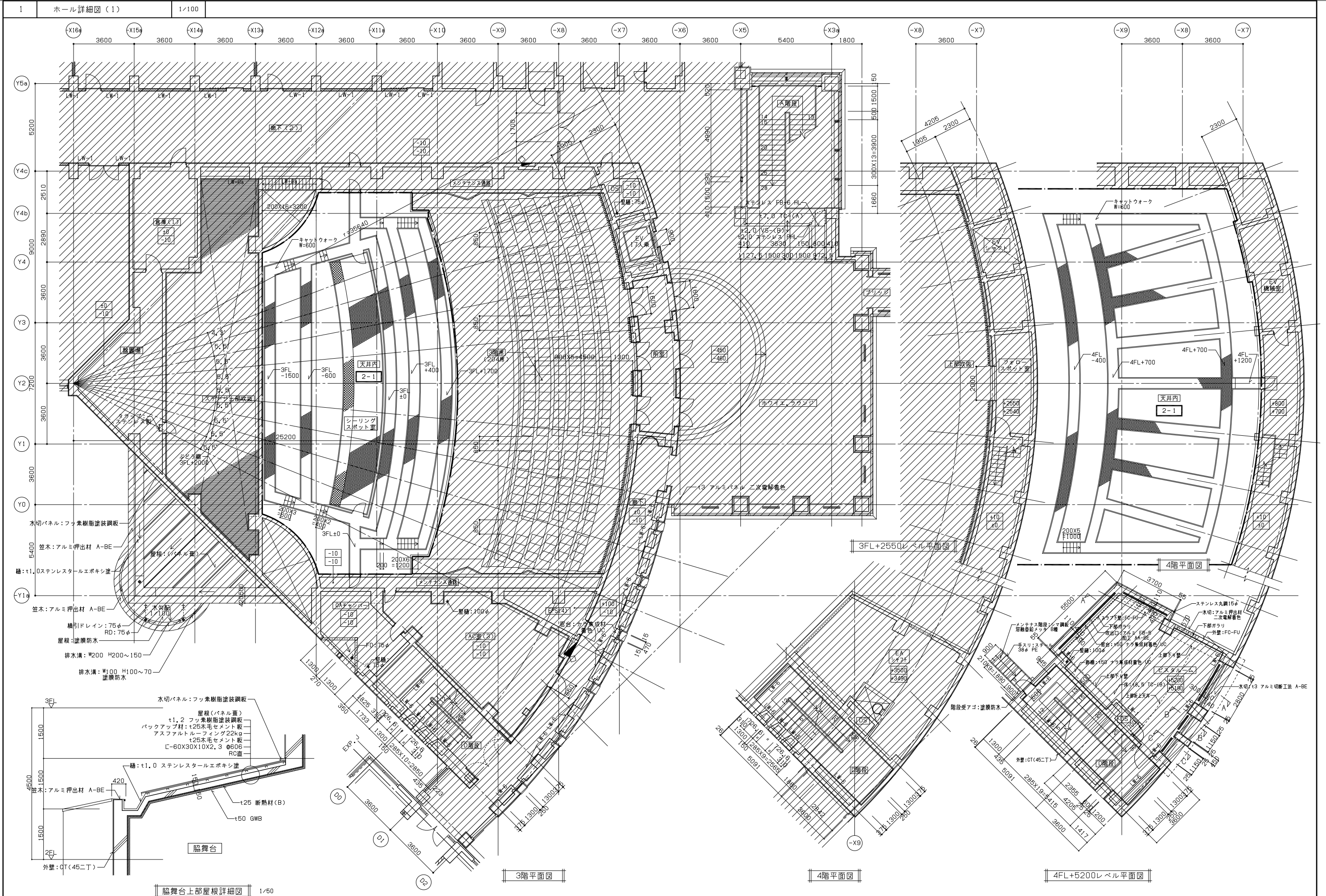
780x670

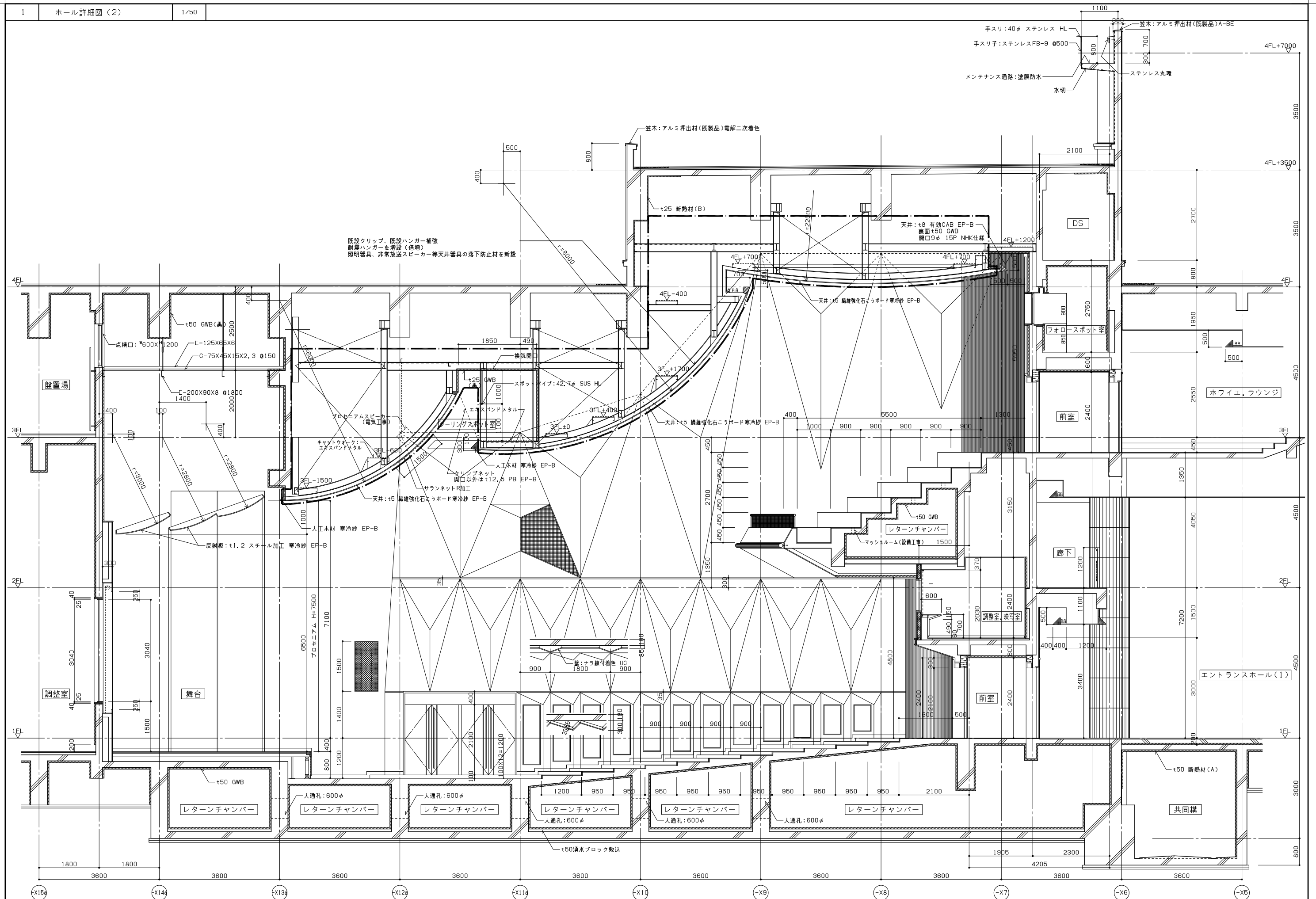



改修概要凡例
共通講義棟
2-1 講義
2-2 ブリッジ
2-3 エントランスゲート
天井：耐震クリップハンガー増設、天井器具の落下防止材新設
軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、断熱材更新、シール打替
軒天：下地材撤去・新設、アルミパネル取外し・再取付、断熱材更新、シール打替、点検口新設

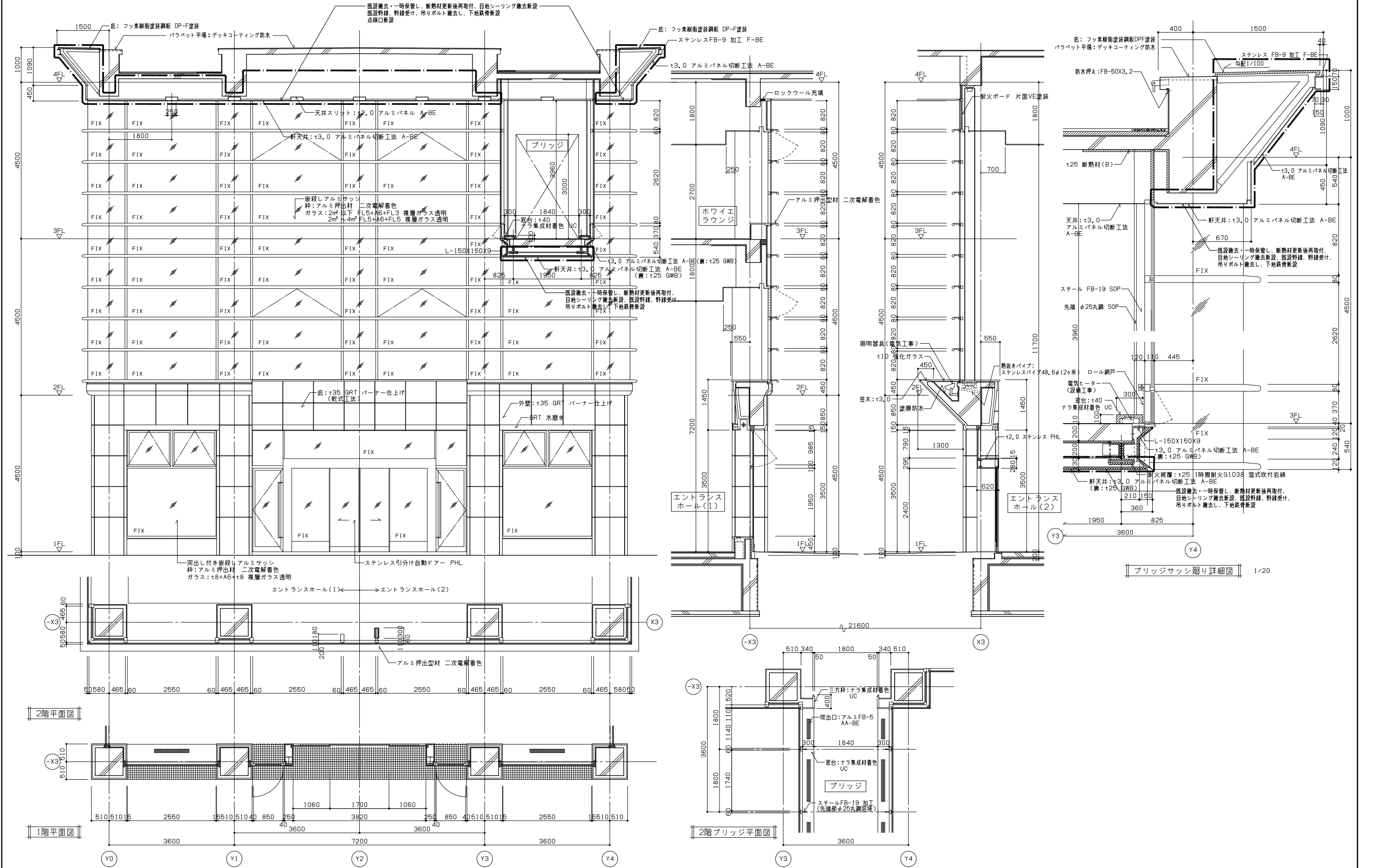
室名
仕上
天井高

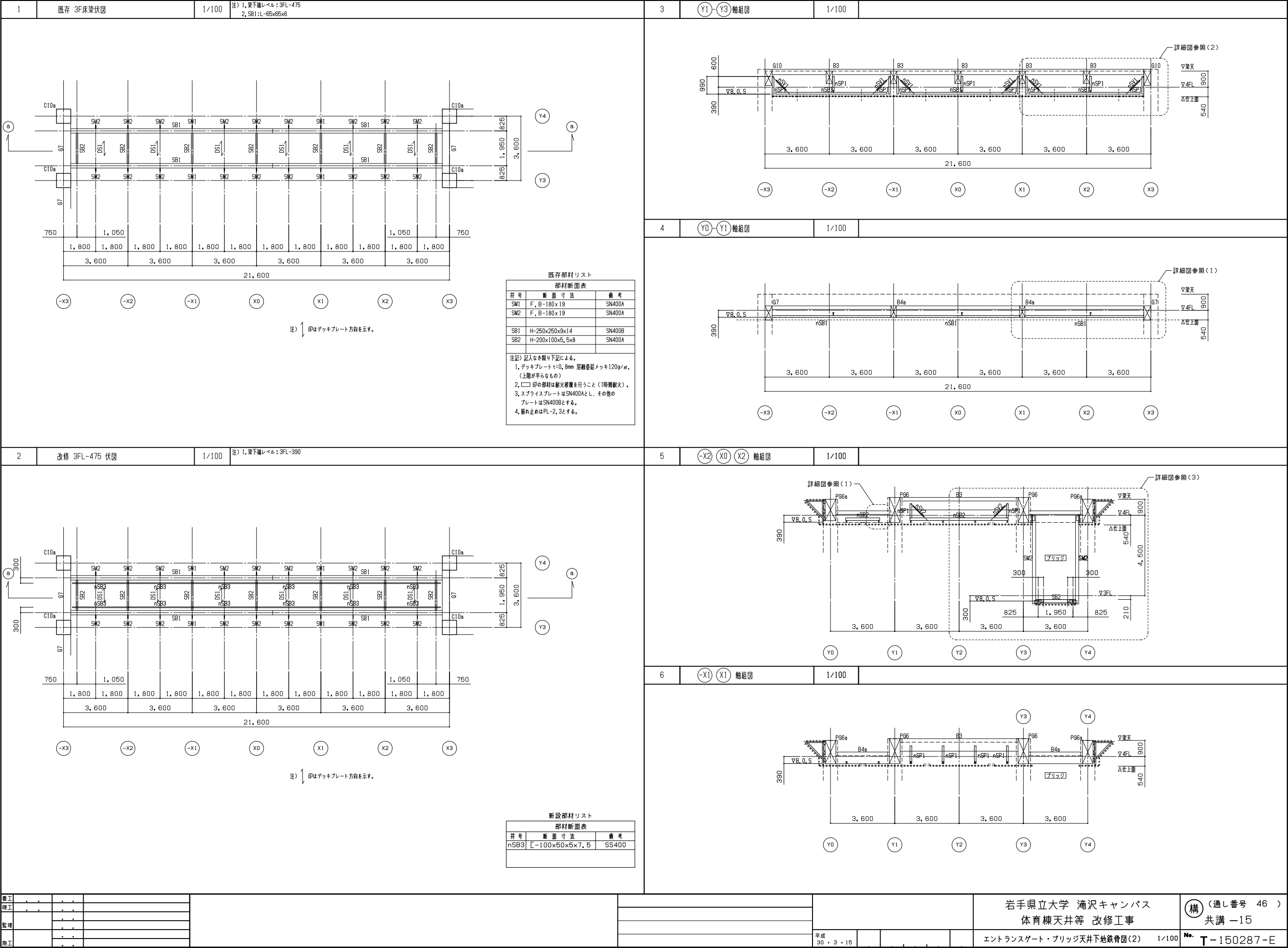
凡	例	記号	名称	記号	名称	記号	名称	改修範囲	改修範囲外	番号は改修概要参照
A:t=12 RAT	G:t=2.0 MP A-BE	M:ガラスクロス EP-B	照明器具(埋込型)	シャッター	ルーバー天井	スクリーンボックス	遮断照明			
B:t=15 リ付RAT	H:アルミスパンデル A-BE	N:t=3 アルミパネル A-BE	ダウンライト	ブラインドボックス	スクリーンボックス					
C:t=9.5 KPB	I:t=500WB	O:t=8 ケイカル板下地ナラ樹付着色UC	吹出口	リターンスリット						
D:t=12.5 KPB(砂証)	J:RC型	P:t=8 有孔ケイカル板 EP-B:t=500WB	スピーカー	ブリーズライン						
E:t=8 CAB	K:化粧打張りコンクリート補修の上AE	Q:t=5 繊維強化石膏ボード	感知器							
F:t=12.5 PB寒冷紗EP-B	L:樹脂モルタル EP-A	R:t=35 花崗岩パーナー仕上								

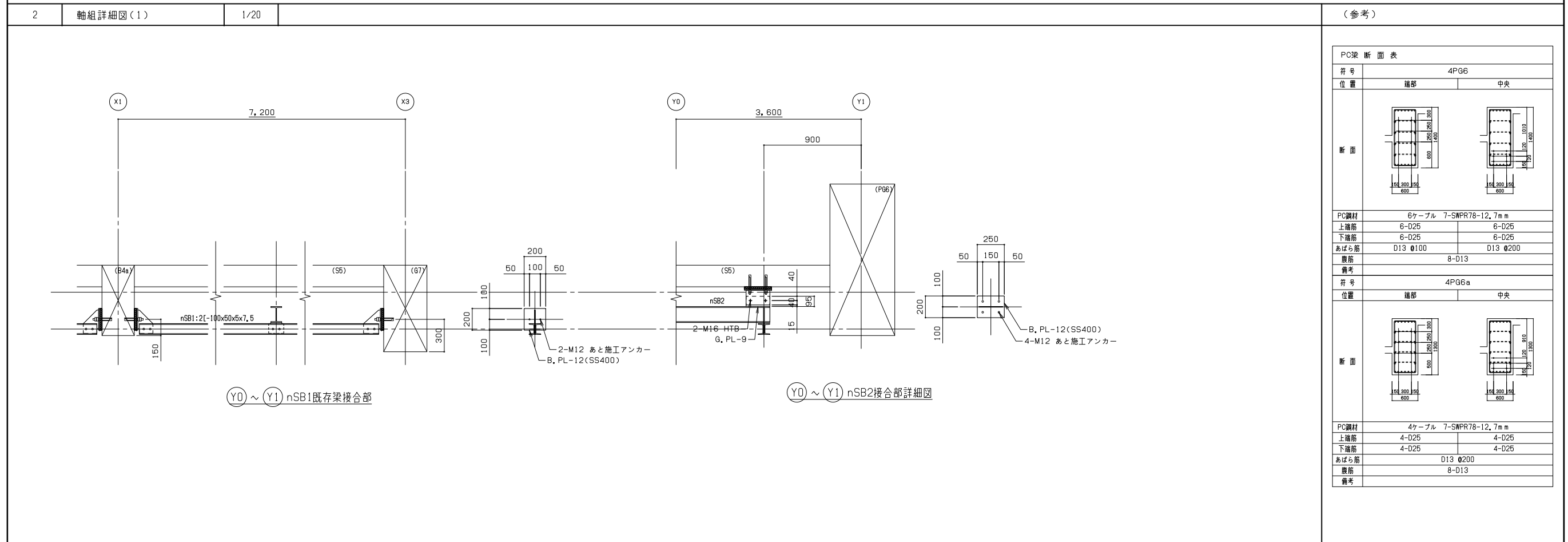
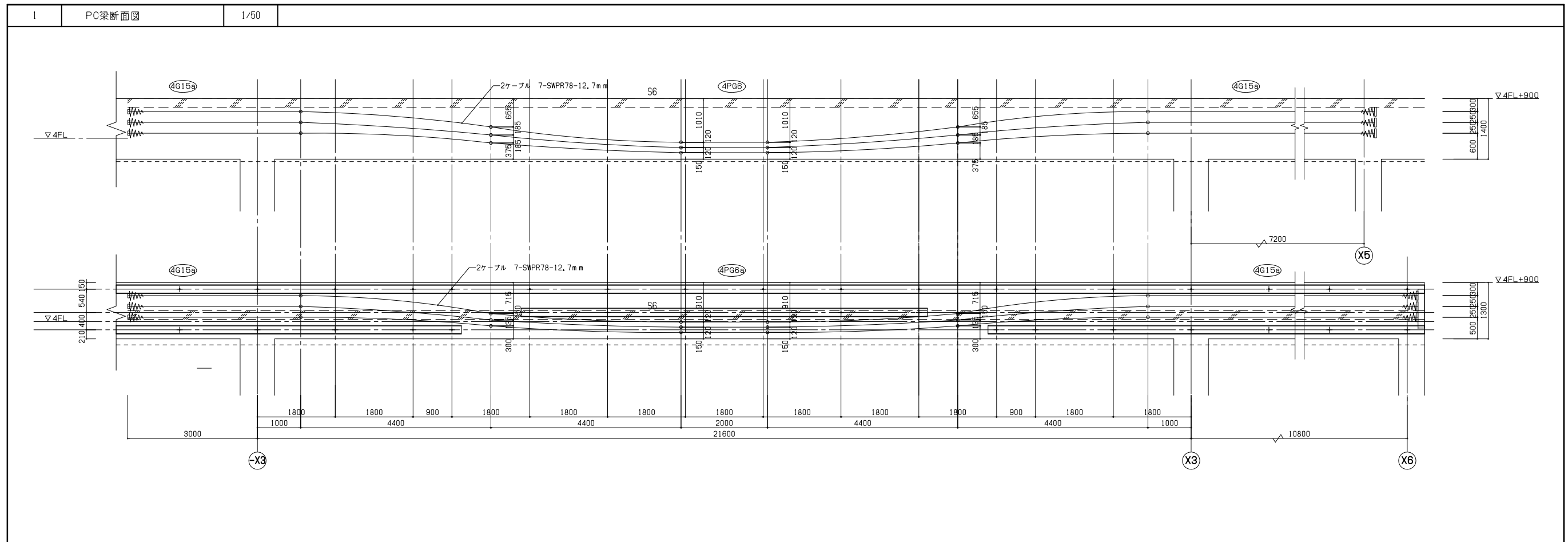


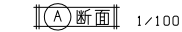
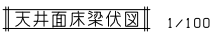


着工	凡 例	改修範囲	*太字は改修内容を示す。						岩手県立大学 滝沢キャンパス		 (通し番号 42) 共講 -11	
竣工			*図中のFL、階表示は各棟の階設定による。						体育棟天井等 改修工事			
監理												
												
施工												
						平成 30・3・15				ホール詳細図(2)	1/50	No. T-150287-E





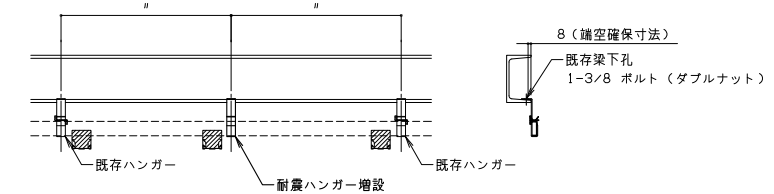
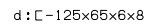
[illegible]



1/10

1. 既存ハンガー（溶接固定）は残置し、既存梁下孔加工の上1-3/8ボルト（ダブルナット）取付。
2. 既存クリップを補強（Powerクリップ仕様同等）、既存ハンガーを補強（ハンガーロック同等仕様）。
3. 既存ハンガーの間に耐震ハンガーを増設（倍増）φ900以内。

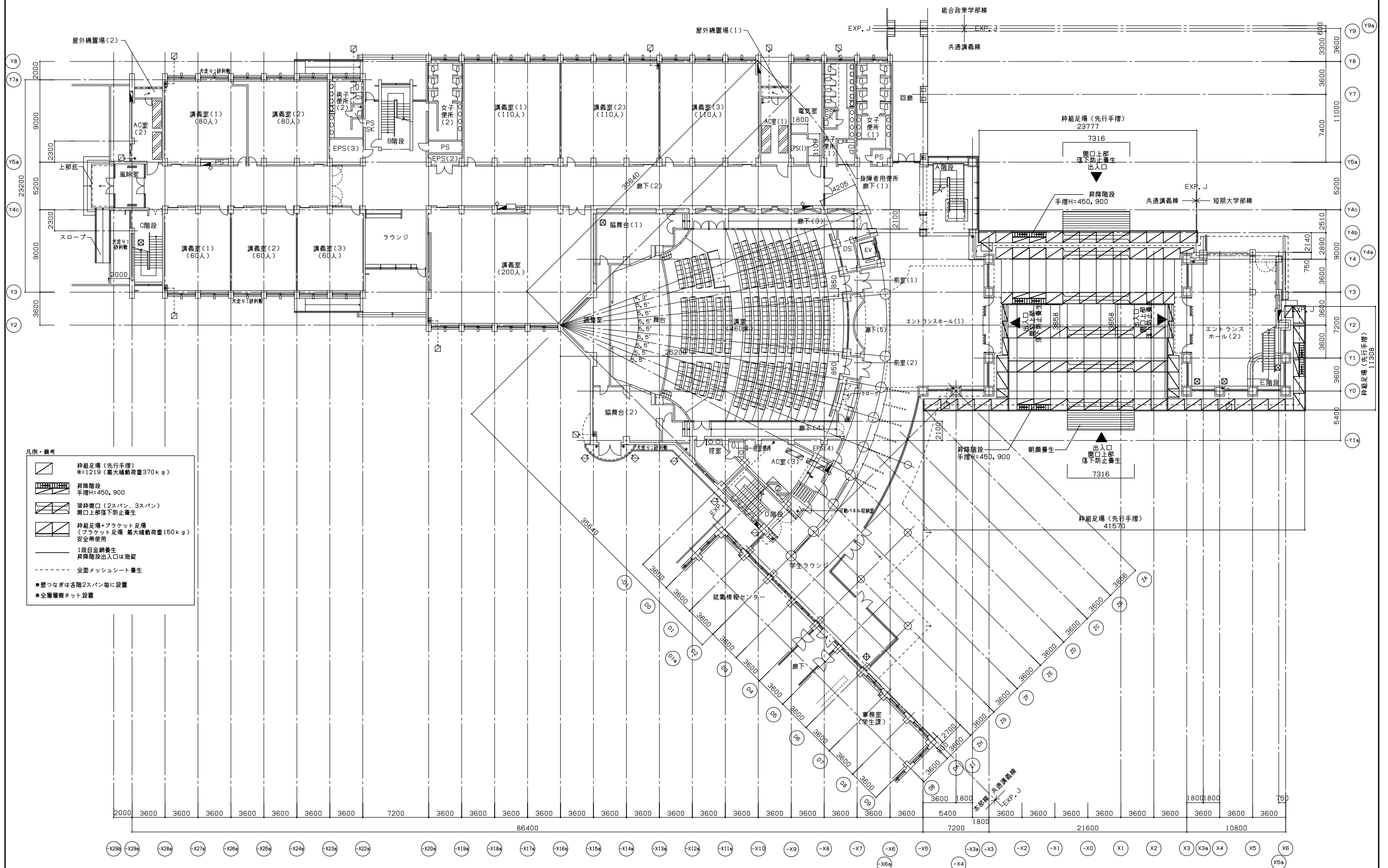
a : H-200x100x5.5x8



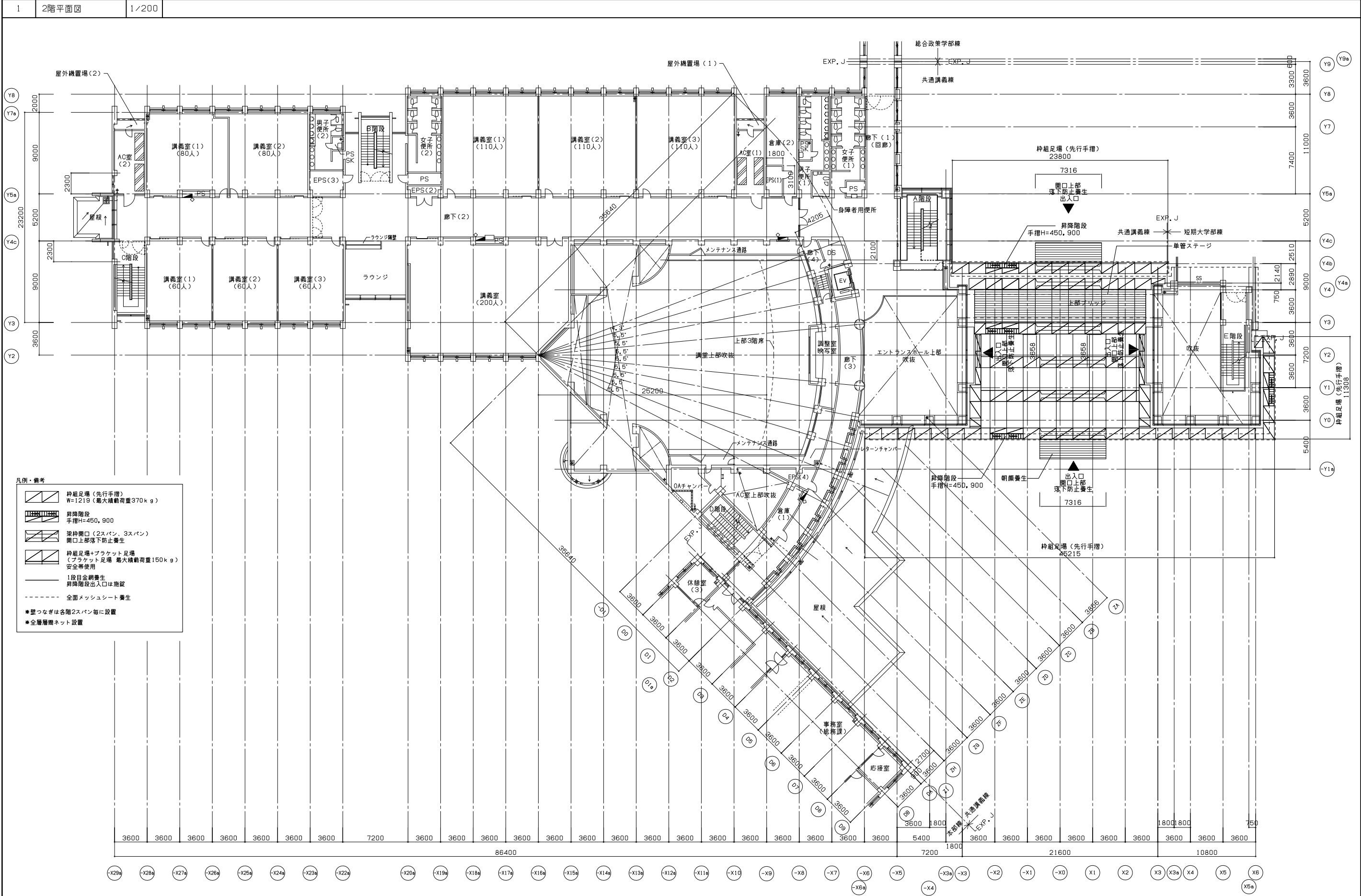
部 材 断 面 表		
符 号	断 面 寸 法	備 考
a	H-200X100X5.5X 8	
b	H-250X125X 6X 9	
c	C-200X 80X7.5X11	
d	C-125X 65X 6X 8	
e	C-250X 90X 9X13	
f	H-194X150X 6X 9	吊材
Va	L- 65X 65X 6	垂直ブレース
Vb	1-M20 ターンバックル付き	水平ブレース

注記) 記入なき限り下記による。

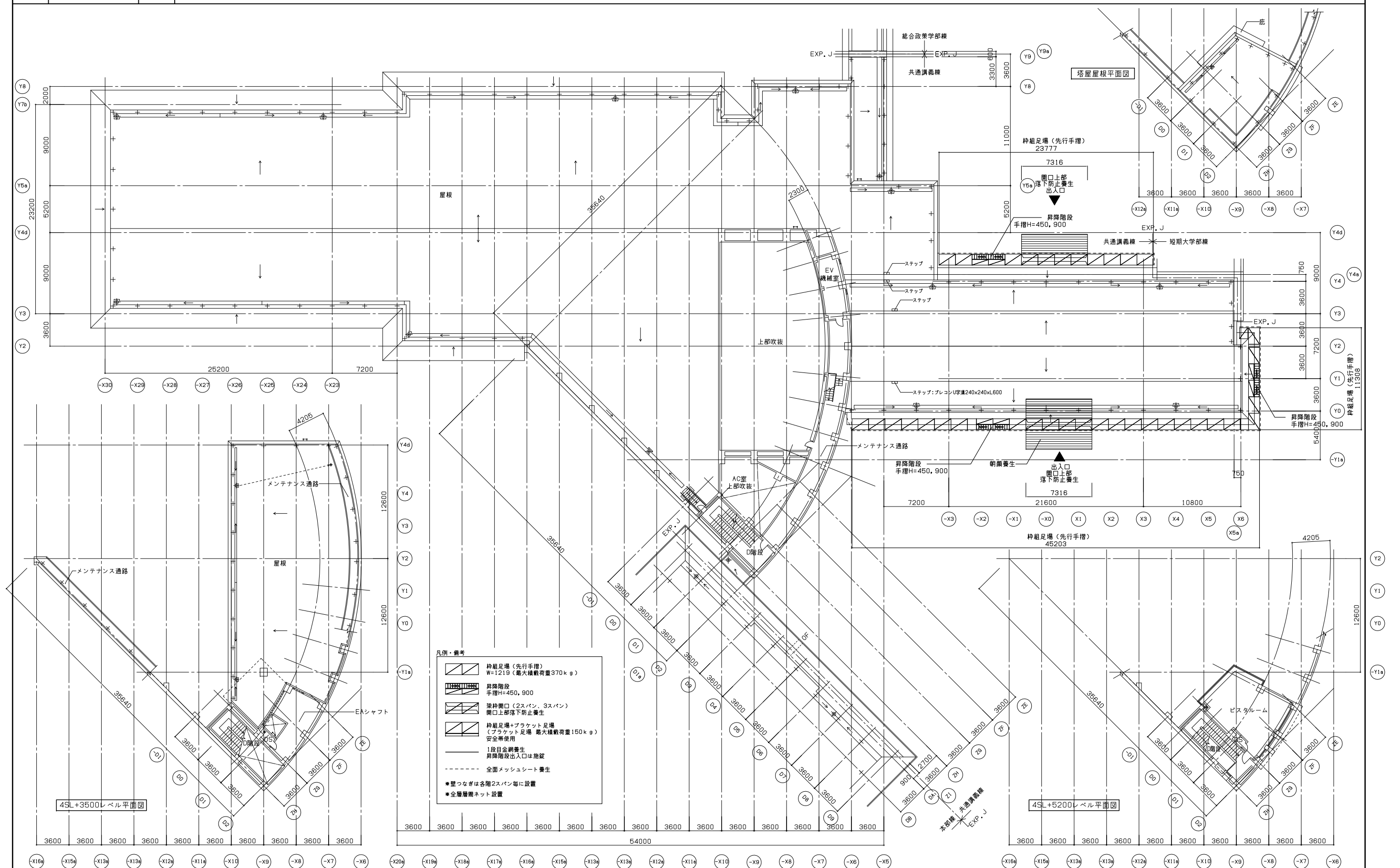
1. 鋼材品質 SN400A



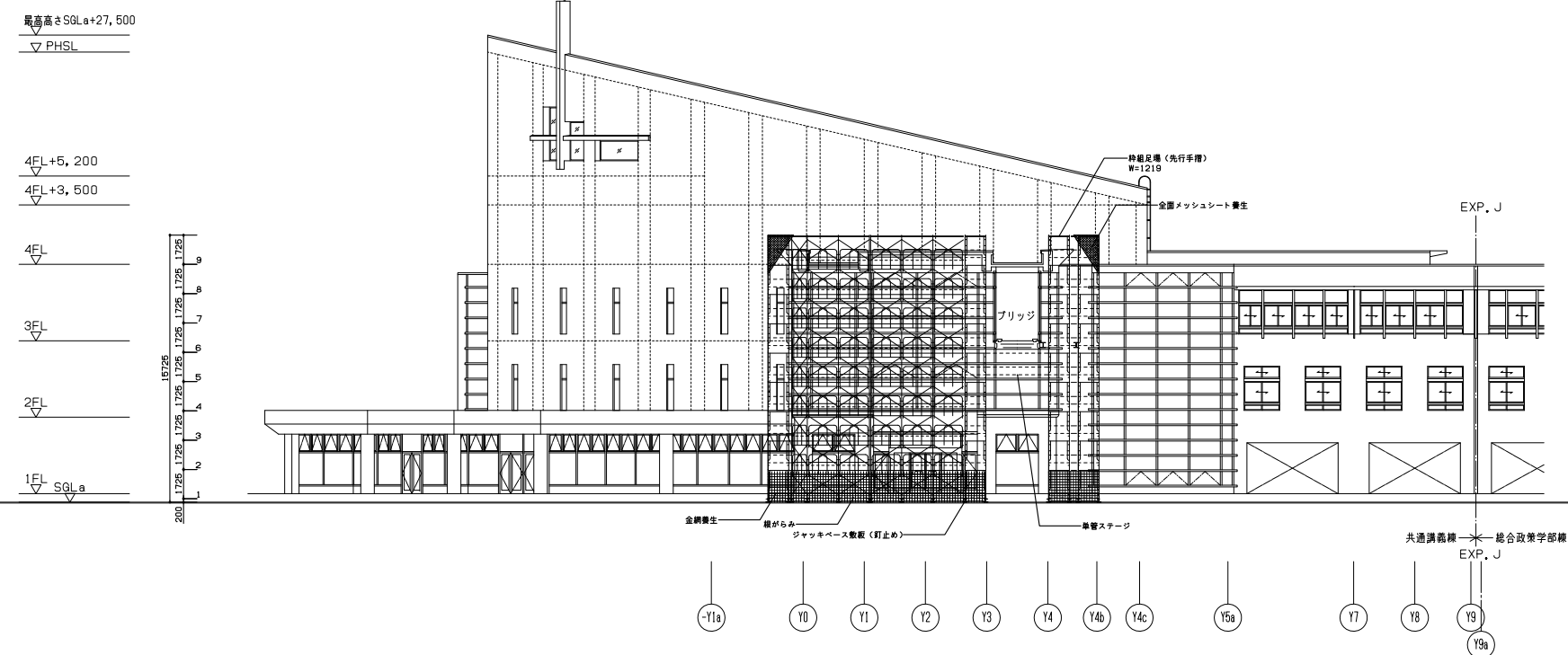
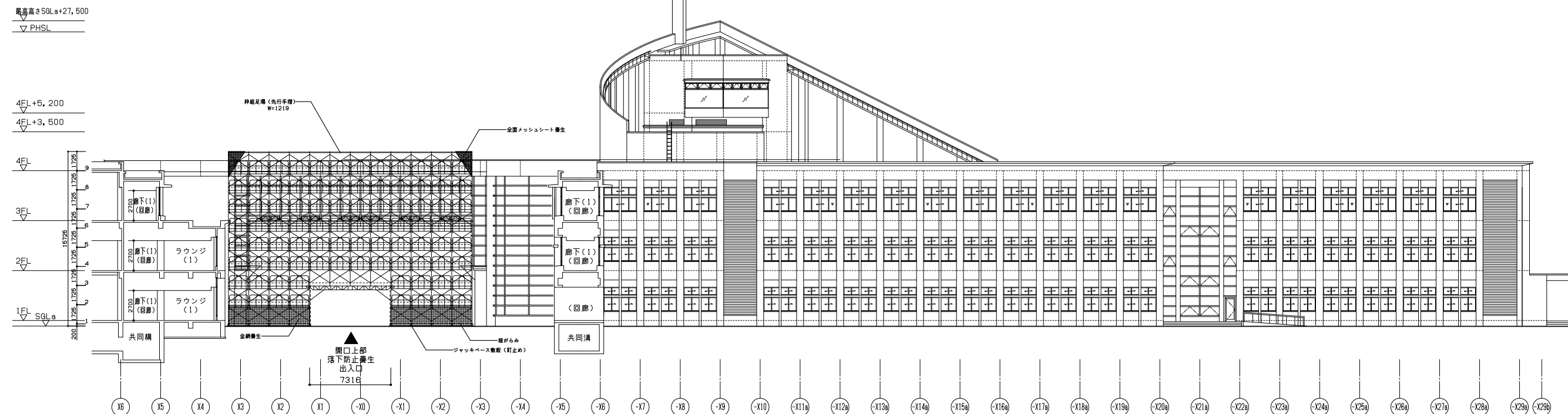
看工	• • •	• • •	
竣工	• • •	• • •	
監理		• • •	
		• • •	
施工		• • •	
		• • •	



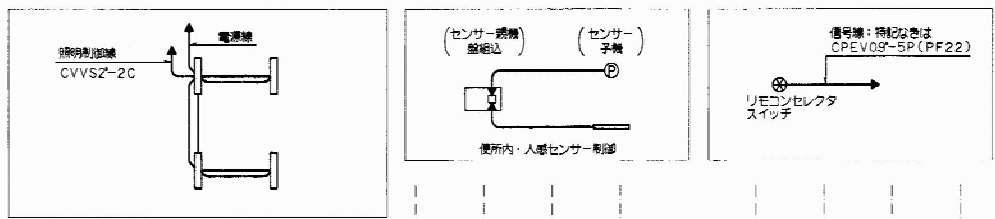
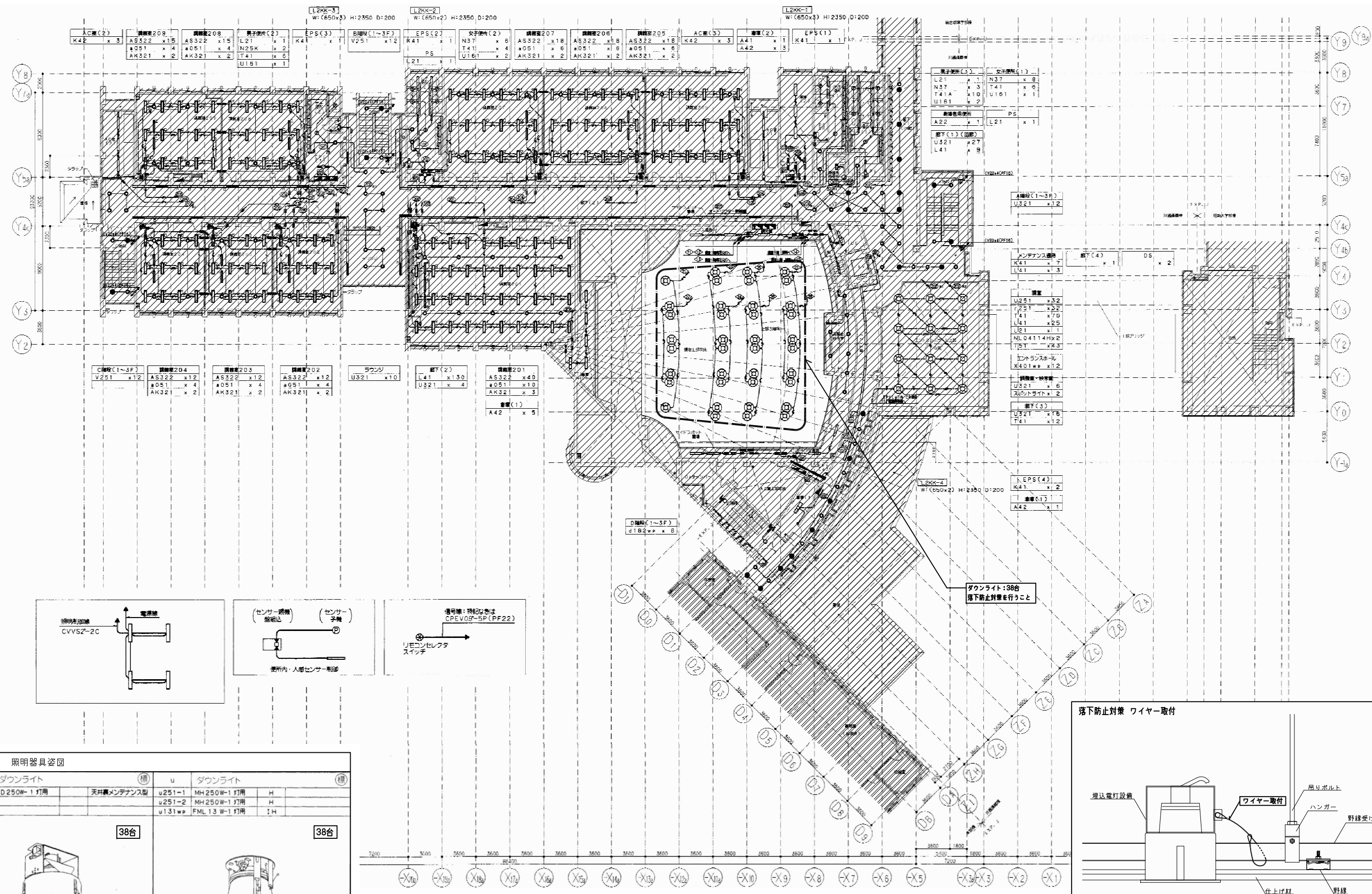
施工		竣工		監理		施工		平成29・3・15		岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事		共通講義棟 2階足場計画平面図 (参考図) 1/200		No. T-150287-E	

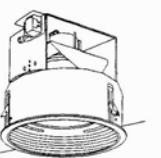



看工	• •	• •	
鍊工	• •	• •	
監理		• •	
		• •	
施工		• •	



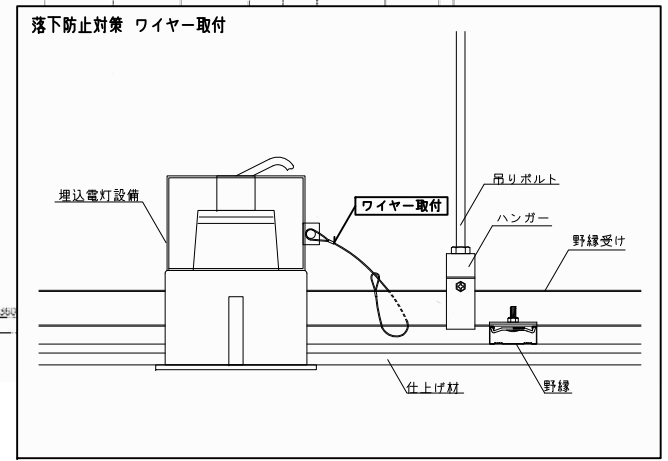
審工							岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事	㊦ (通し番号 54 : 共講 -23
竣工								
監理								
施工			平成 29・3・15				足場計画立面図(1)(共通講義棟)(参考図)1/200	No. T-150287-E
								

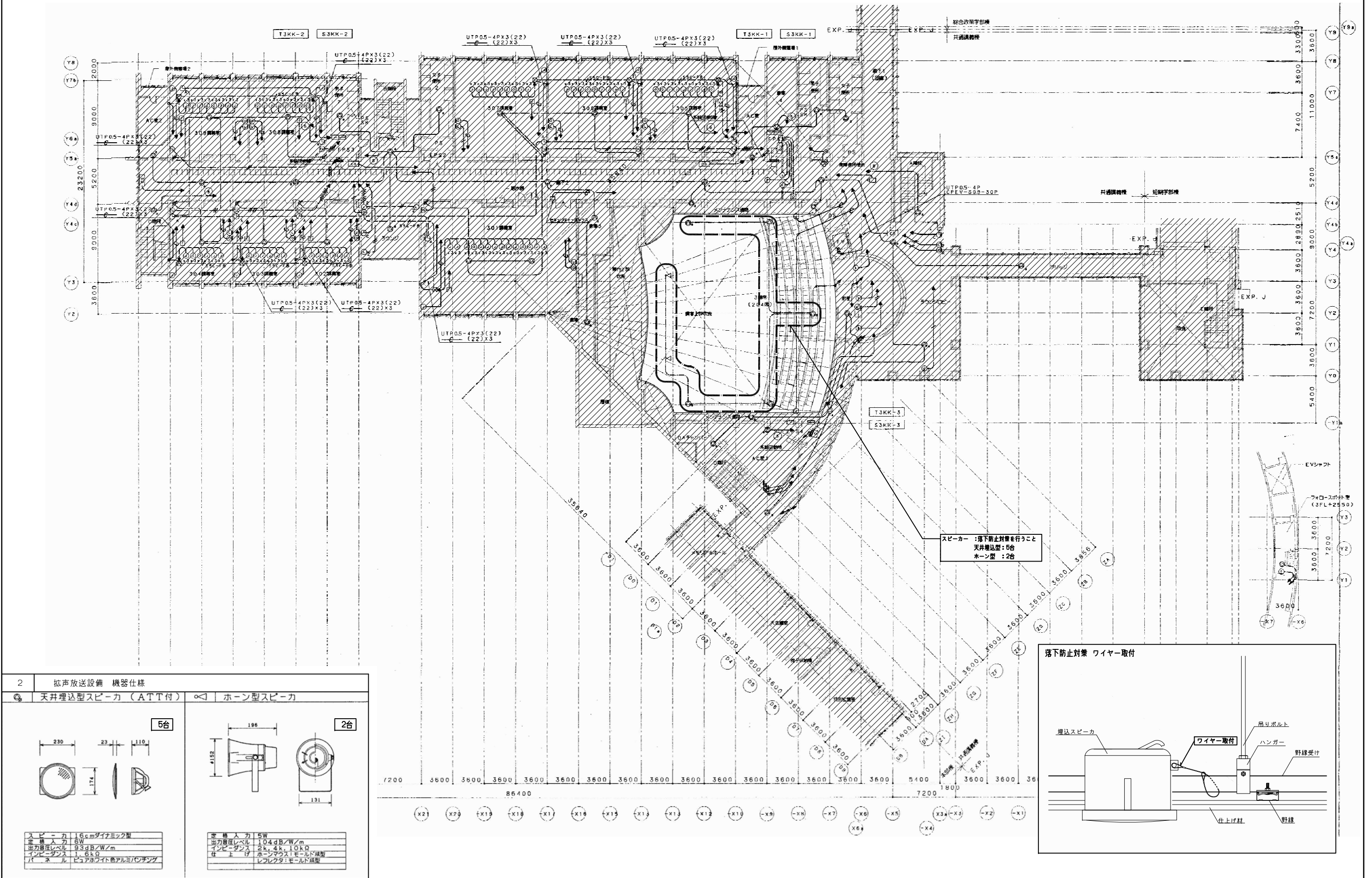


2 照明器具図			
r	ダウンライト	u	ダウンライト
r251	JD250W-1 1灯用	u251-1	MH250W-1 1灯用
	天井裏メンテナンス型	u251-2	MH250W-1 1灯用
		u131wp	FML13 W-1 1灯用
			
38台		38台	

施工		改修範囲	
竣工		改修範囲外	
監理			
施工			

※仕上の表記は現状の仕様を示す





2

拡声放送設備 機器仕様

天井埋込型スピーカ (ATT付)

ホーン型スピーカ

5台

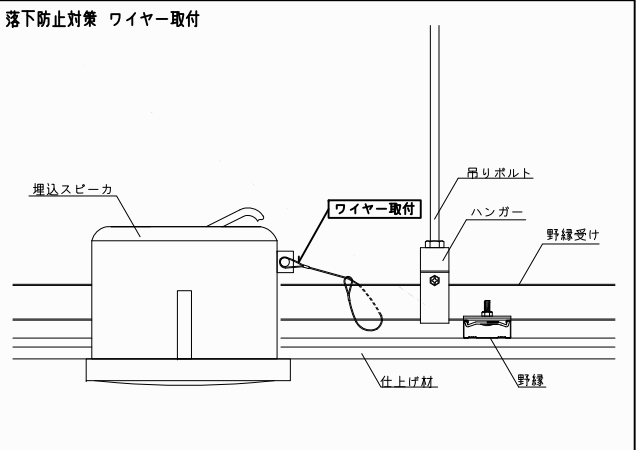
スピーカ	16cmダイナミック型
定格入力	18W
出力音圧レベル	93dB/W/m
インピーダンス	1.6k Ω
パター	ビュアホワイト色アルミバンダナ

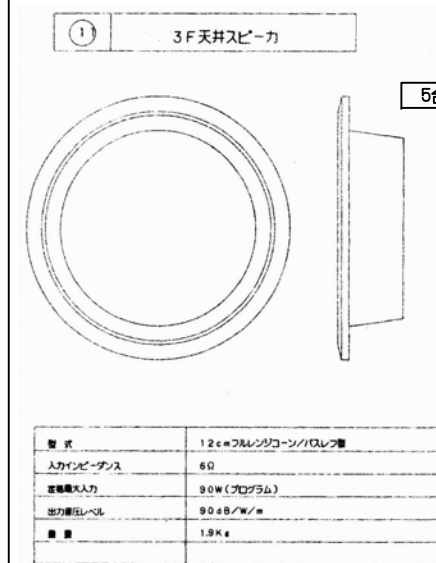
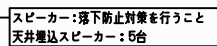
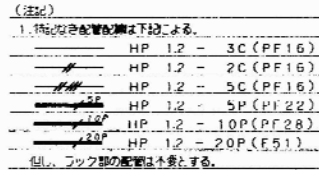
2台

定格入力	5W
出力音圧レベル	104dB/W/m
インピーダンス	2k, 4k, 10k Ω
仕上	ホーンマウス: モールド風型
	レフレクタ: モールド風型

凡	改修範囲	改修範囲外
例		

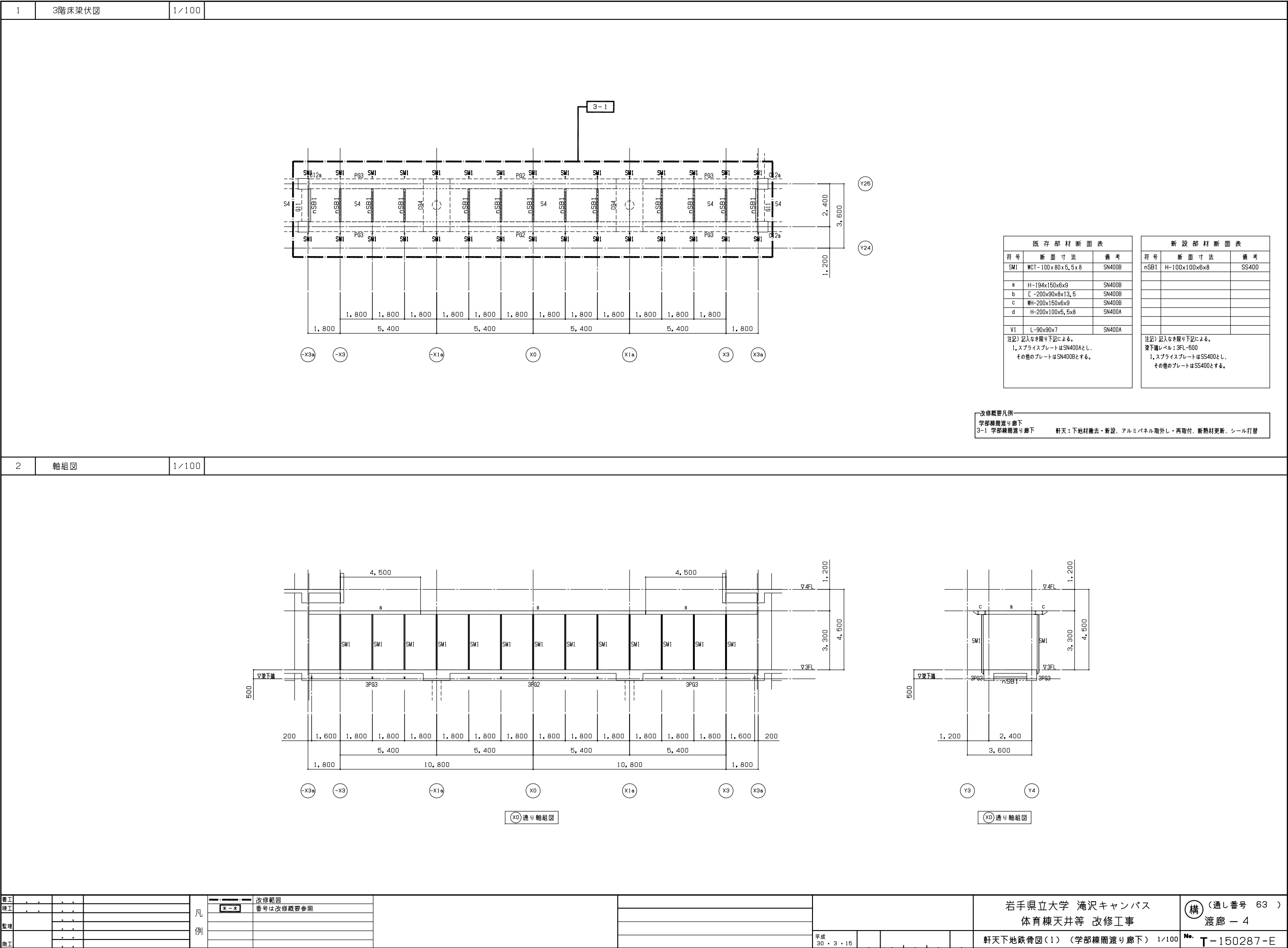
※仕上の表記は現状の仕様を示す





凡例

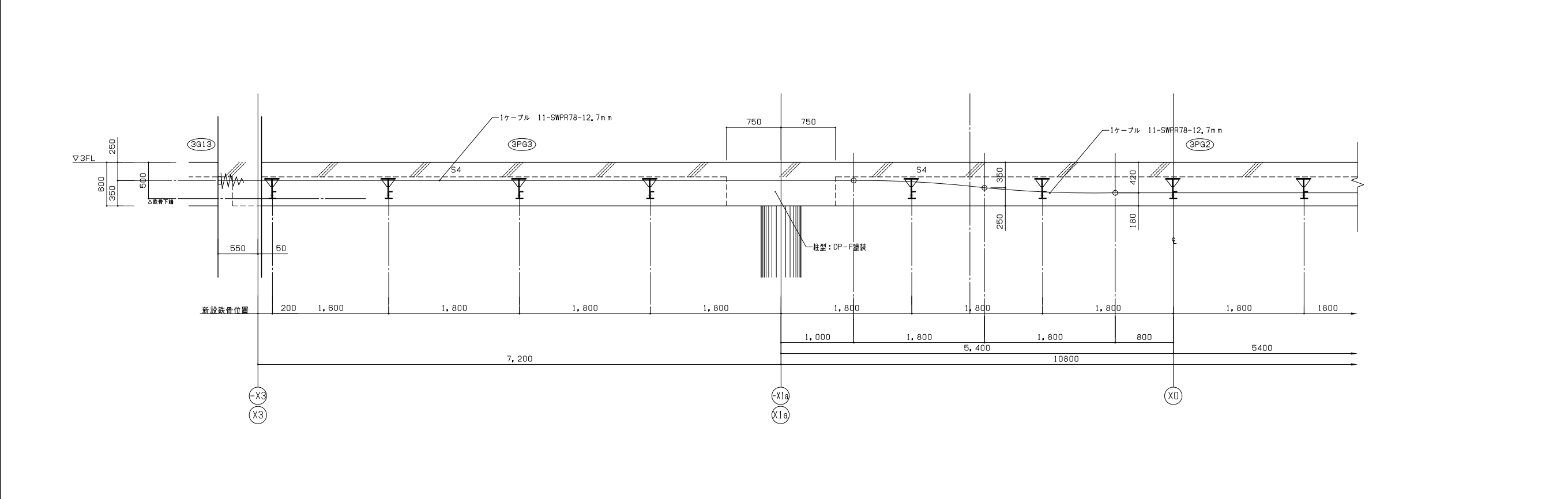
※ 仕上の表記は現状の仕様を示す



1

PC梁断面図

1/30



1ケーブル 11-SWPR78-12.7mm

3PG3

S4

750 750

▽3FL

600 350 500

△底骨下端

550 50

新設鉄骨位置

200 1,600 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1800

7,200

1,000 1,800 1,800 800 5,400 10800 5400

-X3 X3

-X1a X1a

X0

柱型：DP-F塗装

3PG2

1ケーブル 11-SWPR78-12.7mm

S4

350 250 180 420

2

詳細図

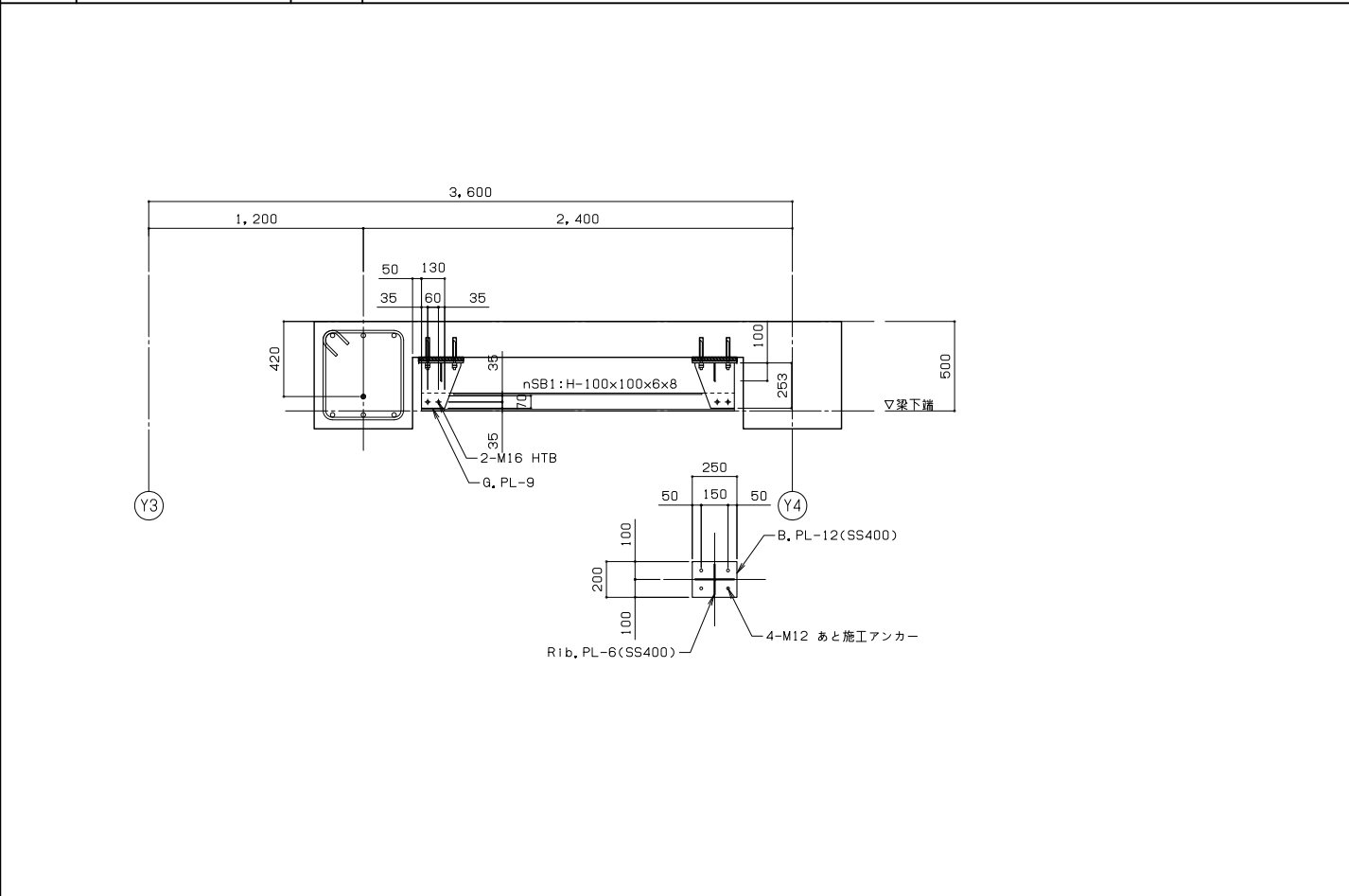
1/20

3

既存軒天パネル再取付要領

1/20

(参考)



3,600

1,200 2,400

50 130 35 60 35

420

nSB1:H-100×100×6×8

100 253

▽梁下端

500

2-M16 HTB

G, PL-9

35

250 50 150 50

100 200 100

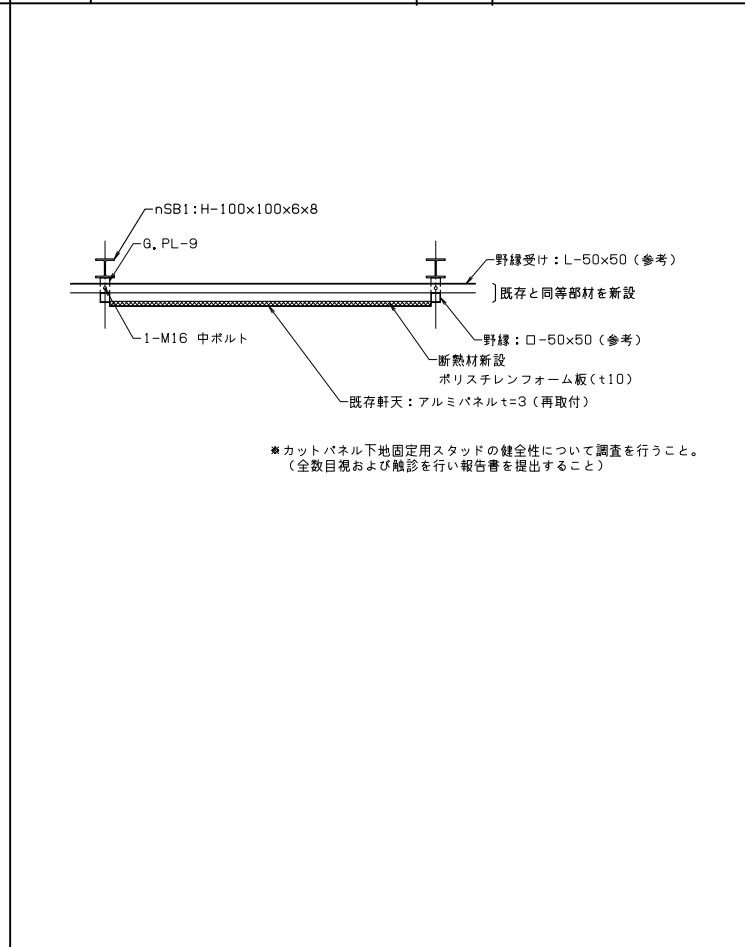
B, PL-12(SS400)

4-M12 あと施工アンカー

R1b, PL-6(SS400)

Y3

Y4



nSB1:H-100×100×6×8

G, PL-9

1-M16 中ボルト

野縁受け：L-50×50 (参考)

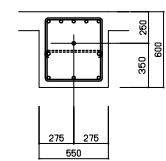
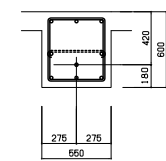
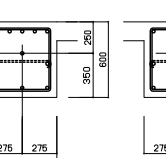
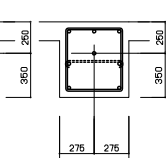
野縁：□-50×50 (参考)

断熱材新設
ポリスチレンフォーム板(ρ10)

既存軒天：アルミパネルt=3 (再取付)

既存と同等部材を新設

※カットパネル下地固定用スタッドの健全性について調査を行うこと。
(全数目視および触診を行い報告書を提出すること)

PC梁断面表	
符 号	3PG2
位 置	端部
断 面	
	
PC鋼材	1ケーブル 11-SWPR78-12.7mm
上端筋	5-D25
下端筋	3-D25
あばら筋	D13 Ø200
腹筋	2-D13
備考	
符 号	3PG3
位 置	3PG2梁側端部
断 面	
	
PC鋼材	1ケーブル 11-SWPR78-12.7mm
上端筋	5-D25
下端筋	3-D25
あばら筋	D13 Ø200
腹筋	8-D13
備考	

増工

改工

監理

施工

岩手県立大学 滝沢キャンパス

体育棟天井等 改修工事

平成30・3・15

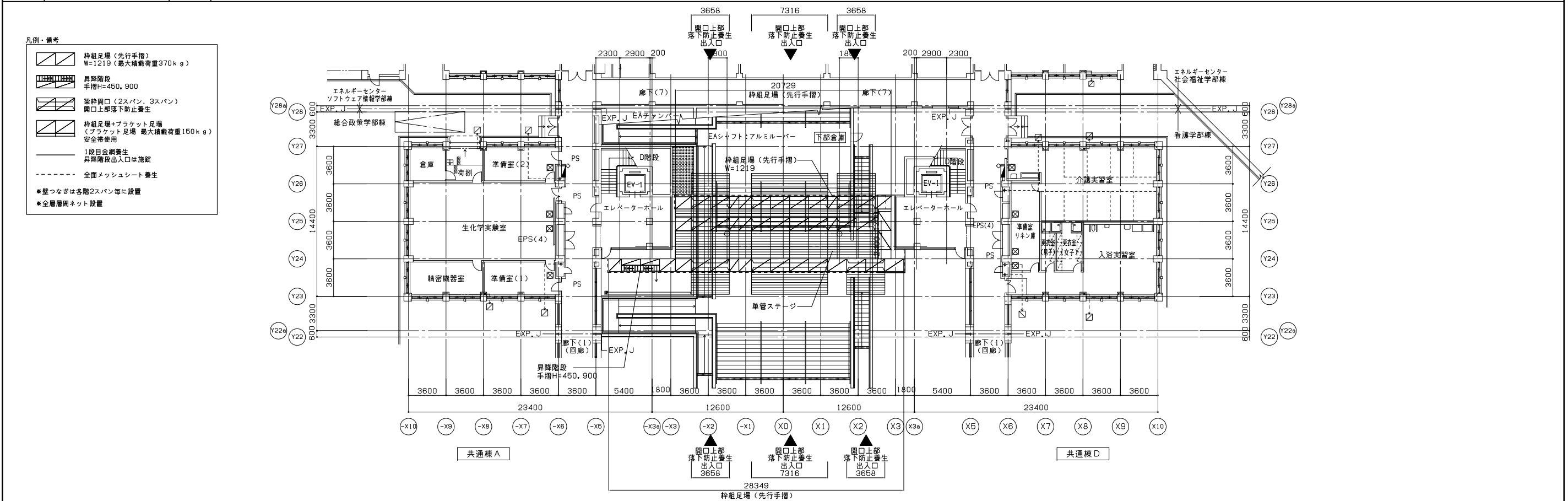
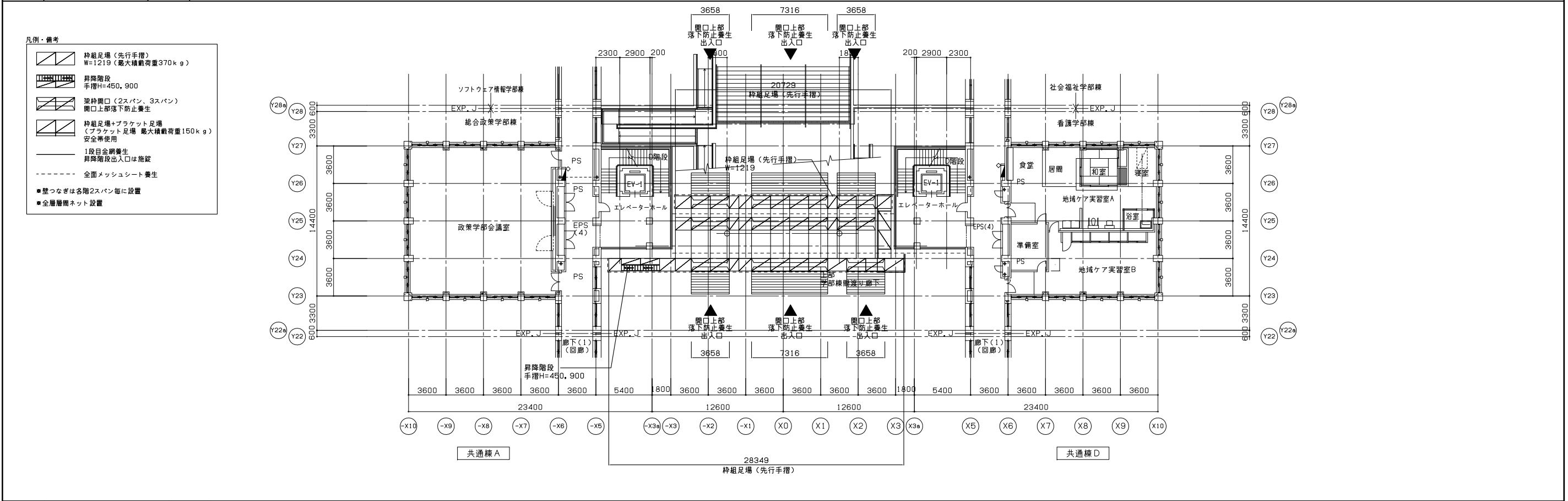
学部棟周遊り廊下 軒天鉄骨下地図(2)

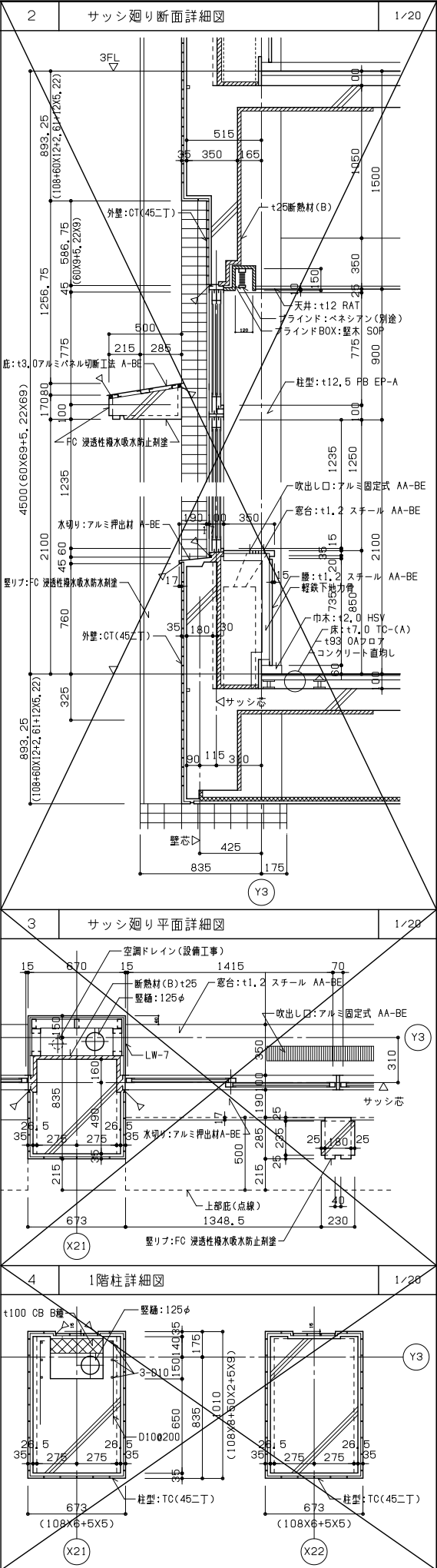
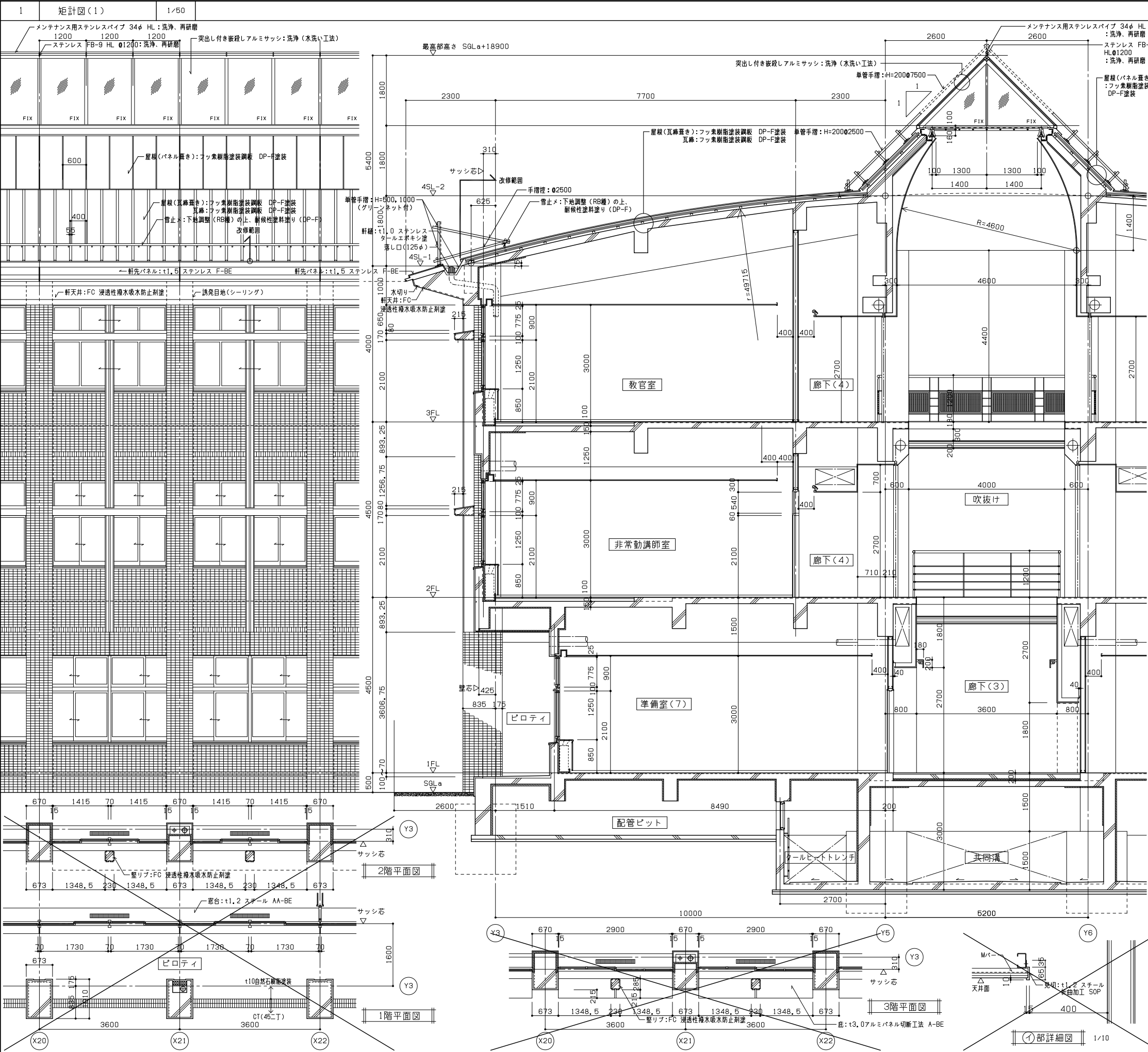
1/20 1/30

No. T-150287-E

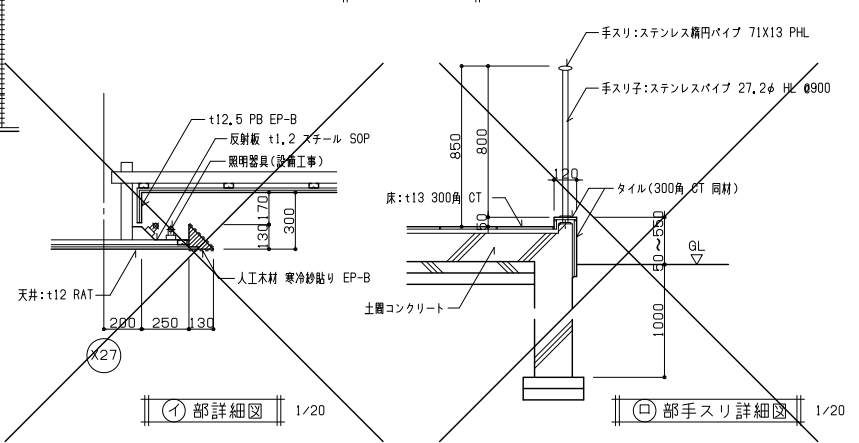
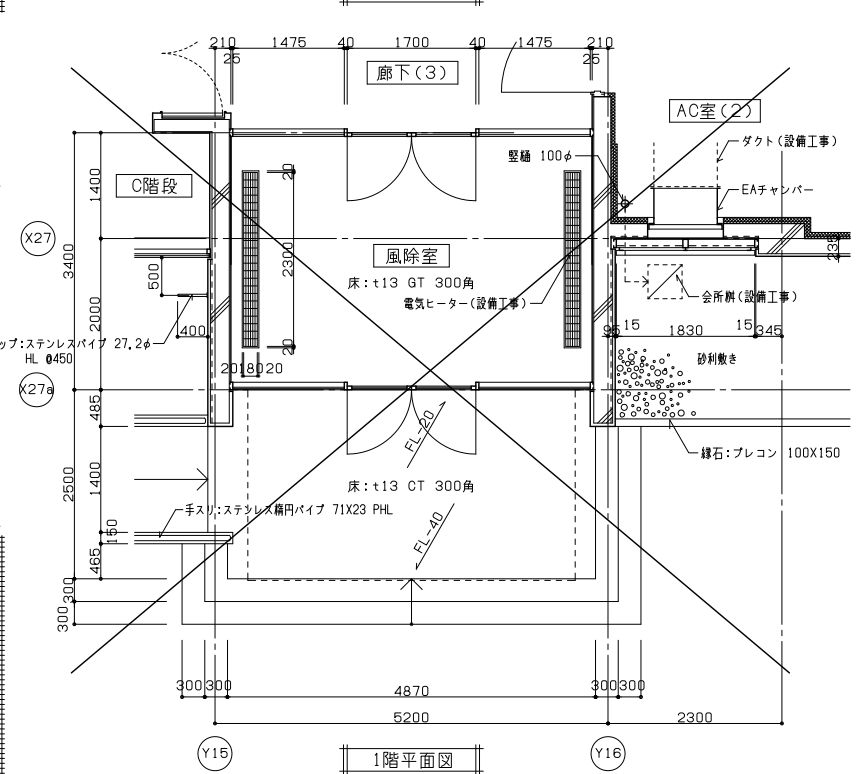
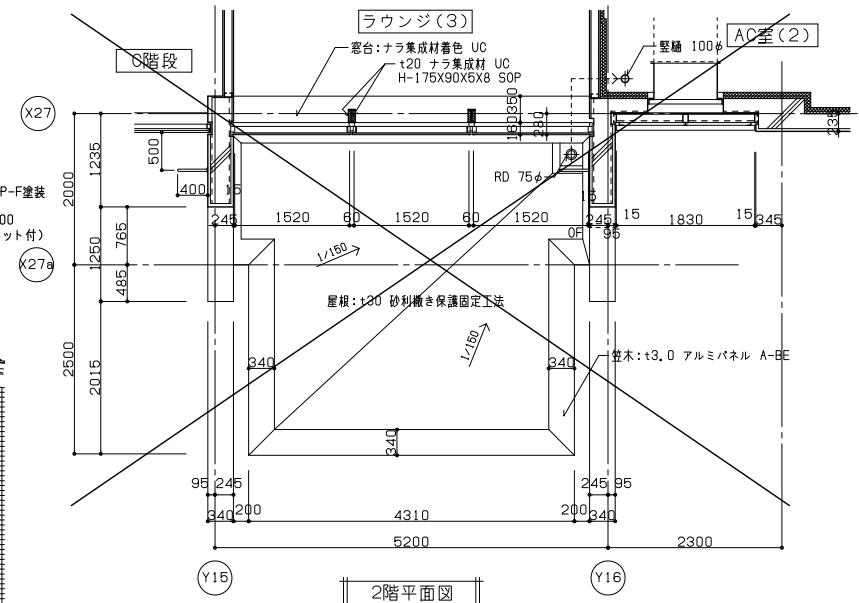
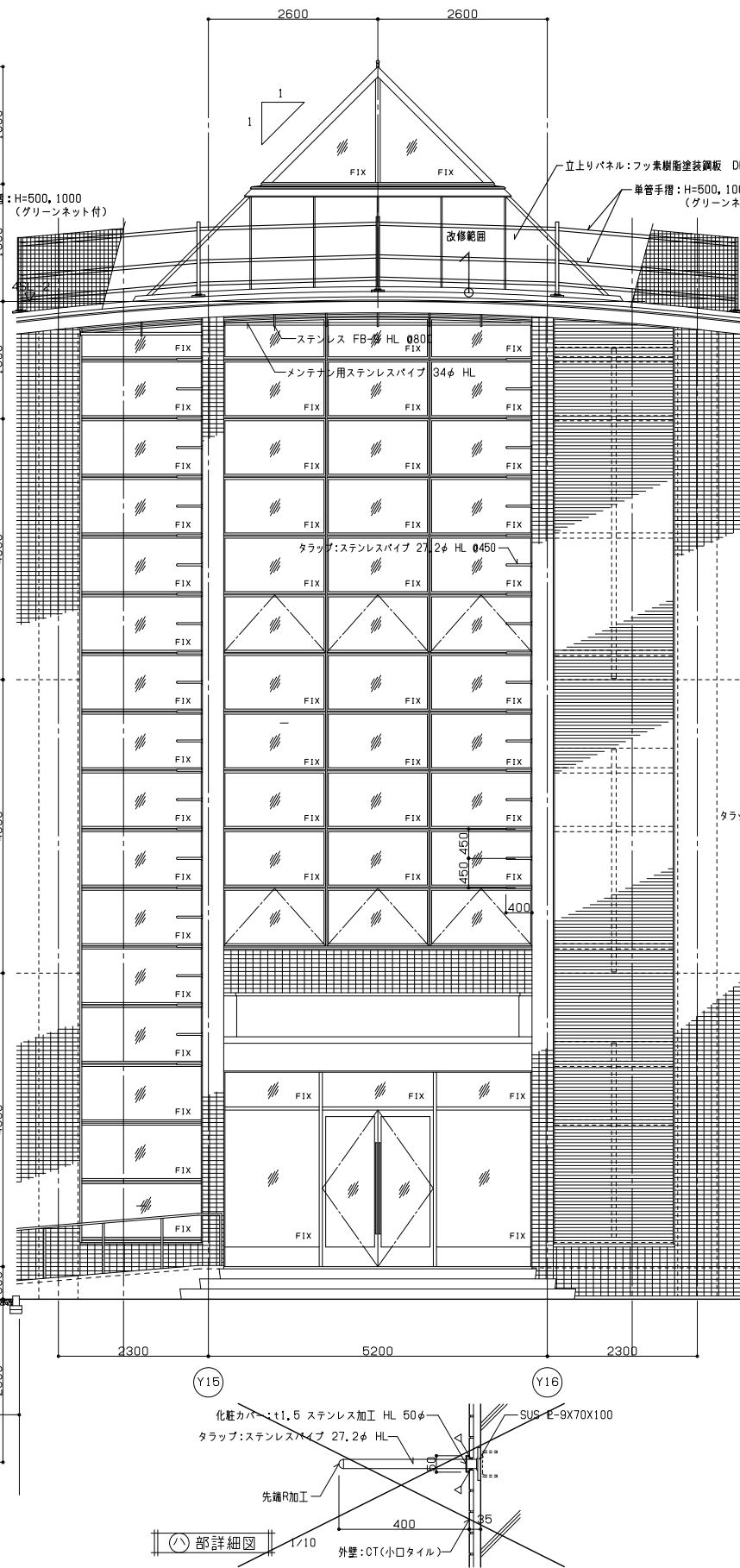
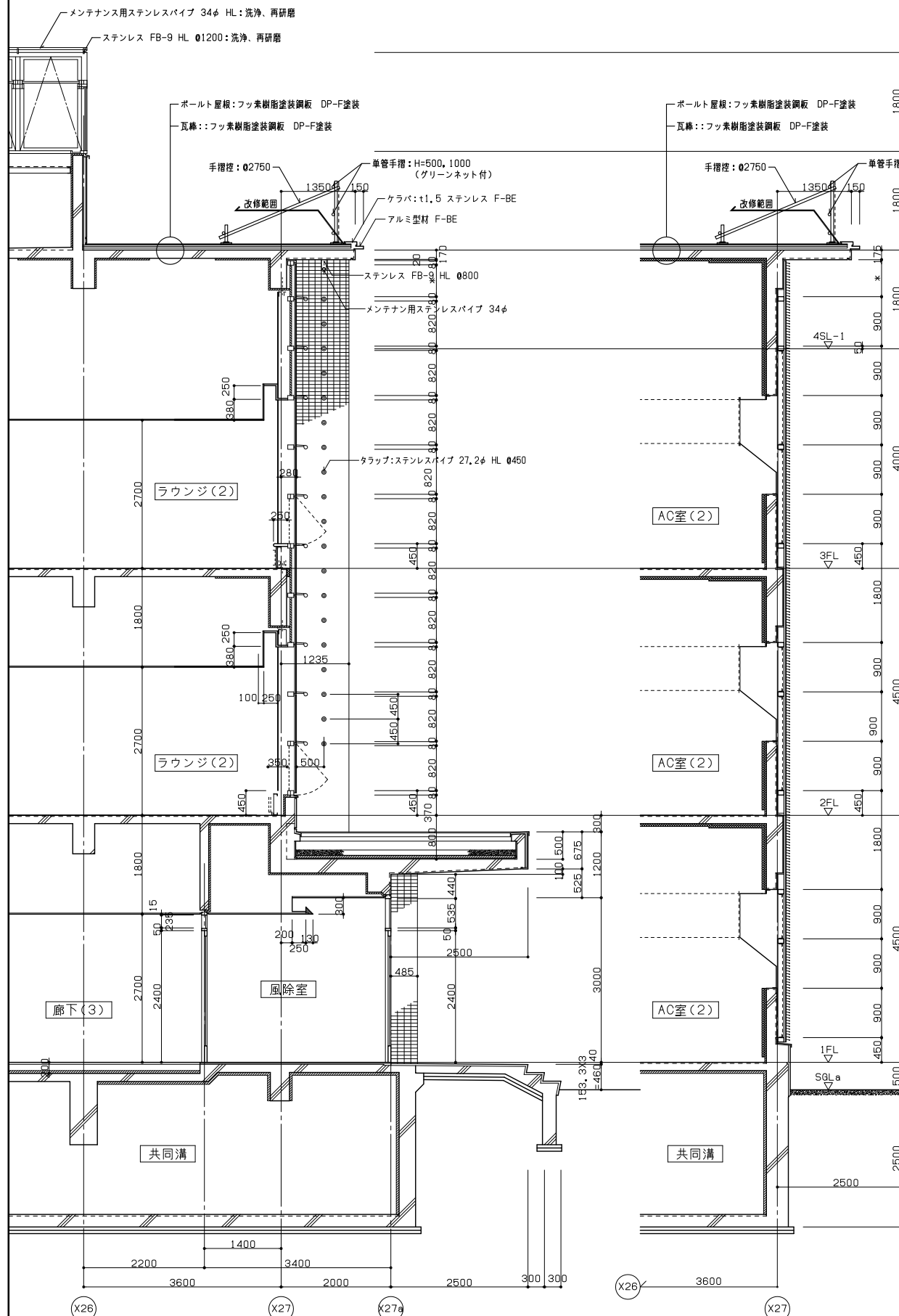
構 (通し番号 64)




渡廊 - 5

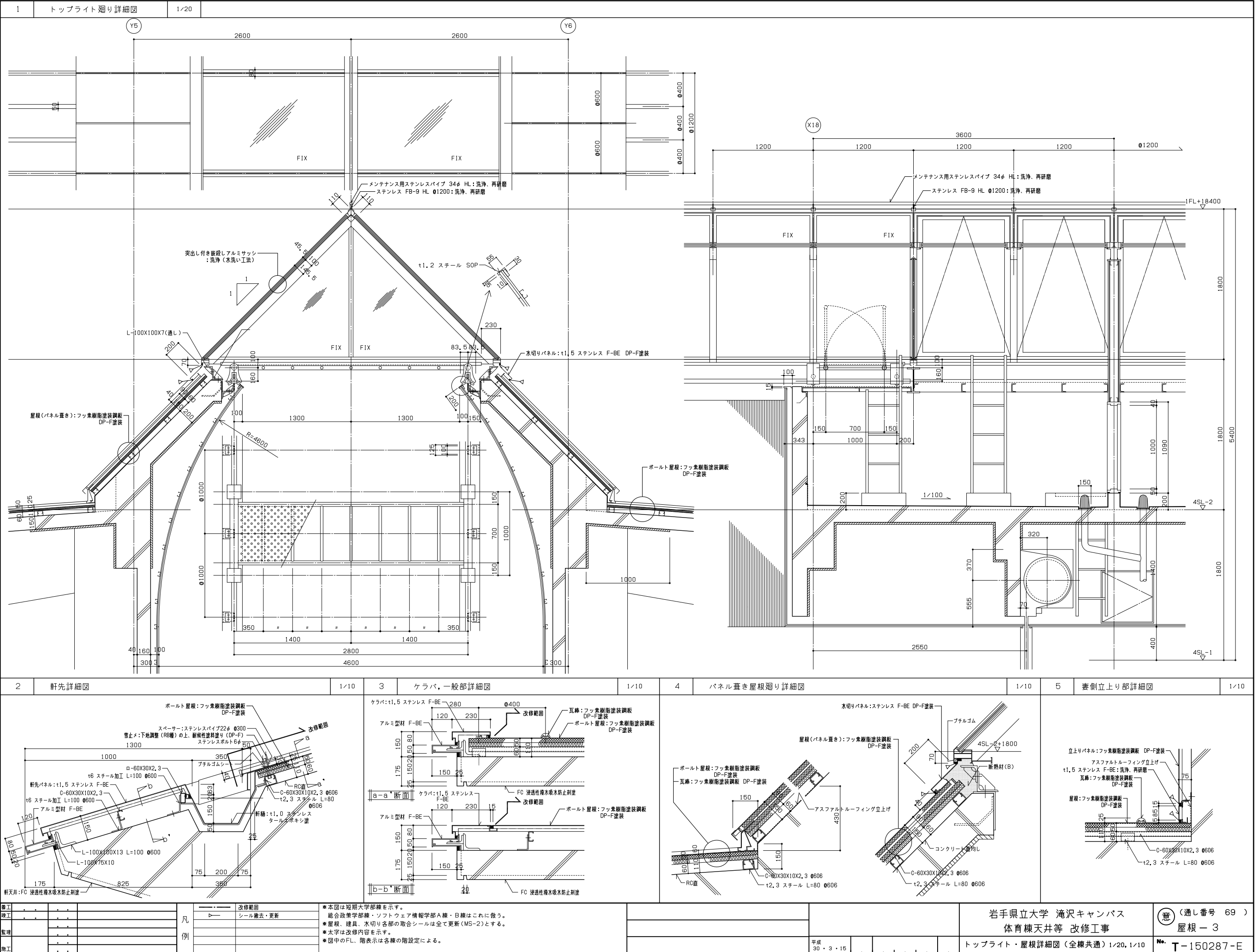




修正	●	●	●	凡 例	改修範囲	*本図は短期大学部棟を示す。 総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟はこれに倣う。 *屋根、建具、水切り各部の取合シールは全て更新(MS-2)とする。 *太字は改修内容を示す。 *図中のFL、階表示は各棟の階設定による。					岩手県立大学 滝沢キャンパス		音 (通し番号 67)	
竣工	●	●	●		シール剥去・更新						体育棟天井等 改修工事			屋根 - 1
監理														
	●	●	●										矩計図(1) (全棟共通)	1/50, 1/20
施工	●	●	●											
							平成 30・3・15					No.	T-150287-E	



着工				凡 例	 改修範囲	※本図は短期大学部棟を示す。 総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟はこれに倣う。 ※屋根、建具、水切り各部の取合シールは全て更新(MS-2)とする。 ※太字は改修内容を示す。 ※図中のFL、階表示は各棟の階設定による。					岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事		 (通し番号 68) 屋根 - 2
竣工					 シール撤去・更新								
監理													
施工													
							平成 30・3・15				短計図(2)(全棟共通)	1/50	No. T-150287-E



改修概要凡例	
総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟	
4-1 全館屋根	ポールト 屋根：塗装更新 屋根（パネル葺き）：塗装更新 トッグライト：洗浄、シール更新 トッグライト水切り：塗装更新、シール更新
4-2 建具	窓まじり：塗装更新
4-3 その他	メンテナンス用ステンレスパイプ：洗浄、再研磨 スチールシャッター：塗装更新（ソフトウェア情報学部A棟のみ）

仮設 凡例・備考

枠組足場（先行手摺）
W=1219（最大積載荷重370kg）

昇降階段
手摺H=450, 900

----- 全面メッシュシート養生
1段目全網養生
昇降階段出入口は施錠

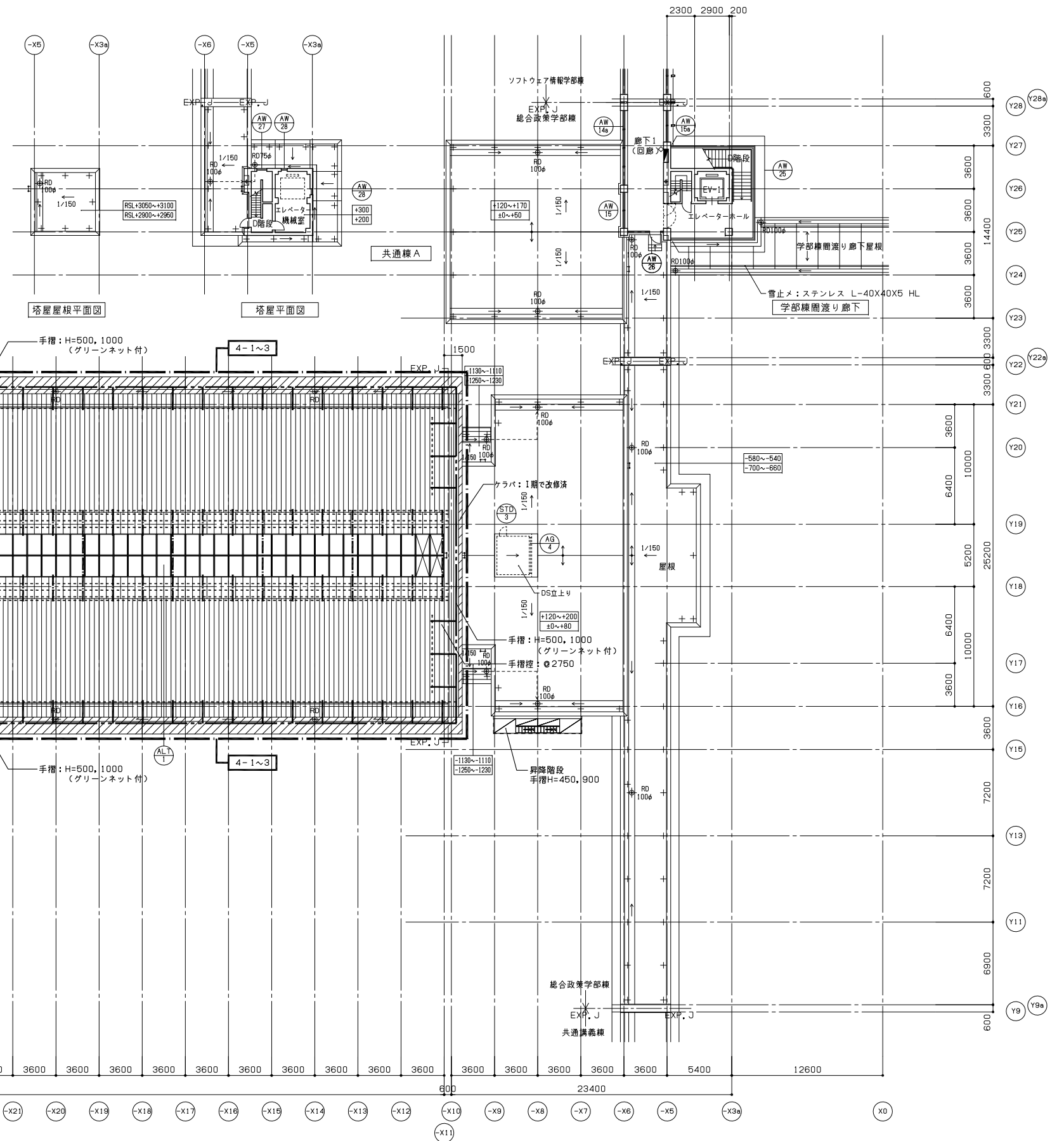
==== 手摺：H=200

----- 手摺：H=500, 1000（グリーンネット付）

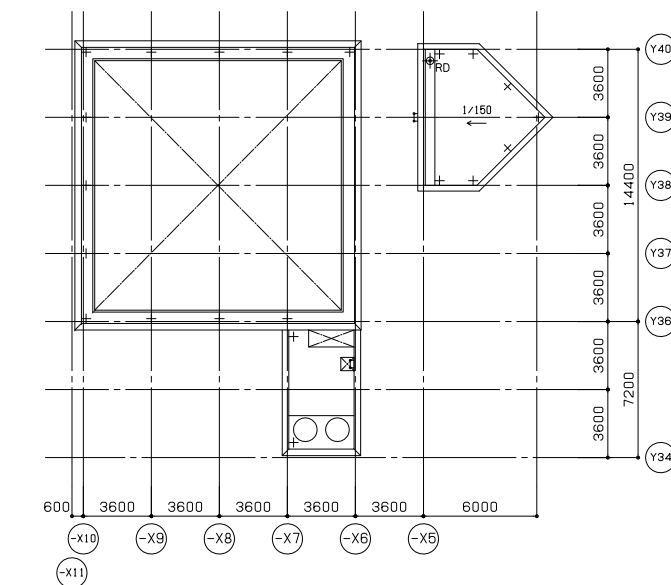
----- 手摺控

----- 通し材

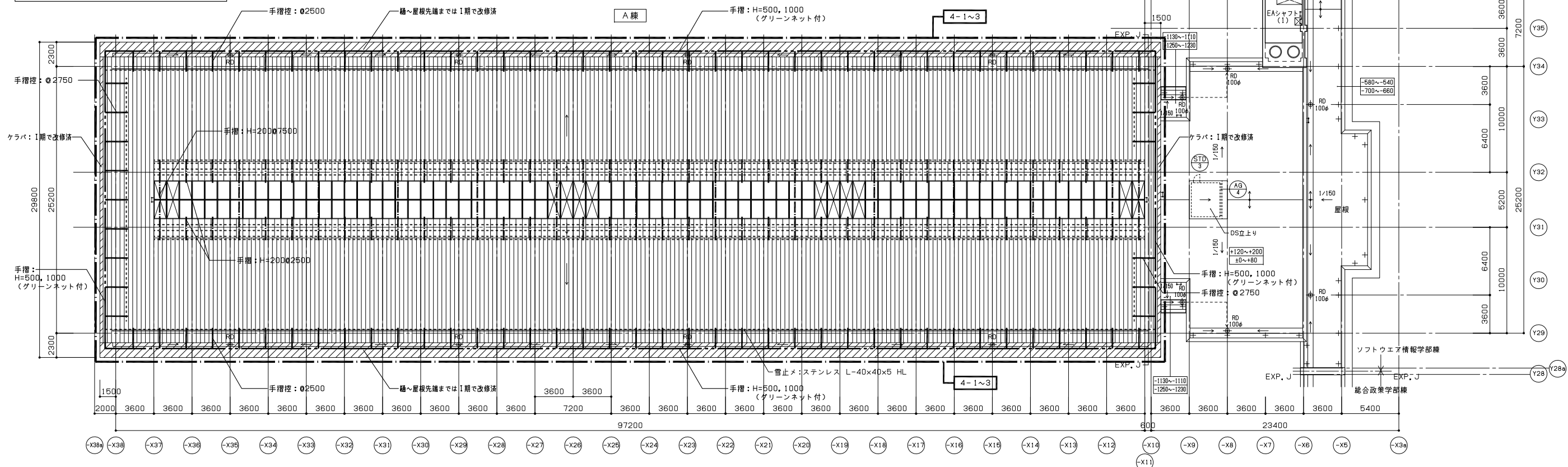
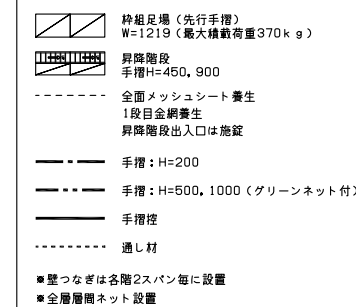
※壁つなぎは各階2スパン毎に設置
※全層層間ネット設置

[illegible]

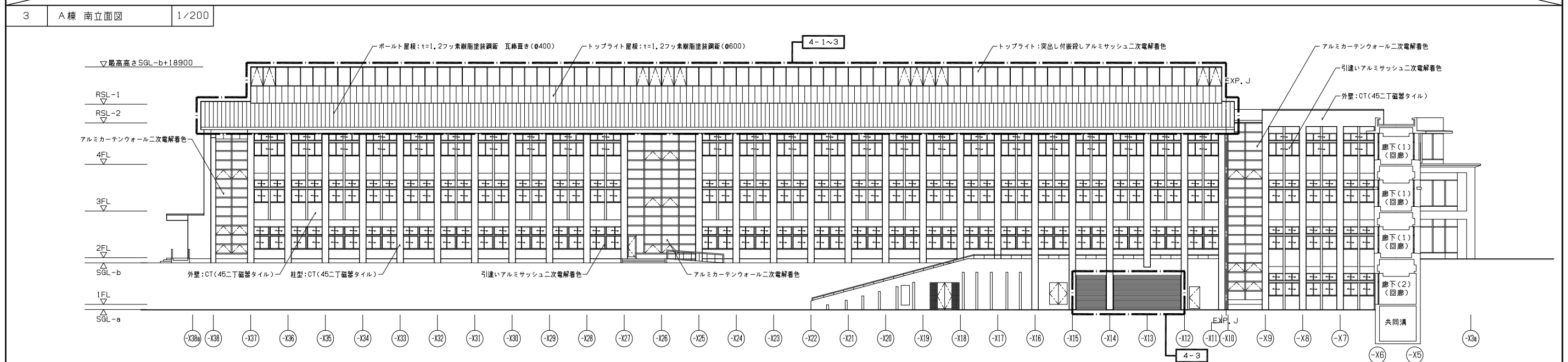
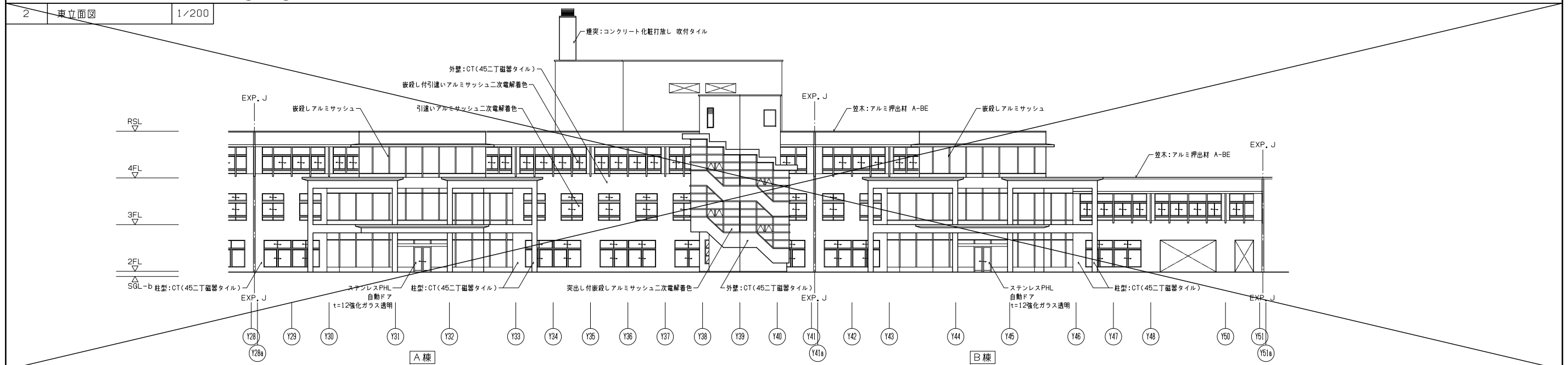
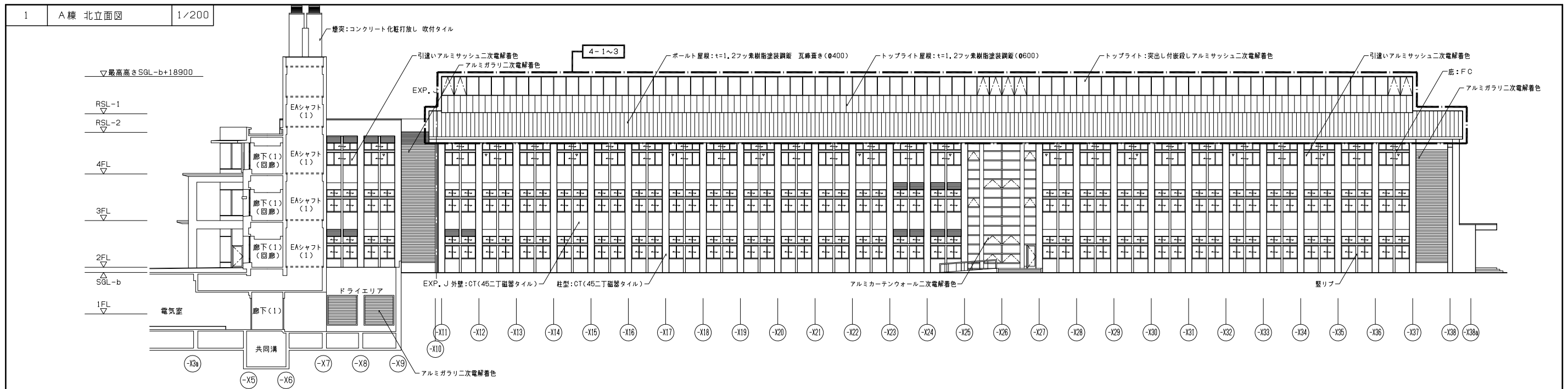
改修概要凡例	
総合政策学部棟・ソフトウェア情報学部A棟・B棟	
4-1 全層屋根	ボルト 屋根：塗装更新 屋根（パネル葺き）：塗装更新 トップライト：洗浄、シール更新 トップライト矢張り：塗装更新、シール更新
4-2 建具	雨止め：塗装更新
4-3 その他	メンテナンス用ステンレスパイプ：洗浄、再研磨 スチールシャッター：塗装更新（ソフトウェア情報学部A棟のみ）




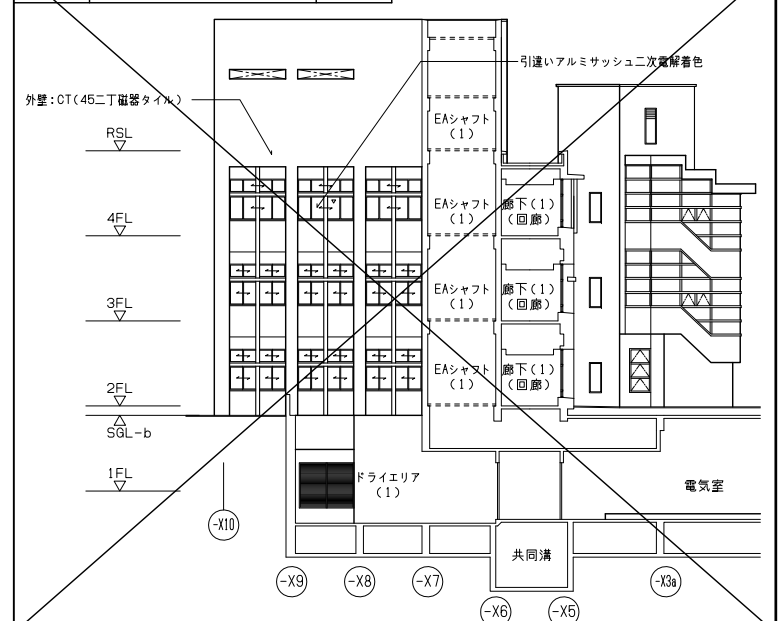
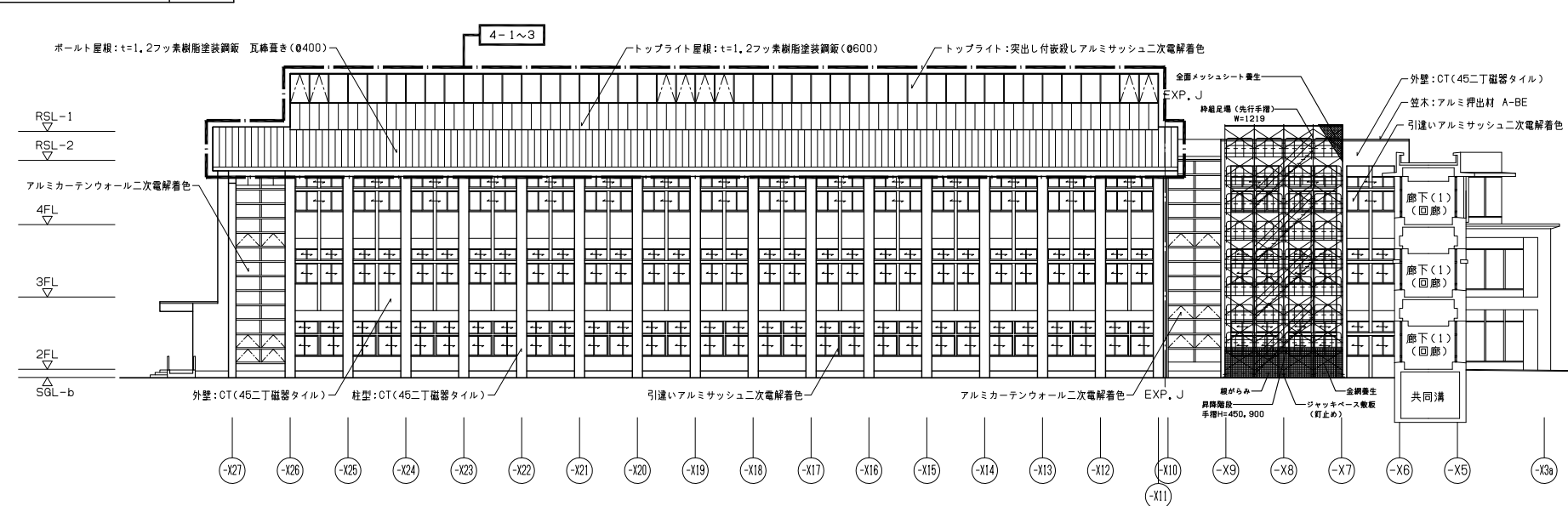
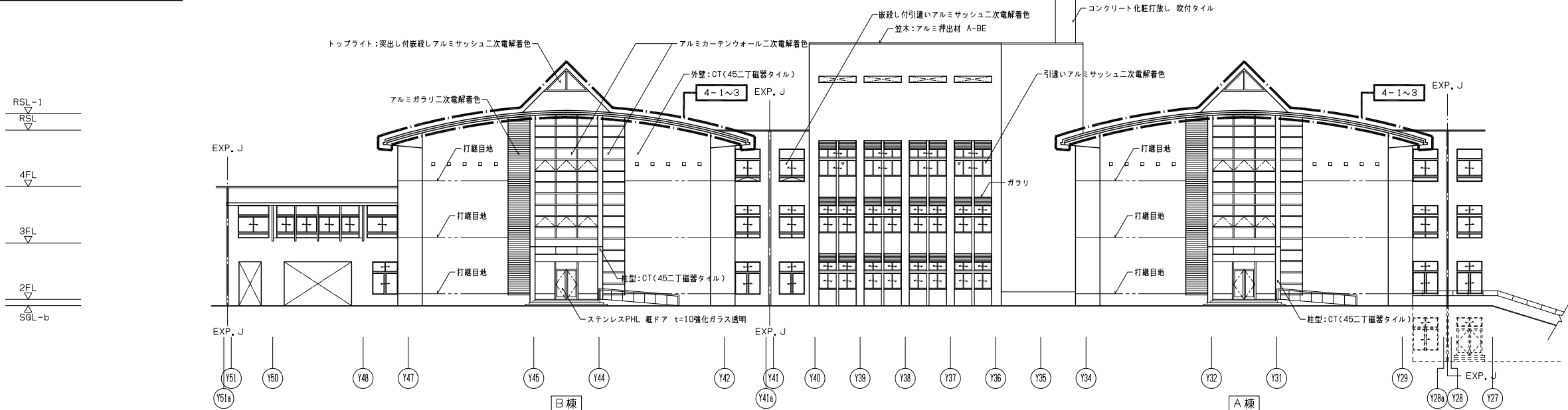
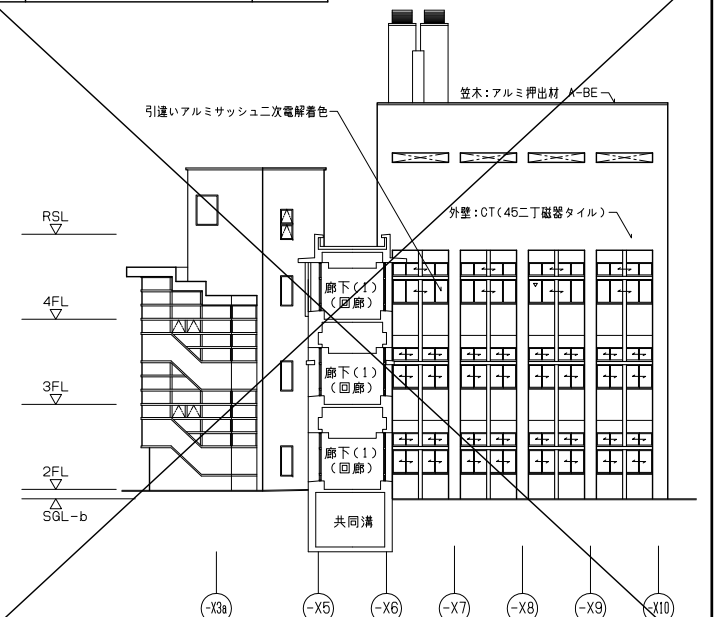
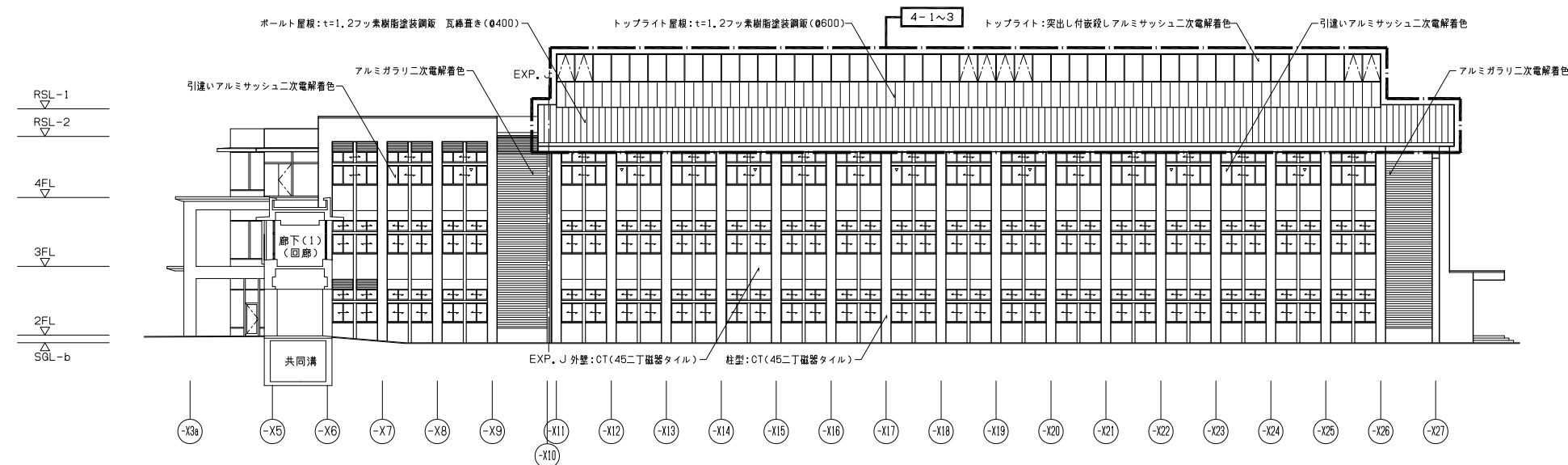
假設 凡例・備考



審工	凡 例	<div></div>	改修範囲	* 仕上の表記は現状の仕様を示す * 屋根の仮設手摺詳細は、『屋根 - 1 ～ 2』を参照					岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事		<div>音</div> （通し番号 73） ソ情 - 2
竣工		<div></div>	改修範囲外		<div>x-x</div>	番号は改修概要参照					
監理											
											
施工								平成 30・3・15			



審工				凡 例		改修範囲	* 仕上の表記は現状の仕様を示す * 屋根の先端部およびケラバの改修範囲は、屋根伏図および『屋根－１～３』を参照 * 屋根の仮設手摺位置・詳細は、屋根伏図および『屋根－１～２』を参照					岩手県立大学 滝沢キャンパス		 (通し番号 74) ソ情－３	
竣工						※		番号は改修概要参照					体育棟天井等 改修工事		
監理															
設計															
施工															
								平成 30・3・15				立面図(１) (ソフトウェア情報学部A・B棟) 1/200		No. T-150287-E	



木工				凡 例	改修範囲	※仕上の表記は現状の仕様を示す ※屋根の先端部およびケラバの改修範囲は、屋根伏図および『屋根－１～３』を参照 ※屋根の仮設手摺位置・詳細は、屋根伏図および『屋根－１～２』を参照					岩手県立大学 滝沢キャンパス 体育棟天井等 改修工事		意 (通し番号 75) ソ情－４
竣工					番号は改修概要参照								
監理													
施工													
							平成 30・3・15					立面図(２) (ソフトウェア情報学部A・B棟) 1/200	No. T-150287-E

